

Adobe® 純正 PostScript® 3™ 対応ソフトウェア RIP

Raster Link Pro

ラスターリンクプロ

リファレンスガイド JV シリーズ編

カラーインクジェットプリンタ“JVシリーズ”用の
Raster Link Pro の機能について説明しています。



Adobe® PostScript® 3™

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項とが一部異なる場合があります、ご了承ください。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとする。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とする。一例として、本製品を使用したメディア（ワーク）等の損失や、メディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとする。

Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop、Illustrator および PostScript は、アドビシステムズ社の商標です。
Apple、Macintosh、Power Macintosh、Mac OS、Mac OS X は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows 2000、Windows XP、Internet Explorer は、
Microsoft Corporation の米国ならびにその他の国での登録商標または商標です。
その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書について

本書は、「Raster Link Pro」の取扱について説明しています。

本文中の表記について

メニューに表示される項目は、“プリント編集待ち”のように“”でくくっています。
ダイアログに表示されているボタンは、設定終了のようにでくくっています。

マークについて



操作を行う上で、注意する点を説明しています。

目次

ご注意	2
この取扱説明書について	3
本文中の表記について	3
マークについて	3
“ジョブ設定” ウィンドウ	6
“プリント編集” ウィンドウ	6
プレビューウィンドウについて	7
ファイルプレビュー	7
レイアウトプレビュー	8
印刷データの向きを変えて印刷（回転）	8
ミラー印刷（ミラー）	9
印刷データを複数印刷（コピーとネスティング）	10
送り方向のみにコピー	10
メディア幅方向にもコピー	10
余白を付ける	11
大きな画像を高速コピー	11
画像を拡大／縮小して印刷	12
用紙幅にフィットするよう拡大／縮小して印刷	12
メディアの送り方向にフィットするよう拡大／縮小して印刷	12
倍率を指定して拡大／縮小して印刷	13
画像のサイズを指定して拡大／縮小して印刷	13
画像の幅方向と送り方向の比率を変えて印刷	13
メディア上の任意の位置に印刷（移動）	14
幅方向の中央に印刷	14
メディアの幅方向にずらして印刷	14
送り方向中央に印刷	15
メディアの送り方向にずらして印刷	15
タイリング印刷（タイリング）	16
“タイリング設定” ウィンドウ	17
全てのタイルを印刷	19
キーボードによる分割位置の微調整	21
分割線などの表示の一部が消えたときは	22
タイルを指定して印刷	23
タイルに重ね代を印刷	24
透明度のあるメディアに印刷	25
重なり部分のマークを印刷	25
タイル毎にタイル番号を印刷	26
タイリングの再印刷	27
パネリング印刷	29
画像を伸ばして印刷（寸伸ばし）	31
画像の一部分を印刷	33
印刷条件の設定	34
“印刷条件設定” ウィンドウ	35

プロファイルの選択方法について	36
[印刷モード]メニュー	38
Twin ロール印刷 (JV3SP)	40
レイアウトプレビュー	40
Single ロールモードでの印刷	41
Twin ロールモードでの印刷	41
[カラー調整]メニュー	42
[カラーマッチング]メニュー	44
[デバイス調整]メニュー	46

カラー調整について..... 48

“カラー調整” ウィンドウ	48
カラー調整セットを作成する	49
カラー調整セットを使用して印刷する	51
印刷中にカラー調整を行うには	52
より詳細にカラー調整をするには	55
“インクリミット” カーブ	55
“グレーバランス” カーブ	55
インクカーブを調整して印刷	59
キーボードによるインクカーブの設定	61

版下分版出力..... 63

版下分版の設定項目	63
アートワークモードの「高品質」設定について	64
作図品質別の作図方式について	64
“アプリケーション分版設定” ウィンドウ	65
アプリケーション分版	66
“RIP 分版設定” ウィンドウ	69
RIP 分版	70

“ジョブ情報” ウィンドウ..... 73

ジョブ情報	73
[結果]メニュー	73
[デバイス調整]メニュー	74

印刷したデータの再印刷..... 75

device 機能について..... 77

JV2 シリーズ device 画面	77
JV22 シリーズ device 画面	78
JV3S シリーズ device 画面	79
JV3SP シリーズ device 画面	81
JV4 シリーズ device 画面	83
印刷条件の初期値設定	85
印刷条件の印刷	86
カラー調整セットの初期値を作成する	87
印刷する度にメディアをカットするには	90

“ジョブ設定” ウィンドウ

Raster Link Pro の設定項目は、いくつかのメニューに分かれています。
ここでは、それぞれのメニューの説明と機能の使い方を説明しています。

“プリント編集” ウィンドウ

印刷するプリンタを選択します。
また、プリンタステータスを取得できている時は、セットしてあるメディアのサイズを表示します。

“プリント編集” ウィンドウを開いたファイル名（文書名）とその画像サイズを表示します。

各機能を設定します。
タイリング (P.16)
パネリング (P.29)
寸伸ばし (P.31)
トンボ作画：現在、使用できません。

画像のサイズを変えて印刷します。
(P.12)

各種印刷条件を設定します。
(P.34)

印刷を開始します。

画像の回転とミラーを設定します。
(P.8)

画像をコピーするために必要な設定を行います。
(P.10)

プリント編集画面を閉じます。

プリント編集待ちジョブリストの印刷ファイルを選択します。
選択した印刷ファイルのプリント編集画面を表示します。

実際にメディアに印刷する画像をプレビューします。
(P.8)

画像をメディア上の任意の位置に配置します。(P.14)
ただし、原点は移動しません。

ファイルの画像をプレビューします。(P.7)

プリント編集画面で設定した値を保存します。

印刷条件設定 | ファイルプレビュー | レイアウトプレビュー | 前のジョブ | 次のジョブ

印刷 | 部分印刷 | 更新 | 閉じる

警告：アフレットワーク

文書名: Dolphin.eps
用紙サイズ: 幅 700 mm 高さ 500 mm
メディアサイズ: 幅 1200 mm 高さ コール mm
ターゲットプリンタ: RLV4 シリーズ

スケール: OFF (選択), 用紙幅フィット, 用紙送りフィット, 倍率指定 100%
幅方向: 100, 送り方向: 100
数値指定 (mm): 幅方向 700, 送り方向 500
縦横比固定入力: 入力済み

幅方向移動: OFF (選択), フィット, 数値指定 (mm)
送り方向移動: OFF (選択), フィット, 数値指定 (mm)

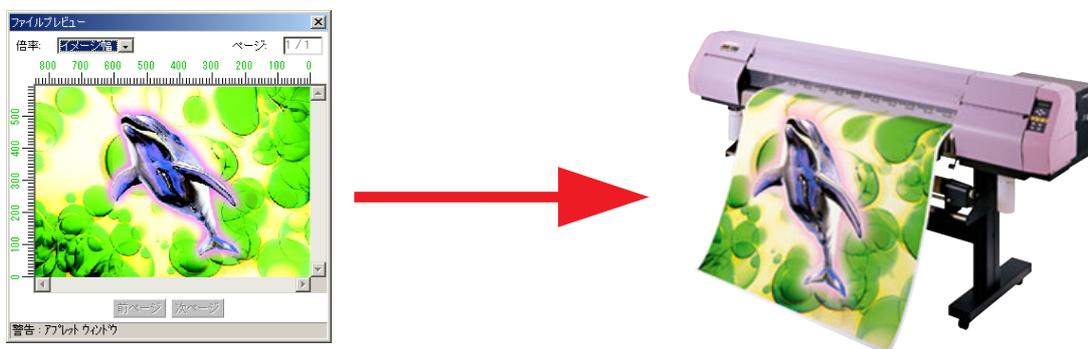
回転: OFF (選択), 90度, 180度, 270度
ミラー: 未選択

タイリング: OFF
寸伸ばし: OFF
パネリング: OFF
トンボ作画: OFF

コピー: 枚数 1, ネステイング, 余白 (mm) 幅, 送り, 高速コピー

プレビューウィンドウについて

プレビューウィンドウには、“ファイルプレビュー”、“レイアウトプレビュー”と2種類あります。プレビューウィンドウは、メディアに印刷するレイアウト画像を表示します。また、プレビューウィンドウの下端は、印刷開始の先端を示します。



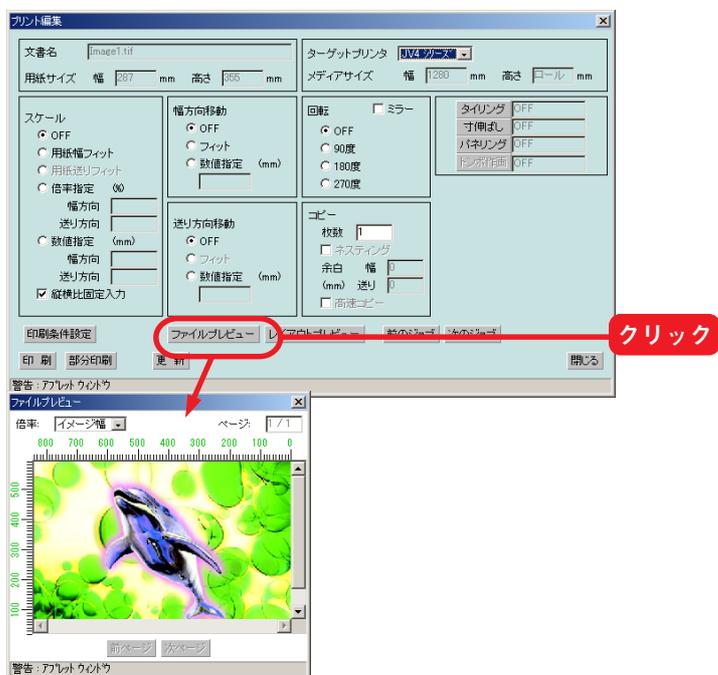
プレビューウィンドウでは、画像の大きさを変えて表示したり、プレビューウィンドウのサイズを変えることができます。

プレビューウィンドウには、画像を表示する倍率、ルーラーを表示します。

ページが複数ある場合は、右上に“現在のページ／総ページ”を表示します。

この場合、**前ページ** ボタン、または **次ページ** ボタンをクリックしてページを切り換えることができます。

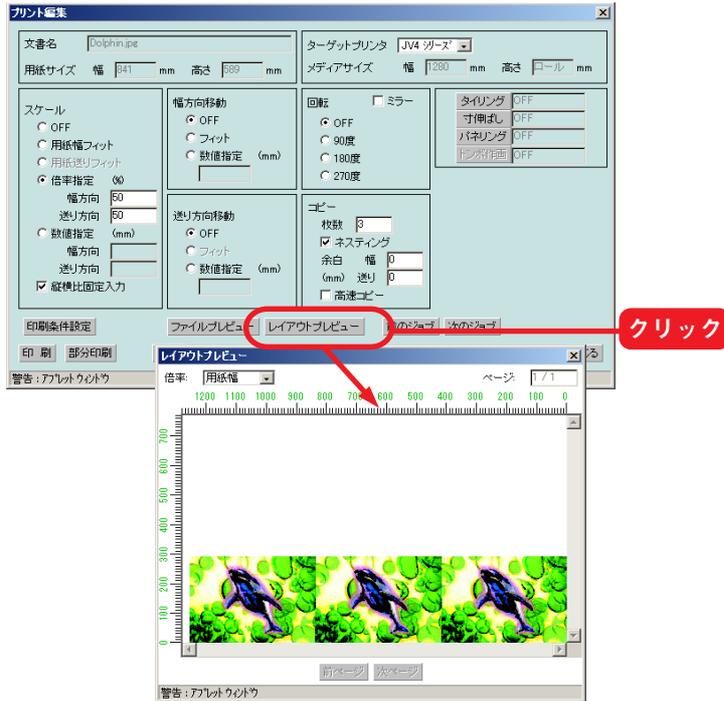
ファイルプレビュー



“ファイルプレビュー” ボタンをクリックすると、“ファイルプレビュー”ウィンドウが開きます。

“ファイルプレビュー”ウィンドウでは、印刷ファイル自体のプレビュー画像を表示します。また、画像の一部を印刷するための範囲を指定することができます。詳細は、「画像の一部を印刷する」をご覧ください。(P. 33)

レイアウトプレビュー



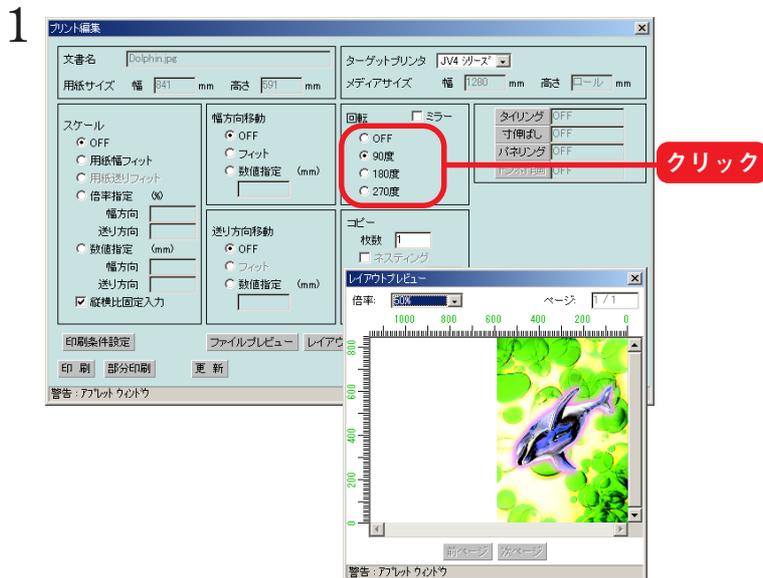
“レイアウトプレビュー” ボタンをクリックすると、“レイアウトプレビュー” ウィンドウが開きます。

各編集機能を設定した画像を表示します。ただし、一部の機能は、プレビュー画像に反映しません。詳細は、各機能説明をご覧ください。

印刷データの向きを変えて印刷（回転）

画像を回転させる角度を設定します。

回転処理した画像は、“レイアウトプレビュー” ウィンドウで確認できます。



回転角度をクリックします。

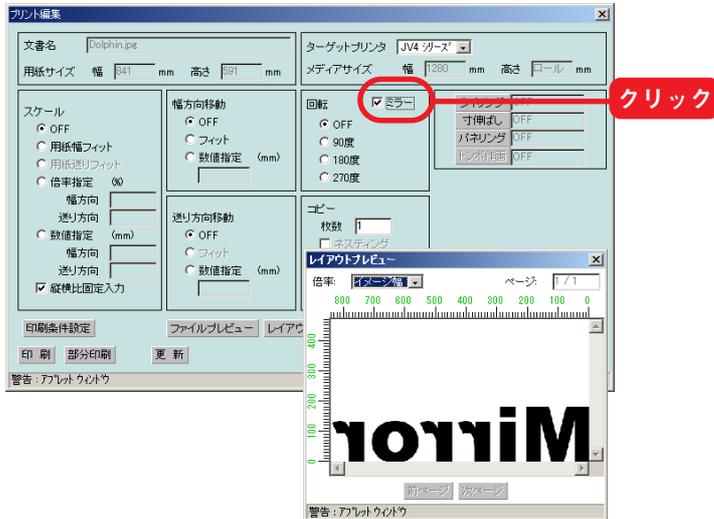
ミラー印刷 (ミラー)

画像を鏡に映したように印刷します。

ミラー処理した画像は、“レイアウトプレビュー” ウィンドウで確認できます。

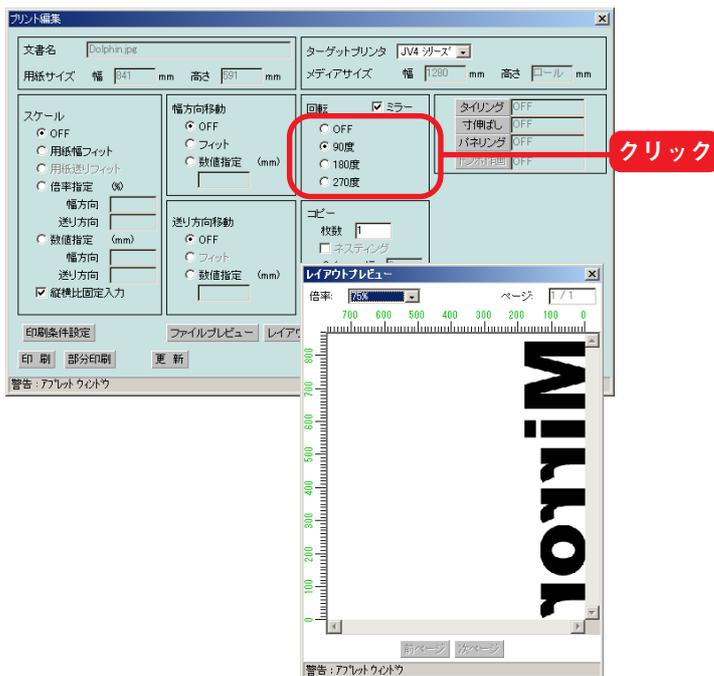
ミラー処理は、作成した画像の幅方向のみにかかります。

1



“ミラー”をクリックします。

2



回転角度をクリックします。

ミラー処理した画像に回転処理を行います。

印刷データを複数印刷（コピーとネスティング）

同一画像を複数印刷します。

通常、コピーは、メディアの送り方向にコピーします。

ネスティングを有効にすると、画像をメディアの幅方向にもコピーします。

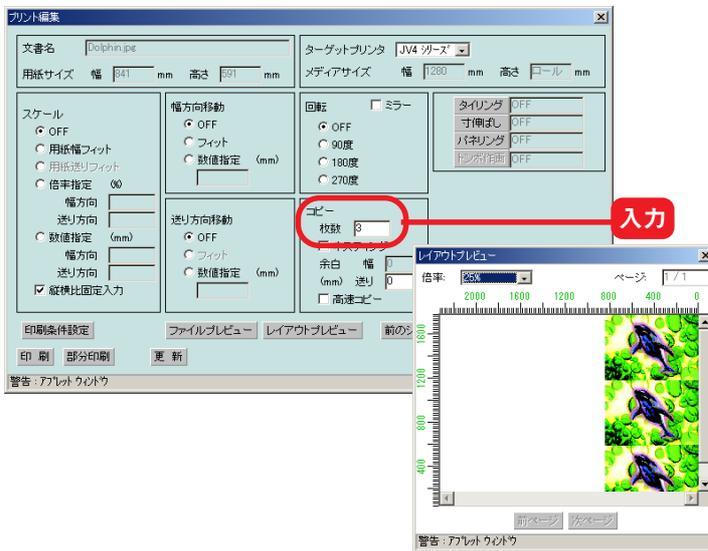
余白を設定すると、画像と画像の間に空白を設けます。



- データ出力方法で“RIPしながら印刷”や“RIPのみ”を指定しても、“RIPが終わってから印刷”で印刷を行います。よって、プロッタが印刷するまでの時間が長くなります。
- 印刷モードの設定で“Twinロールコピー”が設定してある場合は、ネスティングは設定できません。
- 印刷モードの設定で“Twinロールコピー”が設定してある場合は、“コピー”枚数の2倍の枚数を印刷します。

送り方向のみにコピー

1



コピー数を入力します。

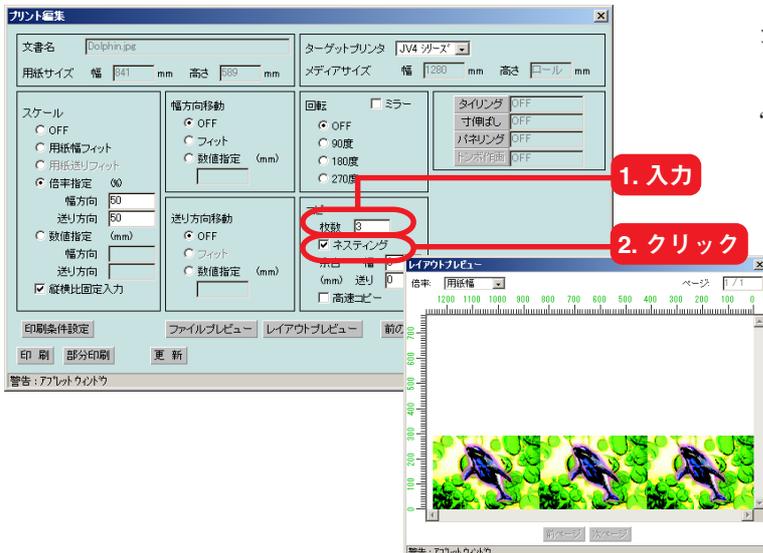
メディア幅方向にもコピー

メディア幅方向にも、印刷イメージをコピーします。



- 高速コピー機能では、ネスティングは設定できません。

1



コピー数を入力します。

“ネスティング”をクリックします。

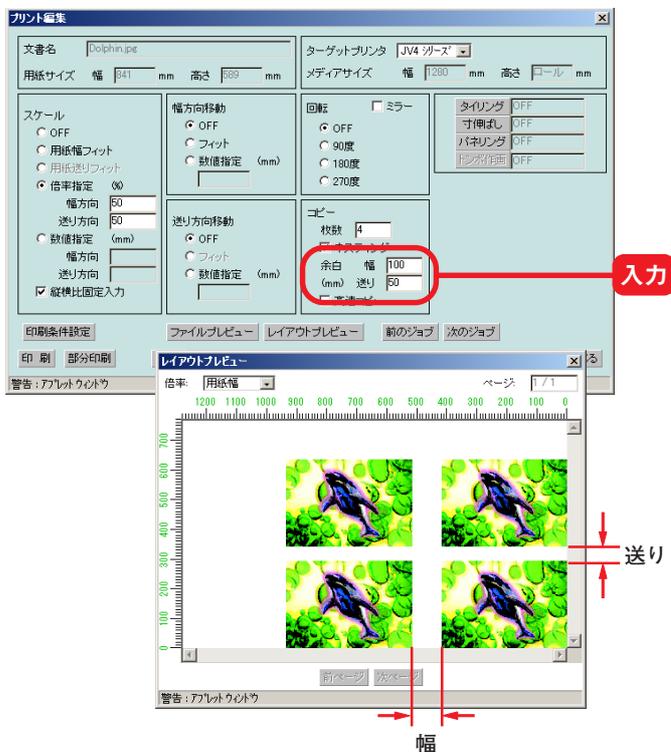
余白を付ける

コピーで印刷すると、隣り合う画像の境界が判りづらくなります。
隣り合う画像の境界が判るように余白を設けます。



● 高速コピー機能では、余白は設定できません。

1



幅方向と送り方向の余白量を入力します。

大きな画像を高速コピー

通常のコピー機能では、一度RIPしたデータのデータ解析をコピー枚数分を行います。これにより、余白やネスティングが設定できますが、プロッタが印刷を開始するまで時間がかかります。

高速コピー機能は、コピー枚数分のデータ解析を行いません。よって、プロッタが印刷を開始するまで時間が短縮できます。しかし、余白やネスティングの設定はできません。

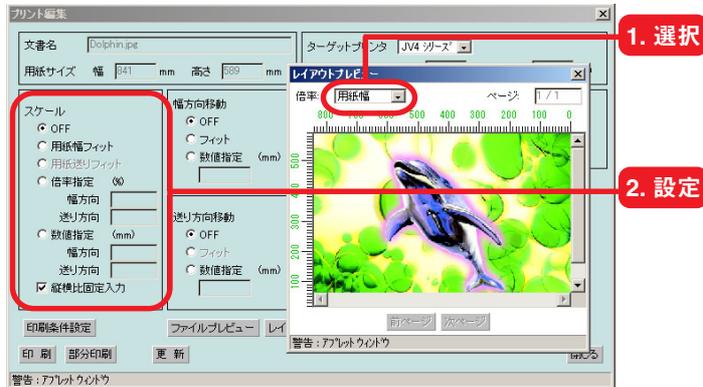
1



“高速コピー”をクリックします。

画像を拡大／縮小して印刷

“レイアウトプレビュー” ウィンドウの倍率を“用紙幅”に設定しておくことで、メディア上の画像レイアウトを確認できます。Raster Link Proにメディアサイズを通知できるプリンタが接続されていないと、“レイアウトプレビュー” ウィンドウで“用紙幅”を表示できません。device画面にある“メディアサイズ”の“手入力”の欄にメディア幅を入力しておくことで、“レイアウトプレビュー” ウィンドウで“用紙幅”を選択できます。(P. 77、P. 78、P. 79、P. 81、P. 83)



“OFF” をクリックすると、アプリケーションソフトウェアで作成したデータの大きさに印刷します。

用紙幅にフィットするよう拡大／縮小して印刷



“用紙幅フィット” をクリックします。



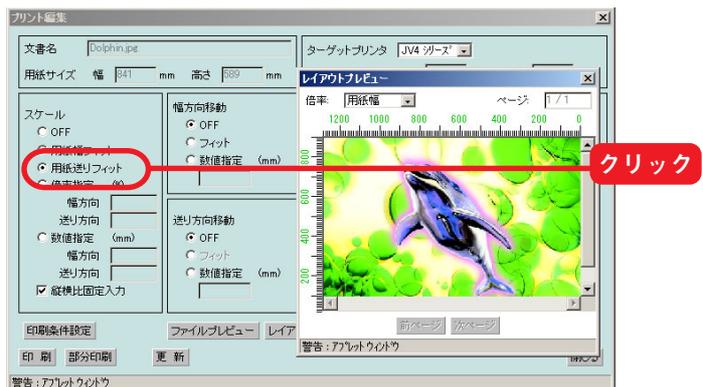
注意

リーフ紙を使用したときの注意

“用紙幅フィット” を設定した時、画像がリーフ紙の送り方向に収まらない場合があります。送り方向からはみ出た画像は、印刷しません。

メディアの送り方向にフィットするよう拡大／縮小して印刷

カットしてあるメディアに印刷する場合に使用します。



“用紙送りフィット” をクリックします。

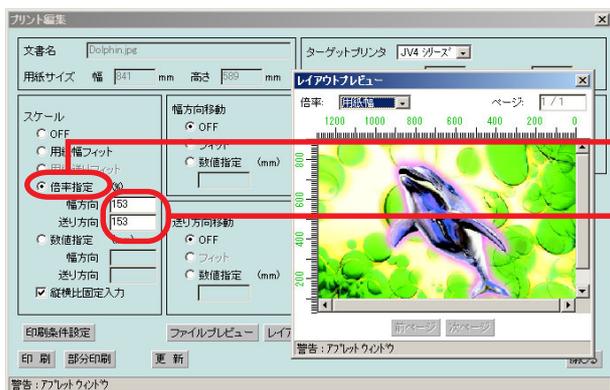


注意

リーフ紙を使用したときの注意

“用紙送りフィット” を設定した時、画像がリーフ紙の幅方向に収まらない場合があります。幅方向からはみ出た画像は、印刷しません。

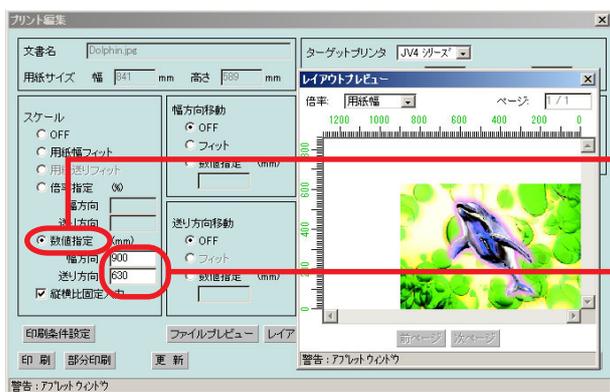
倍率を指定して拡大／縮小して印刷



“倍率指定” をクリックします。

幅方向と送り方向に倍率を入力します。
 “縦横比固定入力” を有効にしておく
 と、どちらか一方の数値を入力する
 ことで倍率を固定できます。
 100%に設定すると、アプリケーション
 ソフトウェアで作成した画像の大き
 さで印刷します。

画像のサイズを指定して拡大／縮小して印刷



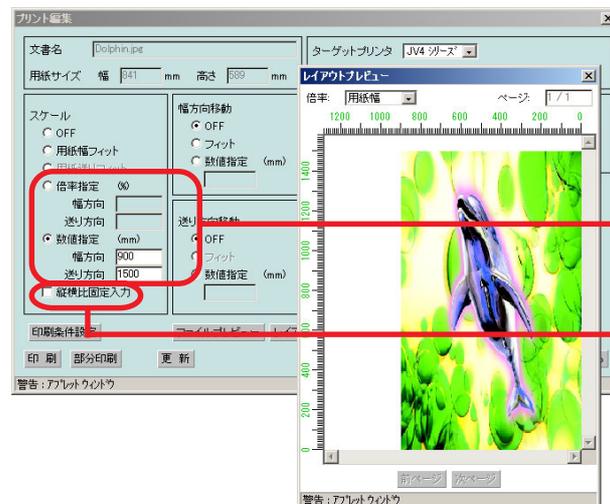
“数値設定” をクリックします。

画像のサイズを mm 単位で入力し
 ます。



“縦横比固定入力” が有効な場合、
 幅方向値を入力すると、送り方向
 値も連動して変わります。

画像の幅方向と送り方向の比率を変えて印刷



“縦横比固定入力” をクリックして
 チェックを外します。

“倍率指定” または “数値指定” を設定
 します。

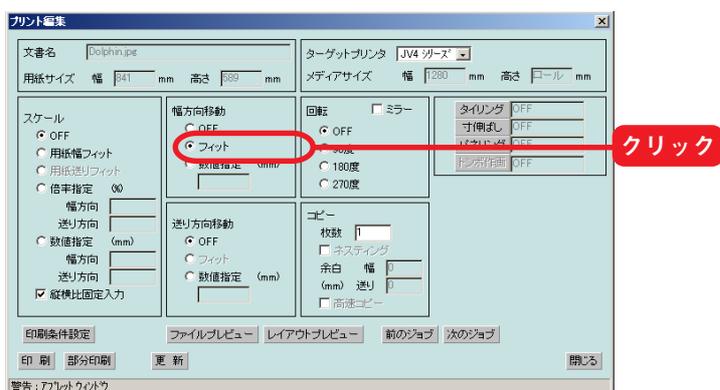
メディア上の任意の位置に印刷（移動）

原点を基にして画像をメディア上の任意の位置に移動して印刷します。
移動処理した画像は、“レイアウトプレビュー” ウィンドウで確認できます。

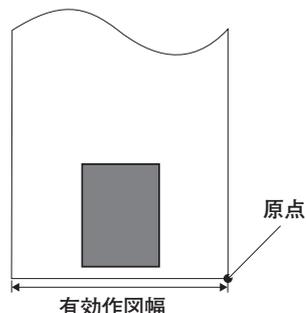
“回転”、“ミラー”が有効の場合は、それぞれの処理を行った後、画像を移動します。
スケールを設定している場合は、移動量にはスケールはかかりません。
“コピー”、“ネスティング”、“タイリング”、“寸伸ばし”、および“パネリング”等を設定してある場合は、画像を移動した後に、各設定の処理を行います。
移動量にマイナス値を入力した場合、有効作図エリアからはみ出た画像は印刷しません。

幅方向の中央に印刷

有効作図幅の中央に移動します。

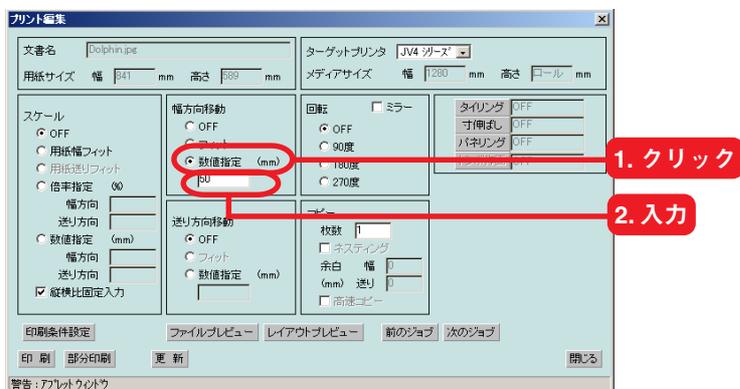


“幅方向移動”の“フィット”をクリックします。

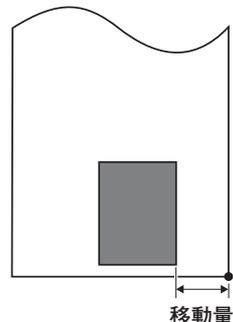


メディアの幅方向にずらして印刷

画像の右側に余白を設定します。
負の値を入力すると有効作図エリアから画像の右側がはみ出し、印刷できない部分が生じます。

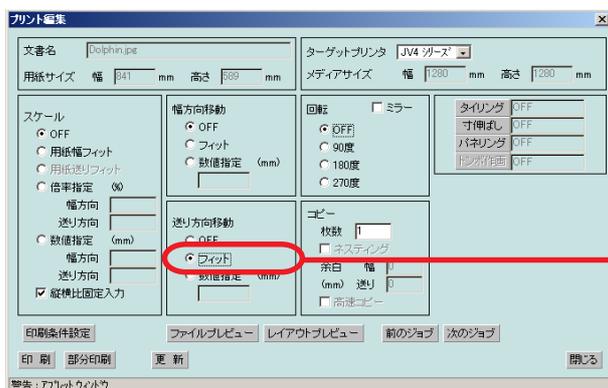


“幅方向移動”の“数値指定”に移動量を入力します。

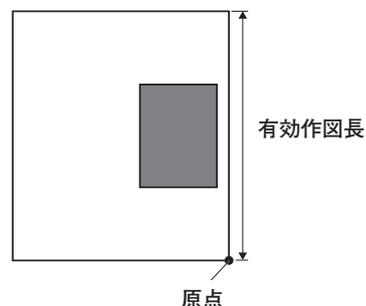


送り方向中央に印刷

リーフメディアに印刷する場合に使用します。
有効作図長の中央に移動します。

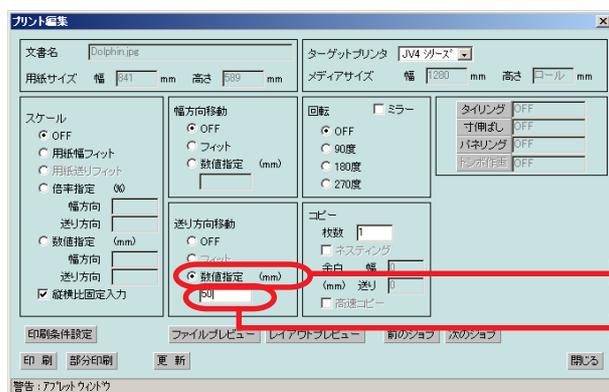


“送り方向移動”の“フィット”をクリックします。

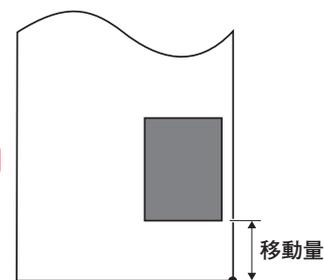


メディアの送り方向にずらして印刷

画像の手前側に余白を設定します。
負の値を入力すると有効作図エリアから画像の手前側がはみ出し、印刷できない部分が生じます。



“送り方向移動”の“数値指定”に移動量を入力します。



タイリング印刷（タイリング）

Raster Link Pro は、プロッタにセットしてあるメディアより大きなサイズの画像を印刷できません。大きな画像を印刷するには、画像を複数に分割して印刷します。その分割した画像（タイル）を手作業で貼り合わせて元のサイズの画像にします。

また、タイルの貼り合わせを容易にするための各種設定を行います。

タイリング印刷では、データの幅が大きいときは、Raster Link Pro では一度解像度を下げて RIP データを作成します。印刷時には、指定された印刷解像度で印刷します。

したがって、下記のデータの場合、文字やイラストにジャギーが発生します。

- ・印刷データの幅が 4m 以上の場合、印刷解像度が 1/2 で RIP します。
- ・印刷データの幅が 8m 以上の場合、印刷解像度が 1/4 で RIP します。



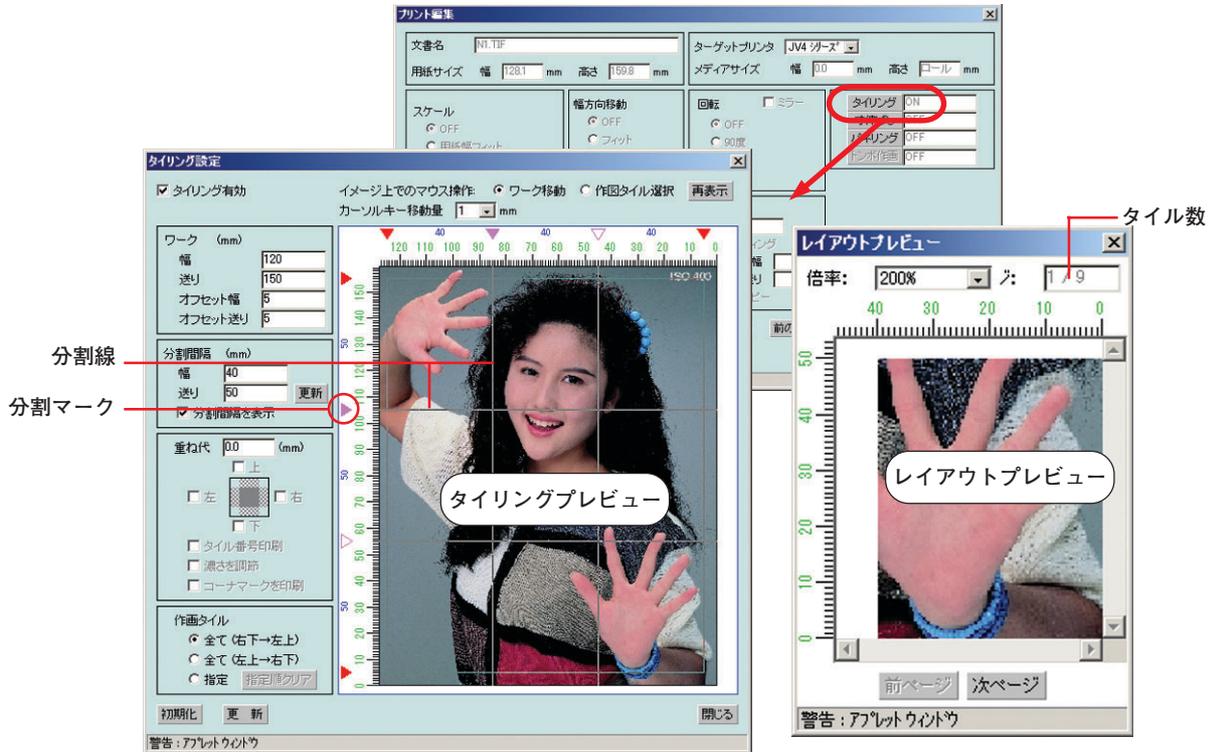
注意

- タイリング設定を行う前に、“プリント編集” ウィンドウで印刷イメージのスケールを適切な値に設定してください。
- タイリング設定をした後に、“プリント編集” ウィンドウでの設定はできません。プリント編集が必要な場合は、タイリング設定を無効にしてから設定してください。
- データ出力方法で“RIPしながら印刷”を指定しても、“RIPが終わってから印刷”で印刷を行います。よって、プロッタが印刷を開始するまでの時間が長くなります。
- 印刷モードの設定で“Twin ロールコピー”が設定してある場合は、タイリングは設定できません。



タイリング ボタンをクリックする前に **レイアウトプレビュー** ボタンをクリックし、“レイアウトプレビュー” ウィンドウを開きます。“タイリング設定” ウィンドウの **更新** ボタンをクリックする度に、“レイアウトプレビュー” ウィンドウでタイリングの設定状態がプレビューできます。

タイリング ボタンをクリックすると、“タイリング設定” ウィンドウが開きます。



“タイリング設定” ウィンドウ

チェックを付けたら、タイリングが有効になります。

プレビュー画像が正しく表示されない時、再描画します。

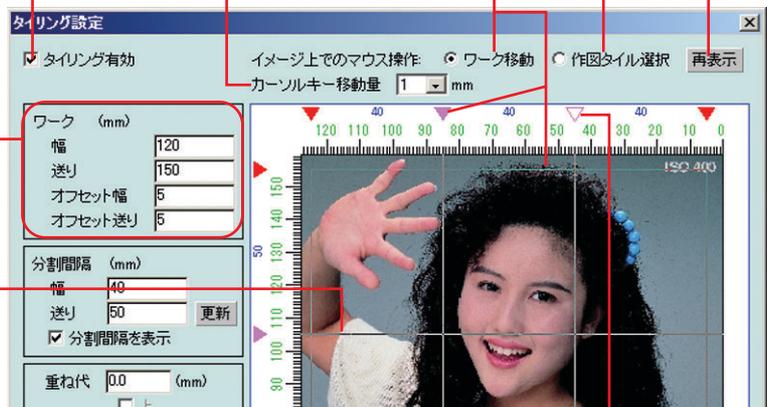
ワークサイズと位置を入力します。ワークは、タイリングプレビューエリアに矩形で表示します。ワーク位置は、プレビュー画像の右下隅からの距離を入力します。ワーク枠をマウスでドラッグすることでワーク位置を変更できます。(P.19)

カーソルキーでの移動量単位を指定します。(P.21)

ワーク枠と分割マークをマウスで移動することができます。

プレビュー画面のタイル上に印刷順序を示す番号が表示されます。

分割間隔を設定すると分割線を表示します。



分割マークをマウスでドラッグして、分割位置を微調整できます。選択している分割マークは、白抜きの三角形で表示します。

分割するひとつのタイルの基準サイズを入力します。

更新 ボタンをクリックすると、プレビュー画面に分割線を表示します。

幅、または送りを“0”のままに**更新** ボタンをクリックすると、ワークの幅、または送りの値が入力されます。“分割間隔を表示” をチェックして有効にすると、プレビュー画面にタイルごとのサイズを表示します。

(P. 19)

処理速度の遅いパソコンをお使いの場合は、“分割間隔を表示” を無効にすることをお勧めします。ワーク枠や分割マークの操作性が悪くなるためです。

The image shows a screenshot of the 'タイル設定' (Tile Settings) dialog box. The dialog is divided into several sections with various input fields and checkboxes. Red lines connect callout boxes to specific parts of the dialog:

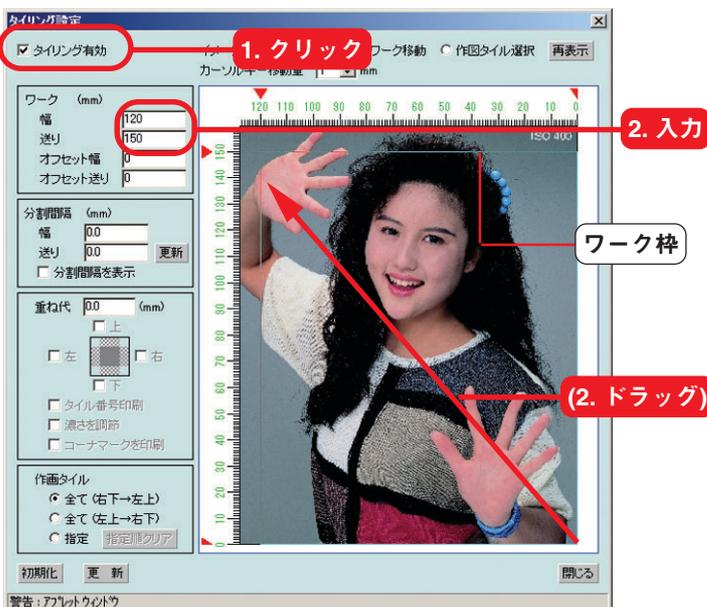
- ワーク (mm) section:** Includes fields for '幅' (120), '送り' (150), 'オフセット幅' (5), and 'オフセット送り' (5).
- 分割間隔 (mm) section:** Includes fields for '幅' (40) and '送り' (50), with an '更新' button and a checked '分割間隔を表示' checkbox.
- 重ね代 (mm) section:** Includes a field for '重ね代' (0.0) and checkboxes for '上', '下', '左', and '右'.
- 印刷オプション section:** Includes checkboxes for 'タイル番号印刷', '濃さを調節', and 'コーナマークを印刷'.
- 作画タイル section:** Includes radio buttons for '全て (右下→左上)', '全て (左上→右下)', and '指定' (with a '指定順クリア' button).
- Buttons:** '初期化', '更新', and '閉じる' buttons are at the bottom.

Callout boxes provide the following explanations:

- 「タイルの重ね代の幅と重ね代を設ける位置を設定します。(P. 24)」 points to the '重ね代' field and its checkboxes.
- 「印刷時にタイル番号を印刷します。(P. 26)」 points to the 'タイル番号印刷' checkbox.
- 「重ね代部分を薄く印刷します。(P. 25)」 points to the '濃さを調節' checkbox.
- 「タイルの張り合わせ位置を示すマークを印刷します。(P. 25)」 points to the 'コーナマークを印刷' checkbox.
- 「ワーク枠の境界を示します。」 points to the 'ワーク' section.
- 「設定した値を保存します。また、“レイアウトプレビュー” ウィンドウの表示を更新します。」 points to the '更新' button.
- 「“タイル設定” ウィンドウを閉じます。」 points to the '閉じる' button.
- 「初期化」 points to the '初期化' button.
- 「指定順クリア」 points to the '指定順クリア' button.

全てのタイルを印刷

1



“タイルング有効”にチェックを付けます。

“ワーク”のサイズ(幅方向、送り方向)を入力します。タイルングプレビューエリア上にワークを矩形で表示します。

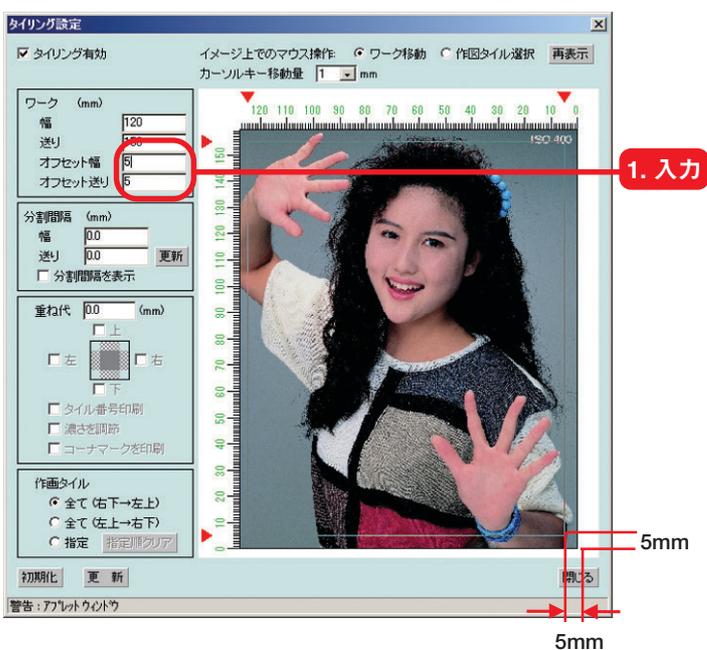


タイルングプレビューエリアの右下隅からマウスでドラッグしてもワークサイズを設定できます。



印刷データのサイズは、ワークサイズと同じか大きめに作成してください。印刷データのサイズがワークサイズより小さいと、印刷イメージの周りに白い部分が発生します。

2



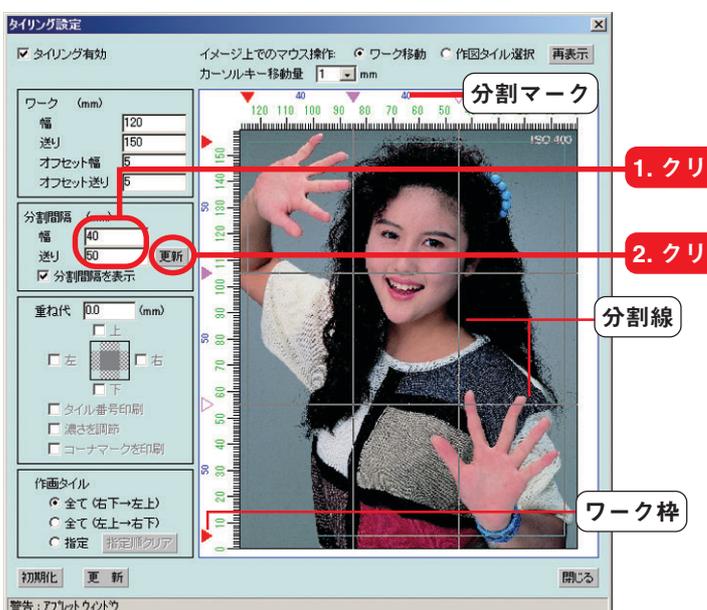
印刷したいエリアにワーク枠を移動します。

“オフセット幅”と“オフセット送り”に数値を入力することでもワーク枠を移動することができます。



ワーク枠内をマウスでドラッグすることでもワーク枠を移動できます。

3



タイルの基準サイズを入力します。

更新 ボタンをクリックすると、分割線を表示します。

“分割間隔を表示”を有効にすると、各タイルのサイズを青い数字で表示します。

Macintoshの場合は、“分割間隔を表示”を無効にすると分割マークとワークの境界マークは黒い三角形で表示します。

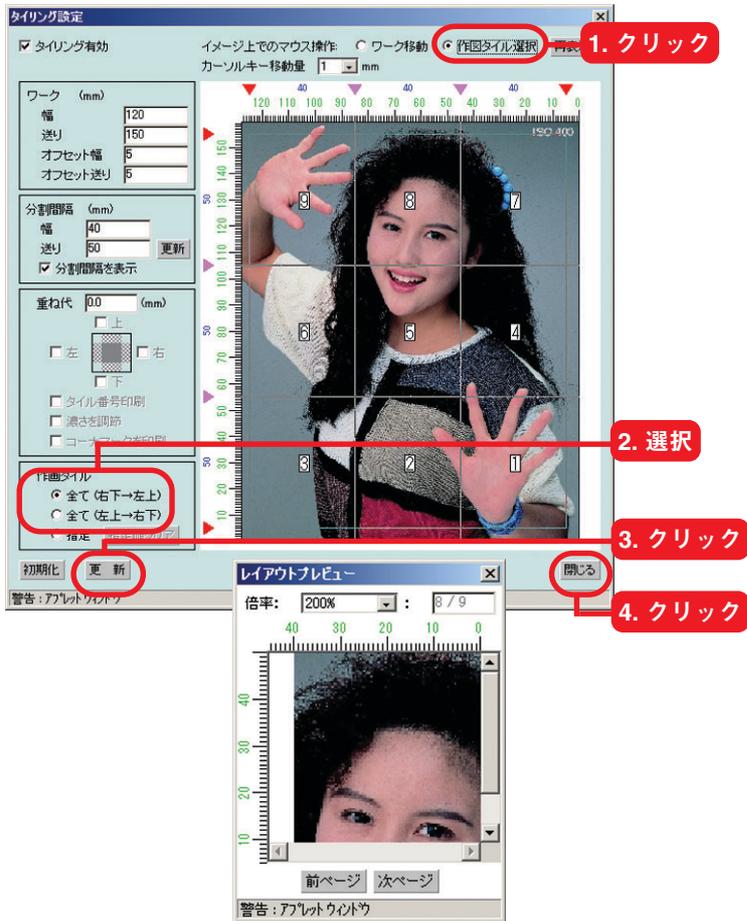
4



マウスで分割線を動かし、各タイルの大きさを調整します。

キーボードを使って分割線の位置を微調整することができます。詳細は、「キーボードによる分割位置の微調整」をご覧ください。

5



印刷するタイルの順序を指定します。「作業タイル選択」をクリックします。タイルの印刷順序を示す番号が表示されます。

“作業タイル” から、印刷する順番を選択します。

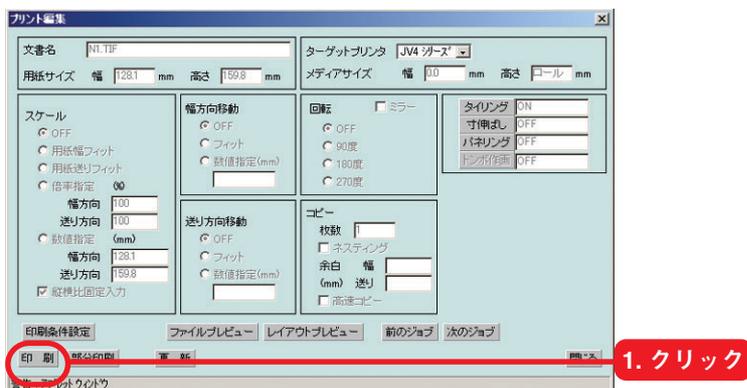
全て(右下→左上): 左図の1番から9番の順で印刷します。

全て(左上→右下): 左図の9番から1番の順で印刷します。

更新 ボタンをクリックします。“レイアウトプレビュー”ウィンドウを開いておくと、タイルング結果を確認することができます。

閉じる ボタンをクリックします。

6



印刷 ボタンをクリックします。印刷を開始します。

キーボードによる分割位置の微調整

分割線の位置は、ある程度マウスで調整できますが、キーボードを使うことにより微調整が可能です。

以下のキーを使用します。

- ・ **Tab** キー： “タイリング設定” ウィンドウの各設定項目を選択します。
タイリングプレビューエリアを選択すると青い矩形で囲まれます。

送り方向への分割線移動：

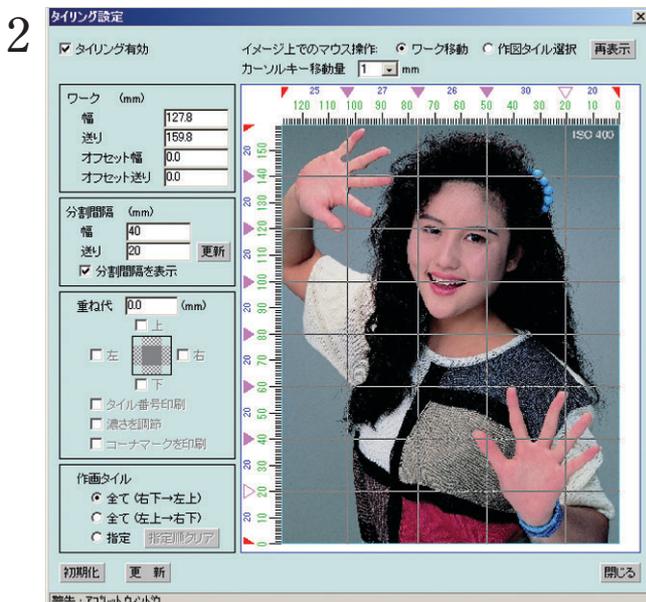
- ・ **Q** キー： 選択している分割線より上方向の分割線を選択します。
- ・ **A** キー： 選択している分割線より下方向の分割線を選択します。
- ・ **↑** キー： 選択している分割線を上方向へ移動します。
- ・ **↓** キー： 選択している分割線を下方向へ移動します。

幅方向への分割線移動：

- ・ **Z** キー： 選択している分割線より左方向の分割線を選択します。
- ・ **X** キー： 選択している分割線より右方向の分割線を選択します。
- ・ **←** キー： 選択している分割線を左方向へ移動します。
- ・ **→** キー： 選択している分割線を右方向へ移動します。



カーソルキーで移動するための移動量数値を設定します。

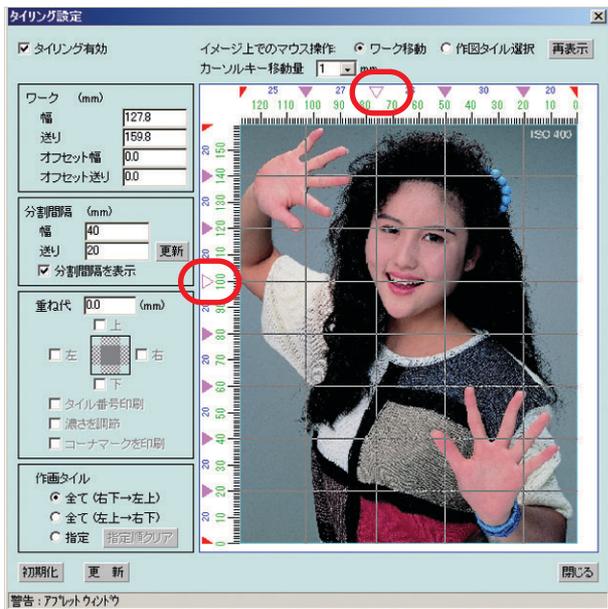


Tab キーを数回押し、タイリングプレビューエリアを選択します。

マウスでタイリングプレビューエリアをクリックしても同様です。

タイリングプレビューエリアが青い矩形で囲まれます。

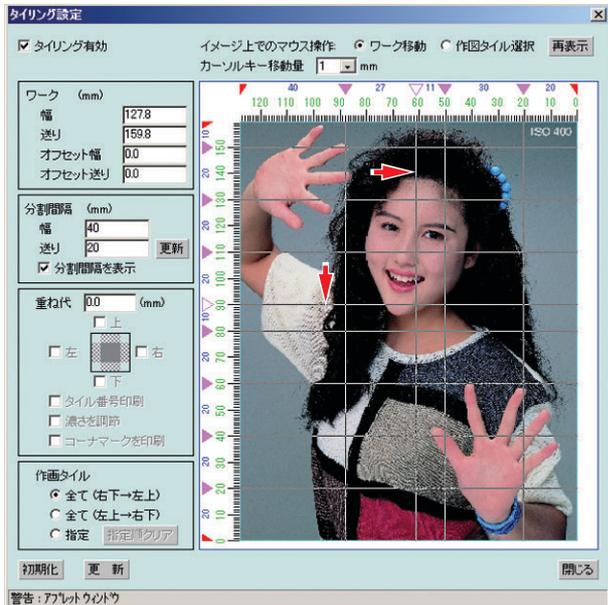
2



アルファベットキーを押して、移動したい分割線を選択します。

選択された分割線の分割マークは、白抜ききの三角形になります。

3



矢印キーを押して、分割線を移動します。

矢印キーを押すたびに、カーソルキー移動量で指定したサイズずつ移動します。矢印キーを押し続けると、分割線が移動し続けます。

分割線などの表示の一部が消えたときは



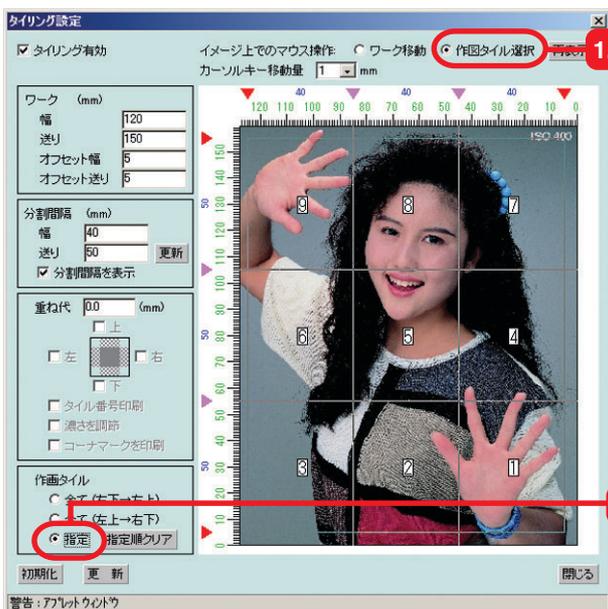
1. クリック

“レイアウトプレビュー”ウィンドウ等の他のウィンドウがタイルングプレビューエリアに重なると、分割線等の表示が消える場合があります。

再表示 ボタンをクリックすると、正常に表示します。

タイルを指定して印刷

1



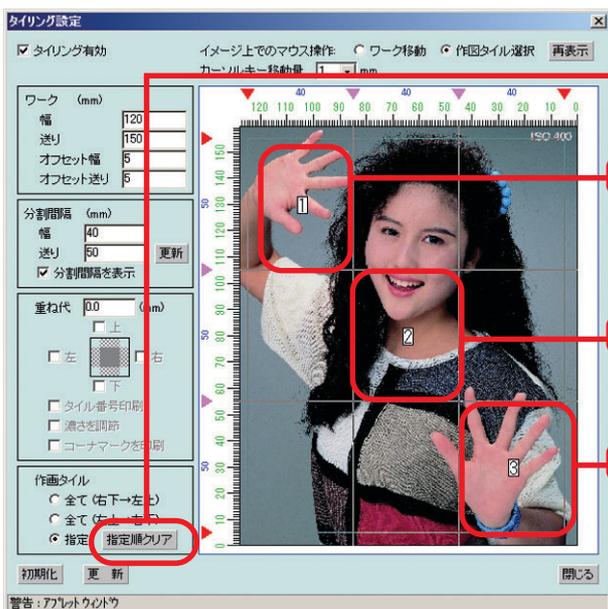
1. クリック

“作業タイル選択” をクリックします。
各タイル上に印刷順序を示す番号を表示します。

2. クリック

“作業タイル” の “指定” をクリックします。
指定順クリア ボタンがアクティブになります。

2



1. クリック

指定順クリア ボタンをクリックします。
印刷順序を示す番号が消えます。

2. クリック

印刷したいタイルを順番にマウスでクリックします。

3. クリック

印刷順序を間違えた場合は、
指定順クリア ボタンをクリックして最初から指定してください。

4. クリック

3



1. クリック

更新 ボタンをクリックします。

2. クリック

閉じる ボタンをクリックします。



注意

タイルを指定して印刷した場合、印刷を指定しなかったタイルは再印刷することは出来ません。

(☞ P.27「タイリングの再印刷」)

タイルに重ね代を印刷

タイルの重ね代の幅と重ね代を設ける位置を設定します。

重ね代部分にも画像を印刷します。

重ね代は、上下左右共に設定することができます。

ただし、角や端の部分のタイルには、不要な重ね代を印刷しません。

“レイアウトプレビュー” ウィンドウでは、重ね代の確認はできません。

重ね代 5.0 (mm)

上

左 右

下

タイル番号印刷

濃さを調節

コーナマークを印刷

タイルの位置が左上隅のため、重ね代は設定されません。

タイルの位置が上端のため、左端のみ重ね代が設定されます。

このタイルの四方にタイルが配置されるため、上端と左端に重ね代が設定されます。

重ね代

1

タイル設定

タイリング有効

ワーク (mm)

幅 120.0

送り 150.0

オフセット幅 5.0

オフセット送り 5.0

分割間隔 (mm)

幅 40.0

送り 50.0

分割間隔を表示

更新

重ね代 5.0 (mm)

上

左 右

下

タイル番号印刷

濃さを調節

コーナマークを印刷

作画タイル

全て (右下→左上)

全て (左上→右下)

指定

初期化 更新 閉じる

警告: アフレックアウト

1. 入力

2. クリック

3. クリック

“重ね代”の幅を入力します。

“重ね代”の幅を入力すると、重ね代の位置を設定する項目がアクティブになります。

重ね代の設定位置をクリックして選択します。

更新 ボタンをクリックします。

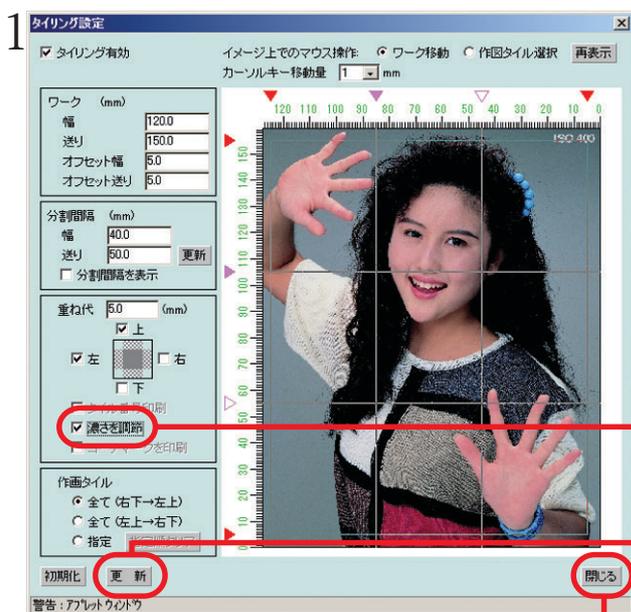
閉じる ボタンをクリックします。

透明度のあるメディアに印刷

電飾フィルムなど透明度のあるメディアにタイル印刷する場合は、重ね代部分の濃度を薄くして印刷します。これにより、フィルムが重なった部分が濃くなることを防ぎます。
“レイアウトプレビュー” ウィンドウでは、濃度の確認はできません。



● “濃さを調節” を有効にすると、“タイル番号印刷” と “コーナーマークを印刷” は設定できません。



“濃さを調節” をクリックします。

更新 ボタンをクリックします。

閉じる ボタンをクリックします。

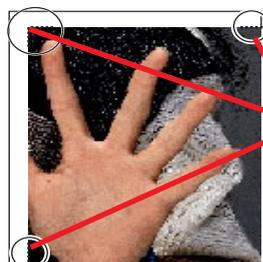
重なり部分のマークを印刷

タイルの張り合わせを容易にするためにマークを印刷します。
マークは、長さ 10mm の点線で、500mm 間隔でタイルの分割線上に印刷します。
分割線は、タイルの辺の長さが 100mm 以下のときは印刷しません。
“レイアウトプレビュー” ウィンドウでは、マークの確認はできません。

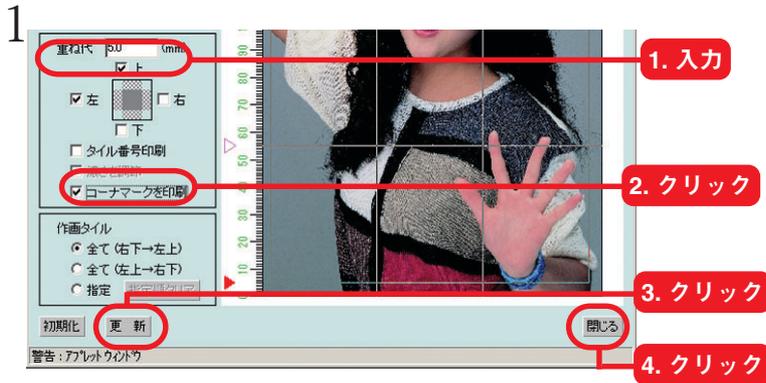


● “コーナーマークを印刷” を有効にすると、“濃さを調節” は設定できません。

● 重ね代を上下または左右両端に付ける場合、“コーナーマークを印刷” を無効にしてください。この場合あらかじめ Adobe Illustratorなどで画像にコーナーマークを付けてください。



コーナーマーク



“重ね代”の幅を入力します。

“コーナーマークを印刷”を選択します。

更新 ボタンをクリックします。

閉じる ボタンをクリックします。

タイル毎にタイル番号を印刷

印刷したタイルが、どの部分に相当するかを示すために、各タイルの重ね代にタイル番号を印刷します。

タイル番号は、重ね代部分に印刷します。

“レイアウトプレビュー” ウィンドウでは、タイル番号は表示しません。

タイル番号は、端から 10mm のところに印刷します。



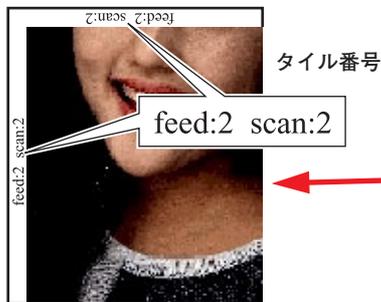
注意

● タイル番号を印刷するには、次の条件が必要です。

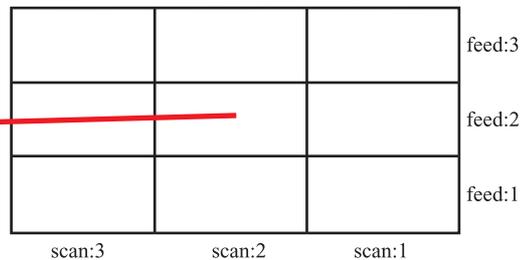
重ね代：2mm 以上

1 辺の長さ：100mm 以上

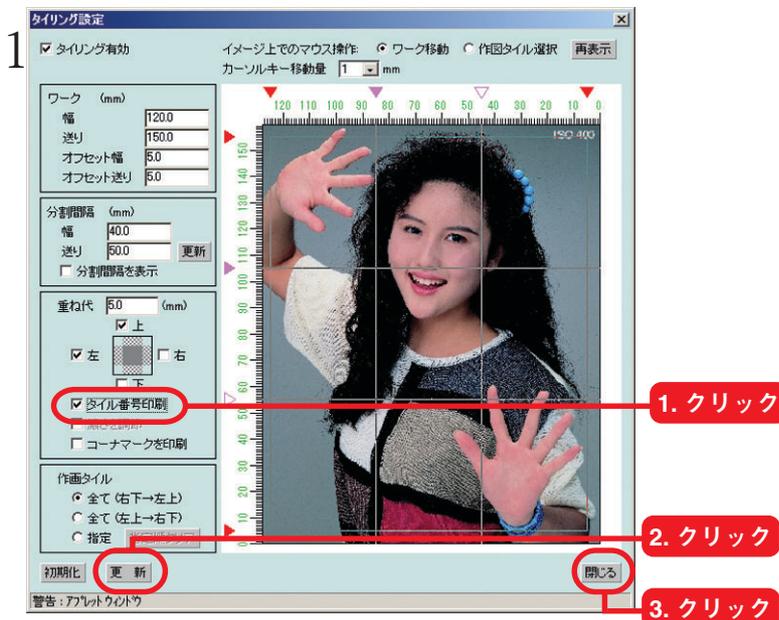
● “タイル番号印刷” を有効にすると、“濃さを調節” は設定できません。



用紙先頭



用紙先頭



“タイル番号印刷” をクリックします。

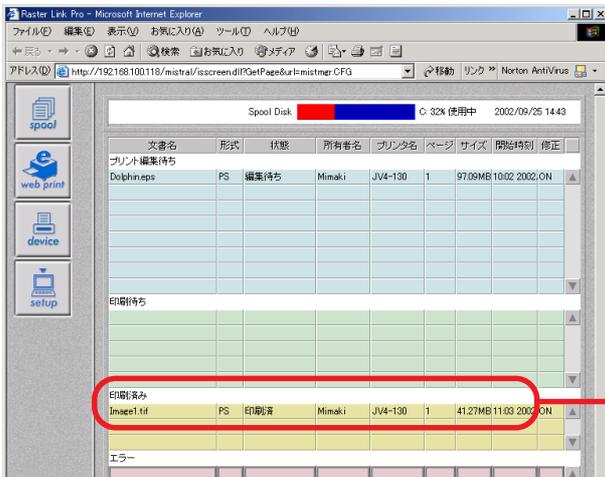
更新 ボタンをクリックします。

閉じる ボタンをクリックします。

タイリングの再印刷

タイリング印刷したデータが“印刷済み”ジョブリストにある場合、再度印刷することができます。

1

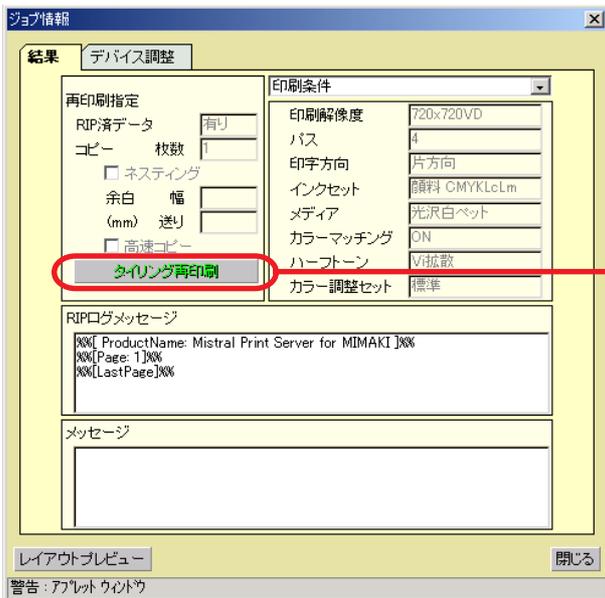


1. ダブルクリック

“印刷済み”ジョブリストにあるタイリング印刷したファイルをダブルクリックします。

“ジョブ情報” ウィンドウが開きます。

2



1. クリック

タイリング再印刷 ボタンをクリックします。

再印刷用の“タイリング設定” ウィンドウが開きます。

3



1. 設定

必要に応じて、“作画タイル”を指定します。

他の機能は、設定できません。



注意

タイルを指定して印刷した場合 (P.23)、印刷を指定しなかったタイルは再印刷することが出来ません。

4



再印刷 ボタンをクリックします。

パネリング印刷

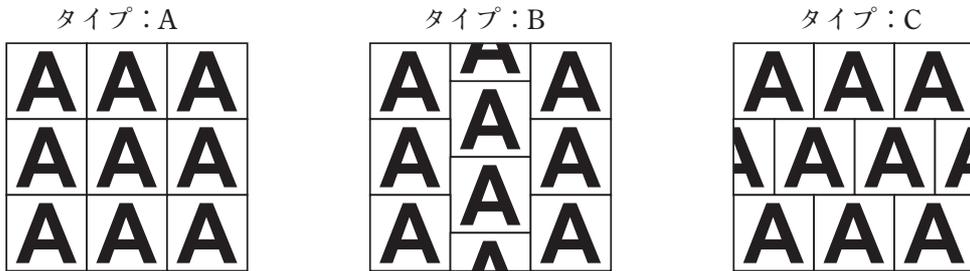
画像を3種類のパターンにしたがって配置して印刷します。

“レイアウトプレビュー” ウィンドウでは、10mの長さまで表示します。

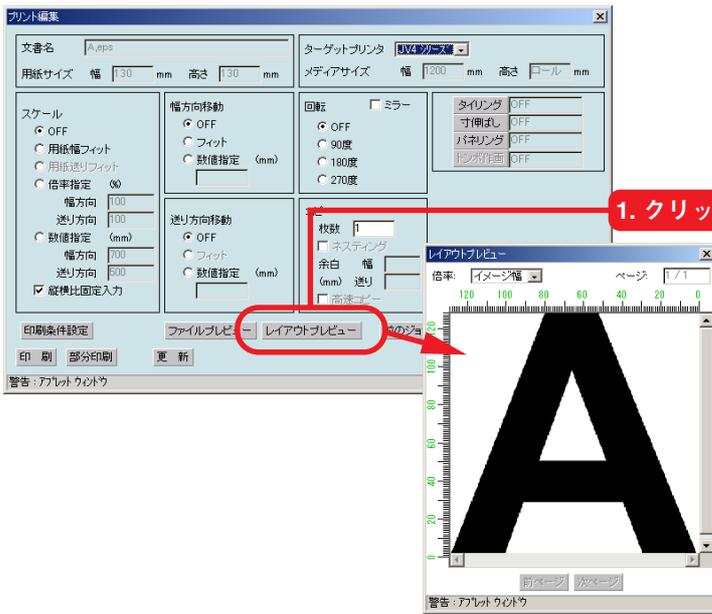
パネリング処理された画像は、“レイアウトプレビュー” ウィンドウで確認できます。



- データ出力方法で“RIPしながら印刷”や“RIPのみ”を指定しても、“RIPが終わってから印刷”で印刷を行います。よって、プロッタが印刷を開始するまでの時間が長くなります。
- 印刷モードの設定で“Twin ロールコピー”が設定してある場合は、パネリングは設定できません。
- データに余白部分があると、画像と画像の間に隙間が空いて印刷されます。



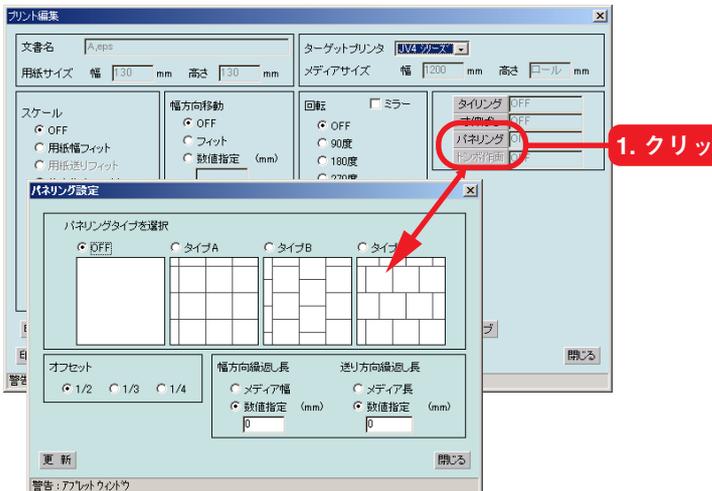
1



レイアウトプレビュー ボタンをクリックします。

“レイアウトプレビュー” ウィンドウが開きます。

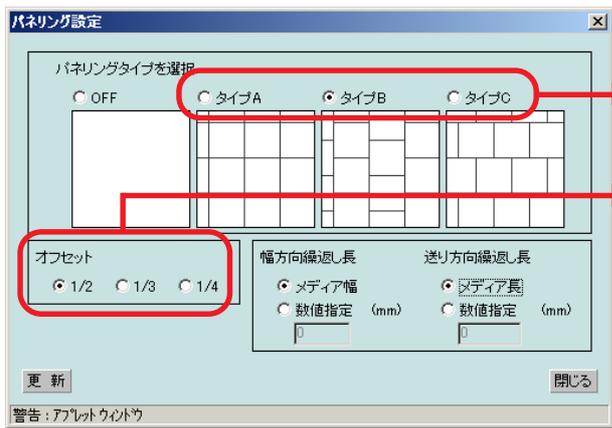
2



“プリント編集” ウィンドウでパネリング ボタンをクリックします。

“パネリング設定” ウィンドウが開きます。

3



パネリングタイプを選択します。

タイプAからタイプCのいずれかをクリックすると、パネリング機能が有効になります。

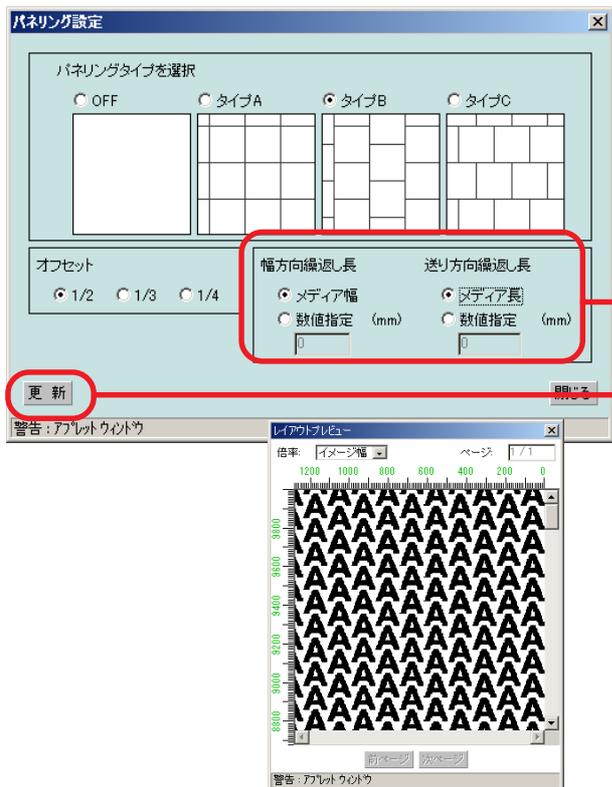
1. クリック

2. クリック

画像の配置するオフセットを1/2、1/3、および1/4から選択します。

オフセットとは、配置する画像のズレ量のことです。

4



画像の繰り返し長を選択します。

●幅方向繰り返し長：メディア幅

メディアの幅いっぱい、画像を繰り返し印刷します。

●幅方向繰り返し長：数値指定

幅方向に指定した長さいっぱい、画像を繰り返し印刷します。

●送り方向繰り返し長：メディア長

メディアの長さいっぱい、画像を繰り返し配置します。

●送り方向繰り返し長：数値指定

送り方向に指定した長さいっぱい、画像を繰り返し印刷します。

更新 ボタンをクリックします。

“レイアウトプレビュー” ウィンドウに設定した内容が反映します。

閉じる ボタンをクリックします。

画像を伸ばして印刷（寸伸ばし）

施工時のワークと画像の天地左右の空きを防ぎます。

画像の天地左右の端をコピーして画像のサイズを伸ばします。

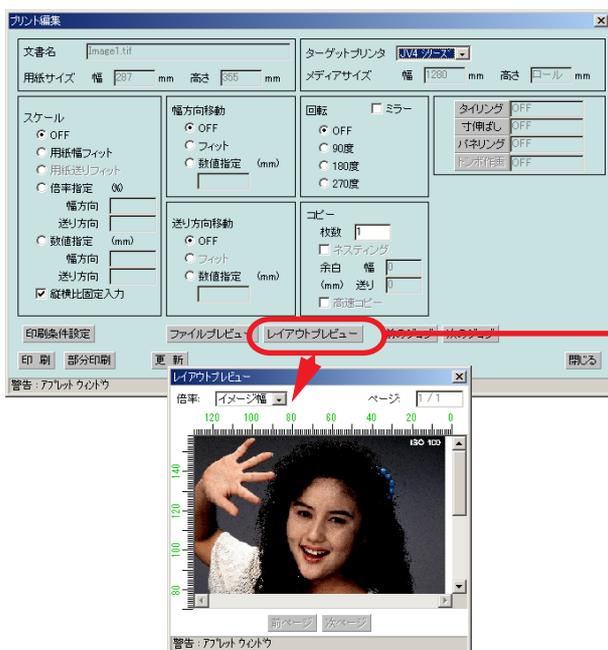
寸伸ばし処理された画像は、“レイアウトプレビュー”ウィンドウで確認できます。

本設定は、タイリングと組み合わせて設定することはできません。タイリングを設定していると、本設定は無効になります。



● 画像を伸ばす部分に余白がある場合は、余白部分が伸びます。

1

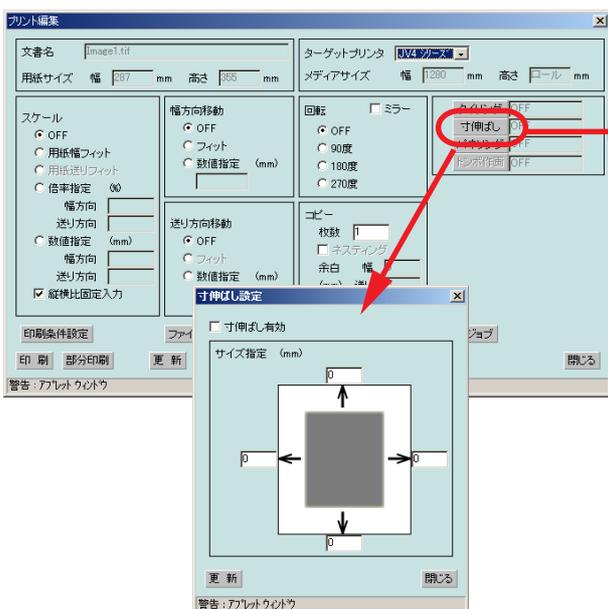


1. クリック

レイアウトプレビュー ボタンをクリックします。

“レイアウトプレビュー”ウィンドウが開きます。

2

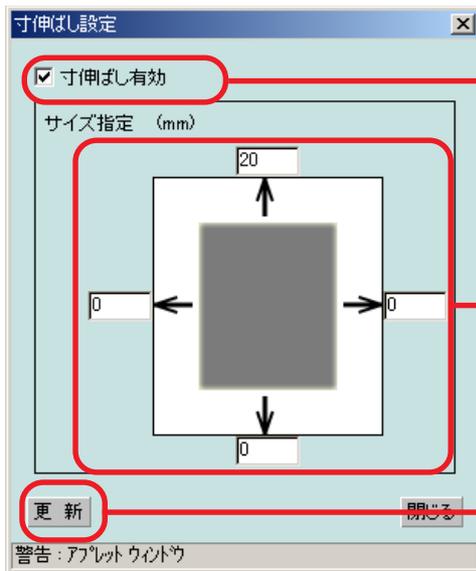


1. クリック

“プリント編集”画面で寸伸ばし ボタンをクリックします。

“寸伸ばし設定”ウィンドウが開きます。

3



1. クリック

2. 入力

3. クリック

“寸伸ばし有効”にチェックを付けて有効にします。

天地左右へ伸ばす長さを入力します。

更新 ボタンをクリックします。

“レイアウトプレビュー”ウィンドウに設定した内容が反映します。

閉じる ボタンをクリックします。



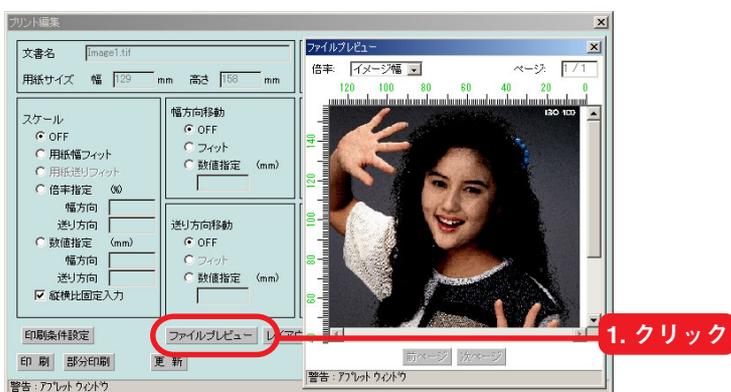
20mm

画像の一部を印刷

試し印刷として、画像の一部を印刷することができます。

ただし、“プリント編集” ウィンドウで設定した機能は、反映されません。

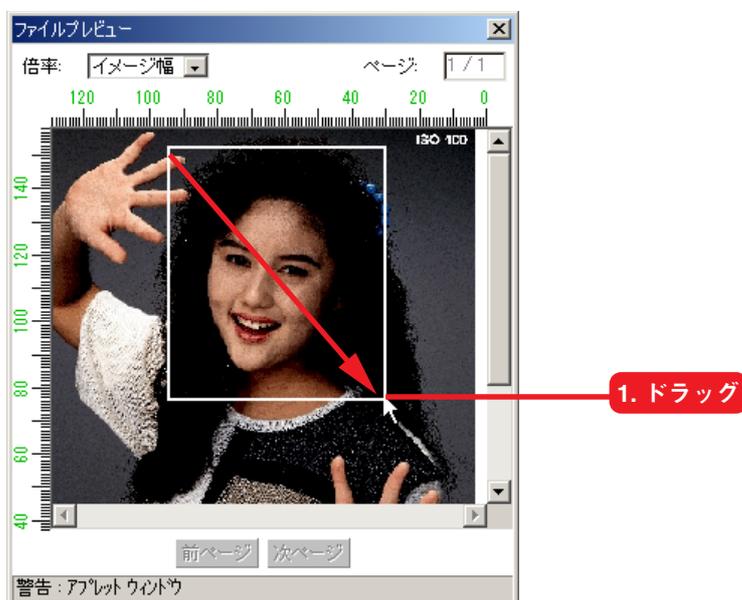
1



“プリント編集” ウィンドウを開き、**ファイルプレビュー** ボタンをクリックします。

“ファイルプレビュー” ウィンドウが開きます。

2



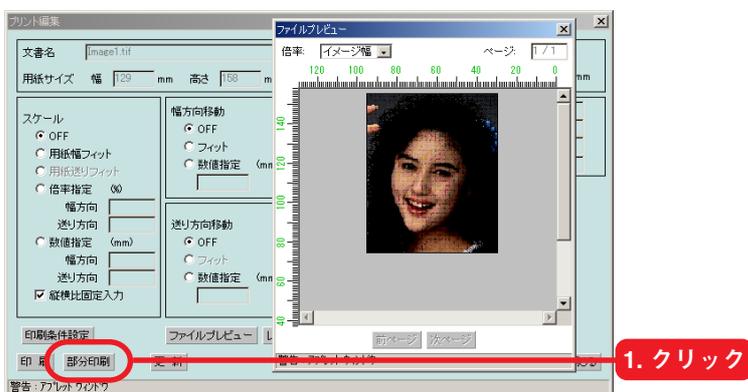
必要に応じて、倍率を変更し画像を拡大します。

印刷したい部分をマウスでドラッグします。

プレビュー画像には、選択した部分の画像を表示します。

元の画像表示に戻すには、プレビュー画像エリアをマウスでクリックします。

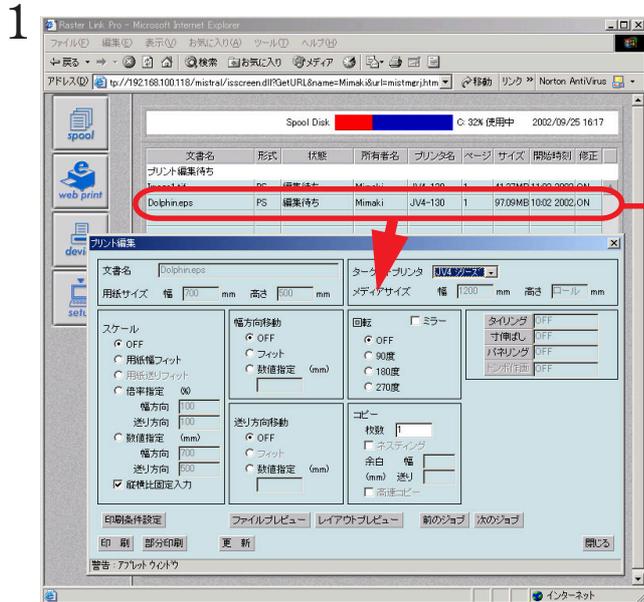
3



部分印刷 ボタンをクリックします。
印刷を開始します。

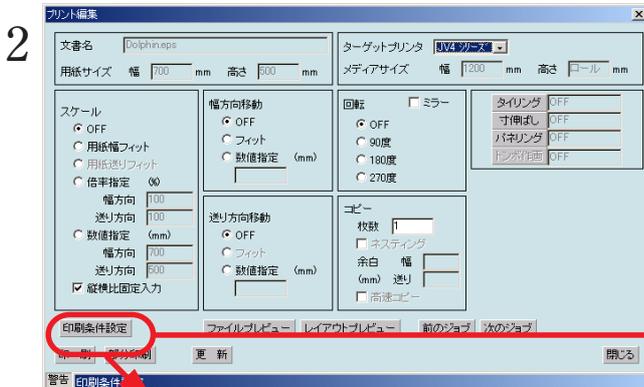
印刷条件の設定

印刷条件の設定は、“プリント編集”ウィンドウの「印刷条件設定」ボタンをクリックします。印刷ファイル毎に印刷条件を設定することが可能です。また、ここで設定する条件は、Raster Link Proの初期値として登録することができます。詳細は「印刷条件の初期値設定」(P.85)をご覧ください。



Spool画面で印刷条件を変更したい印刷ファイルをダブルクリックします。“プリント編集”ウィンドウが開きます。

1. ダブルクリック



「印刷条件設定」ボタンをクリックします。“印刷条件設定”ウィンドウが開きます。

1. クリック

各種条件を設定します。

「更新」ボタンをクリックします。



2. 設定

「閉じる」ボタンをクリックします。

4. クリック

3. クリック

“印刷条件設定” ウィンドウ

使用したい出力プロファイルを絞り込みます。(P. 36)

Raster Link Proにインストールしてあるプロファイルを表示します。
マウスでクリックして、リストを選択します。紫色の表示は、現在選択されているプロファイル、または前回設定したプロファイルです。

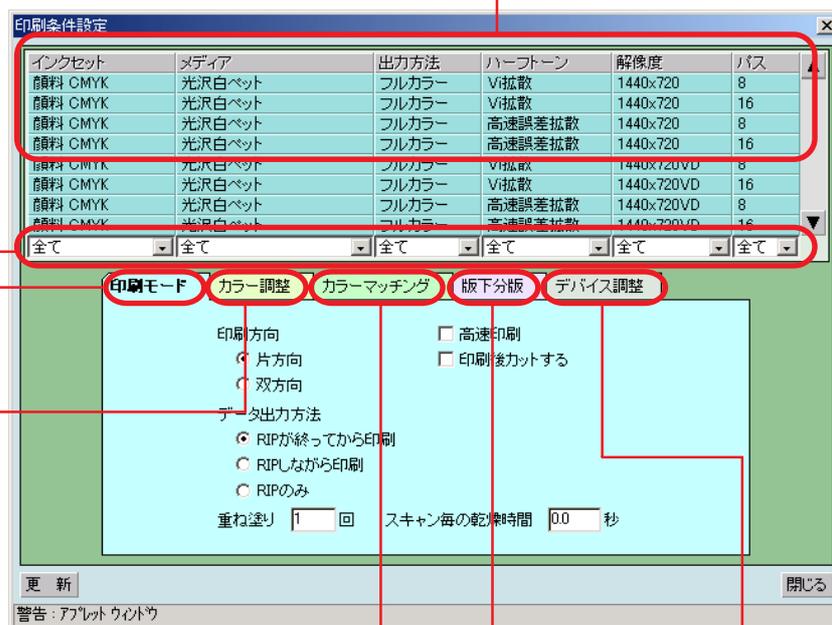
印刷モードに関する設定です。(P. 38)

カラー調整に関する設定です。(P. 42)

カラーマッチングに関する設定です。(P. 44)

版下分版に関する設定です。(P. 63)

プリンタ特有の調整機能に関する設定です。(P. 46)



プロファイルの選択方法について

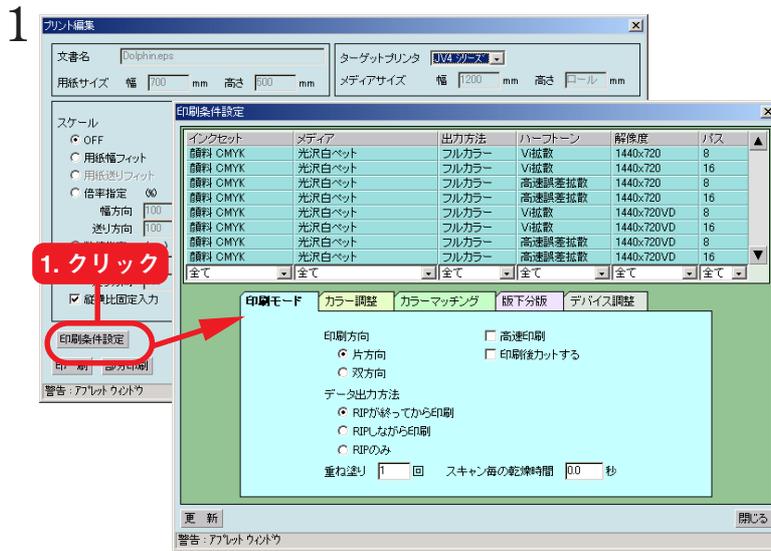
Raster Link Pro には、下記の条件を組み合わせた出力プロファイルを用意しております。

インクセット、メディア、出力方法、ハーフトーン、解像度
これにより、適切な出力結果を得ることができます。

なお、プロファイルに登録されていない印刷条件では印刷できません。
表示するプロファイルは、プリンタによって異なります。



- メディア名に“v2”と付いたプロファイルがあります。このプロファイルは、グレーバランスを調整することができます。
- 下記の手順 2) から 7) は、選択するプロファイルの絞り込み方法です。プロファイルが設定されるのは、手順 8) の操作です。



印刷条件設定 ボタンをクリックします。

“印刷条件設定”ウィンドウを表示します。

現在設定されているプロファイル、または前回設定したプロファイルを紫色で表示します。



お使いになるプリンタで使用可能なインクの種類と色の組み合わせを選択します。

プリンタにセットしてあるインクカートリッジと同じ組み合わせを選択してください。



お使いになるメディアを選択します。



出力方法を選択します。



ハーフトーンの種類を選択します。

Vi 誤差拡散は、高速誤差拡散よりも緻密な誤差拡散でデータを処理します。ただし、処理時間は長くなります。



解像度を選択します。

解像度は、“スキャン解像度 × メディア送り解像度”です。

解像度は、プリンタによって異なります。

“720 × 720VD”のように“VD”の表示がある解像度は、インクのドットサイズを変えて印刷します（バリエブルドット）。これにより、インクジェット特有の粒状感を軽減し、きめこまかな印刷が得られます。



パス数を選択します。

パス数が大きいほど綺麗に印刷できますが、印刷時間が長くなります。

パス数は、プリンタの仕様および印刷解像度によって異なります。



使用するプロファイルをクリックします。

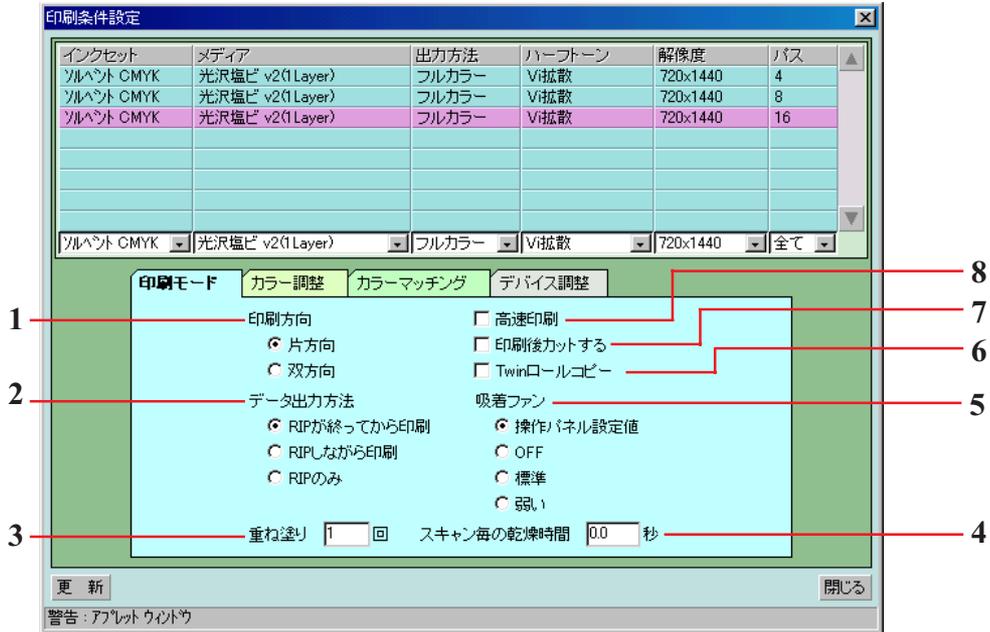
選択したプロファイルが紫色に変わります。

更新 ボタンをクリックします。

閉じる ボタンをクリックします。

[印刷モード]メニュー

印刷モードを設定します。



1. 印刷方向の設定

片方向

ヘッドが右から左へ移動する際にインクを吐出して印刷します。“双方向”よりは綺麗に印刷できますが、印刷時間は長くなります。

双方向

ヘッドが左右に移動する際にインクを吐出して印刷します。“片方向”よりは画質が落ちますが、印刷時間は短くなります。

2. データ出力方法

RIPが終わってから印刷

RIP中はRIP済みデータをハードディスクに書き出し、RIP終了後に印刷します。

Raster Link Proからプリンタへのデータ転送が間に合わない場合に使用します。

RIPしながら印刷

RIP処理しながら、プリンタへデータ転送を行います。

また、“印刷しながらカラー調整”機能が設定可能です。

版下分版機能では、この設定は無効です。

RIPのみ

RIP処理のみ行います。

RIP処理したデータは、“印刷済み”ジョブリストに保管されます。

RIP済みのデータは、再印刷ができます。(P. 27, P. 73, P. 75)



注意

- タイリング、コピー、およびパネリングの場合は、“RIPしながら印刷”を指定しても、“RIPが終わってから印刷”で印刷を行います。よって、プリンタが印刷を開始するまでの時間が長くなります。
- コピー、およびパネリングの場合は、“RIPのみ”を指定しても、“RIPが終わってから印刷”で印刷します。
- “RIPしながら印刷”を設定した場合は、再印刷はできません。

3. 重ね塗り

発色を強くしたい場合に設定します。

重ね塗り用の出力プロファイル（2Layer用）を使用する場合は、重ね塗りの回数には“2”を入力してください。

4. スキャン毎の乾燥時間

ヘッドが1スキャンする度に停止する時間を設定します。

インクの乾燥状態を目安に設定してください。

5. 吸着ファン（JV3SP, JV22）

メディアの吸着力を設定します。

メディアがプリンタに貼り付きやすい場合は、「弱い」に設定します。

6. Twin ロールコピー（JV3SP）



- “Twin ロールコピー” を設定した場合は、“ネスティング”、“タイリング”、および“パネリング”を設定することはできません。

左右のロールを合わせた領域が、一つの作図エリアとなります。

プリンタに2本のロールをセットしたときに有効になります。

- チェックを入れる Twin ロールモードで印刷します。（ P. 41）作図可能領域は、右ロールのみです。

アプリケーションソフトでは、右ロールに収まるデータを作成します。印刷時に、同じデータを自動的に左ロールにも印刷します。

Twin ロールコピーを設定した場合は、設定枚数の2倍の枚数を印刷します。

- チェックを外す Single ロールモードで印刷します。（ P. 41）左右それぞれのロールに、アプリケーションソフトで作成した左右の画像をそのまま印刷します。

7. 印刷後カットする

印刷終了後、メディアをカットしてロールから切り離します。

コピー機能を設定した場合は、本設定は無効になります。なお、高速印刷機能を設定した場合、本機能は有効です。

タイリングでは、タイル毎にカットします。

8. 高速印刷

印刷時間を短くするために、高速で印刷することができます。

ただし、通常の印刷より画質が落ちます。



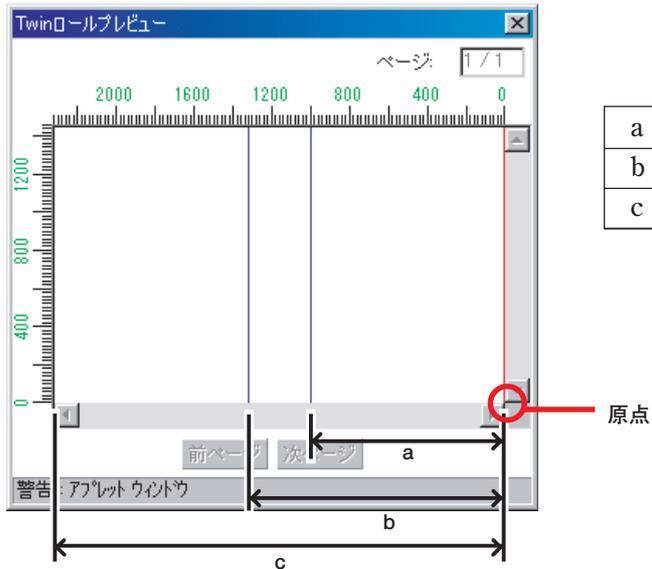
- 下記のいずれかの条件では、高速印刷は設定できません。
 - ・ 版下分版のとき
 - ・ 使用インクが分散インクのとき
 - ・ 使用インクが顔料インクまたは染料インクで、最低パス数を設定したときただし、解像度が「360x540HQ」のときは、常に高速印刷になります。

Twinロール印刷 (JV3SP)

JV3-250SPでは、一度に2本の同一ロールメディアをセットして作図することができます（ツインロール）。

レイアウトプレビュー

レイアウトプレビューでは、ロール全体とメディアの位置を示す線を表示します。
(二つのロールの正確な配置位置を表すものではありません。)



a	原点から右ロール印刷可能領域の左端まで
b	原点から左ロール印刷可能領域の右端まで
c	原点から左ロール印刷可能領域の左端まで



注意

● 作図原点は、必ず右ロール側に設定します。左ロール側に設定することはできません。

Single ロールモードでの印刷

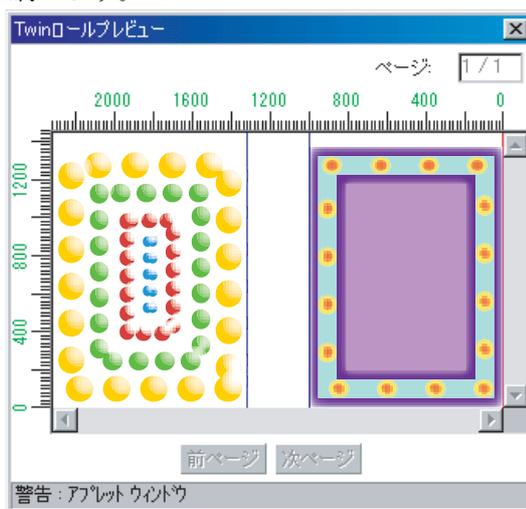
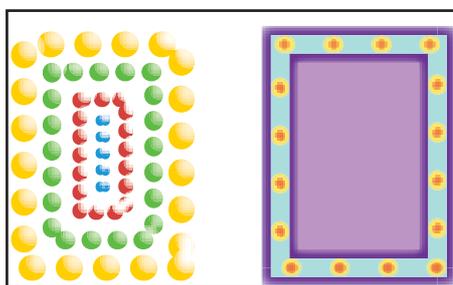


注意

- アプリケーションソフトでイメージを作成する場合は、左右のロールの位置や隙間などを考慮して作成します。
- 右ロールと左ロールの間に画像がある場合は、プリンタのプラテン部に印刷してしまうので注意してください。

作成したイメージをそのままの位置関係で印刷します。

アプリケーションソフトで作成したイメージ。



Twin ロールモードでの印刷

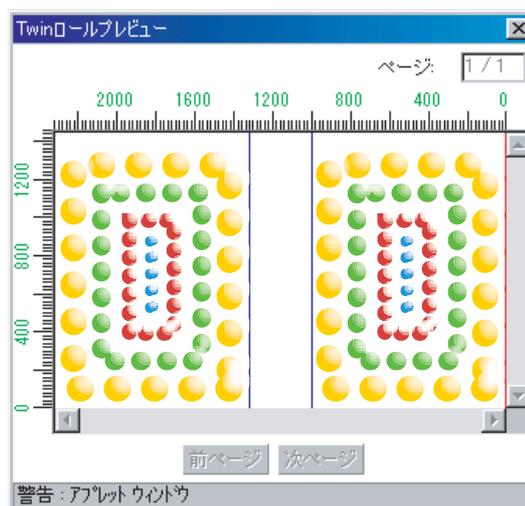
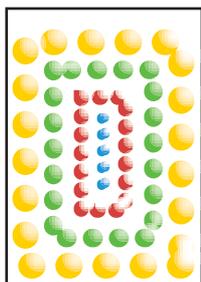


注意

- 右ロールより大きい幅の画像は、エラーとなり印刷できません。

右ロールと同じイメージを左ロールにも自動的に印刷します。

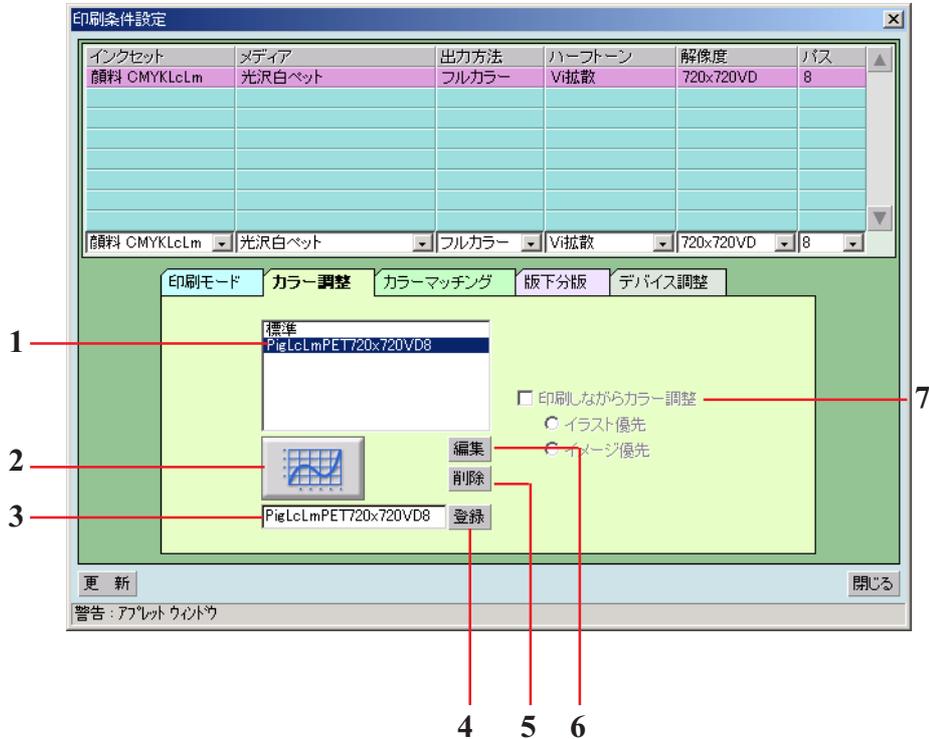
アプリケーションソフトで、右ロールのイメージを作成。



[カラー調整]メニュー

インクカーブ調整とカラー調整を設定します。

インクカーブ調整とカラー調整の設定内容は、カラー調整セットとして名前を付けて登録することができます。



1. カラー調整セットリスト

選択した出力プロファイルに登録されているカラー調整セットを表示します。

カラー調整セットの内容は、[カラー調整]メニューで設定するインクカーブ調整とカラー調整です。

2. インクカーブボタン (P. 55)

カラー調整セットの各色のインクカーブとグレーバランスを調整します。

カラー調整では思い通りに色を調整できない場合に使用します。

3. 入力ボックス (P. 49)

登録するカラー調整セット名を入力します。

4. **登録** ボタン

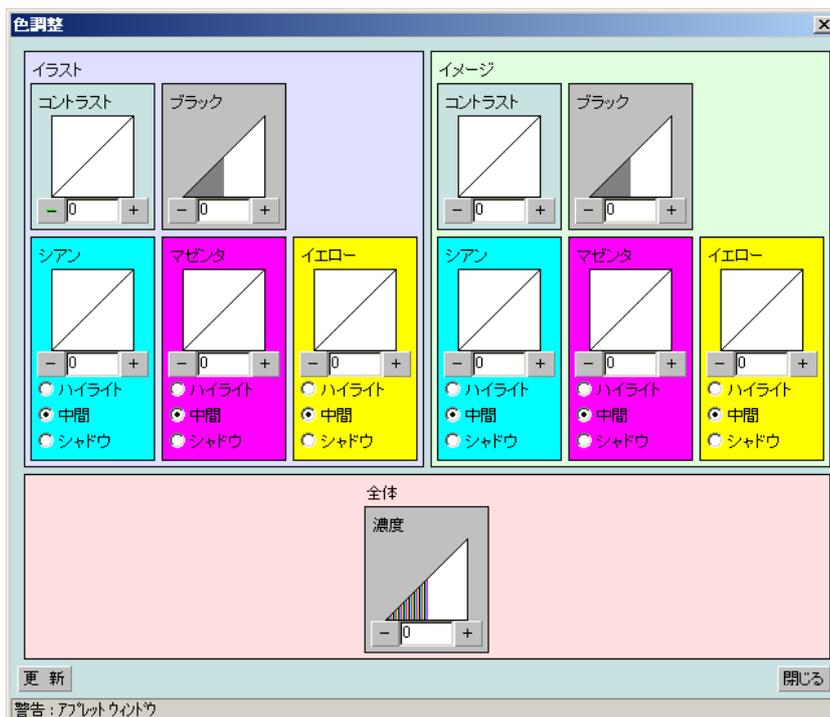
カラー調整セットを登録します。

5. **削除** ボタン

登録してあるカラー調整セットを削除します。

6. 編集 ボタン (P. 48)

インクの濃度、イラストとイメージごとの各インクのカラー調整を行います。



7. 印刷しながらカラー調整 (P. 52)

作図しながらカラー調整を行うことができます。

印刷しながらカラー調整を行う場合は、[印刷モード]の作図方法で“RIPしながら印刷”を選択してください。

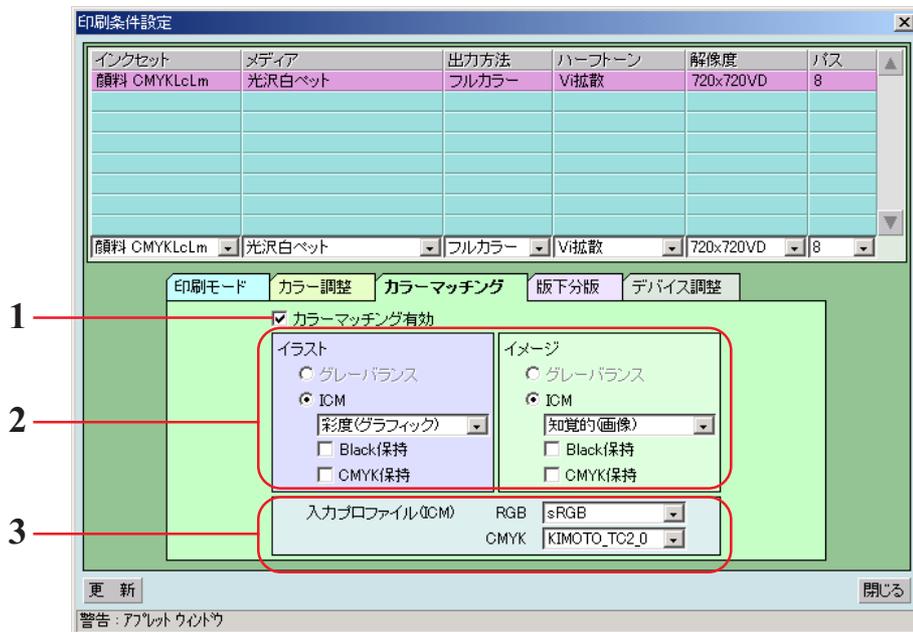
調整した内容は、カラー調整セットとして登録することができます。

イラスト優先 ベクター部分を優先的にカラー調整を行います。

イメージ優先 ラスター部分を優先的にカラー調整を行います。

[カラーマッピング]メニュー

出力プロファイルのカラーマッピング方法等を指定します。



1. カラーマッピング有効

カラーマッピング機能を有効にします。

[カラーマッピング]メニューで設定した条件で作図します。

2. イラスト/イメージ

1 ファイル内にあるイラスト部分とイメージ部分に対して別々にカラーマッピングを設定します。

グレーバランス： Raster Link Pro 独自のカラーマッピングです。

データで指定されたインク色に、指定外のインク色が使われることを防ぎ、彩度の高い印刷を行います。しかし、カラーマッピングの彩度は、ICC プロファイルに比べ劣ります。

ICM： ICC プロファイルによるカラーマッピングを行います。

通常は、こちらの項目を設定してください。

視覚的 (画像) 印刷ファイルが写真の場合に適しています。各カラーの明度を保持します。

彩度 (グラフィック) 印刷ファイルがイラストの場合に適しています。各カラー域内で、彩度を保持します。

相対的な色域を維持 相対的にカラー域を確保します。メディアの白色を考慮して、カラーをマッピングします。例えば、黄色味かかったメディアに印刷する場合は、モニターの画像より全体的に黄色味を帯びて印刷します。

絶対的な色域を維持 絶対的にカラー域を確保します。認識したカラー値どおりにカラーをマッピングします。例えば、

黄色味かかったメディアを使用する場合でも、メディアのカラーは考慮せず、モニターの画像どおりの色で印刷します。

- Black 保持： カラーマッチングを行わずに、ブラックインクのみで作図します。
黒い部分は、シアン、マゼンタ、イエローインクを混ぜ合わせないでブラックインクのみで作図します。
- CMYK 保持： 一次色のシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックで作成されたデータは、カラーマッチングを行わずに作図します。

3. 入カプロファイル(ICM)

データを作成したときのプロファイルを選択します。

通常は、以下のプロファイル選択してください。

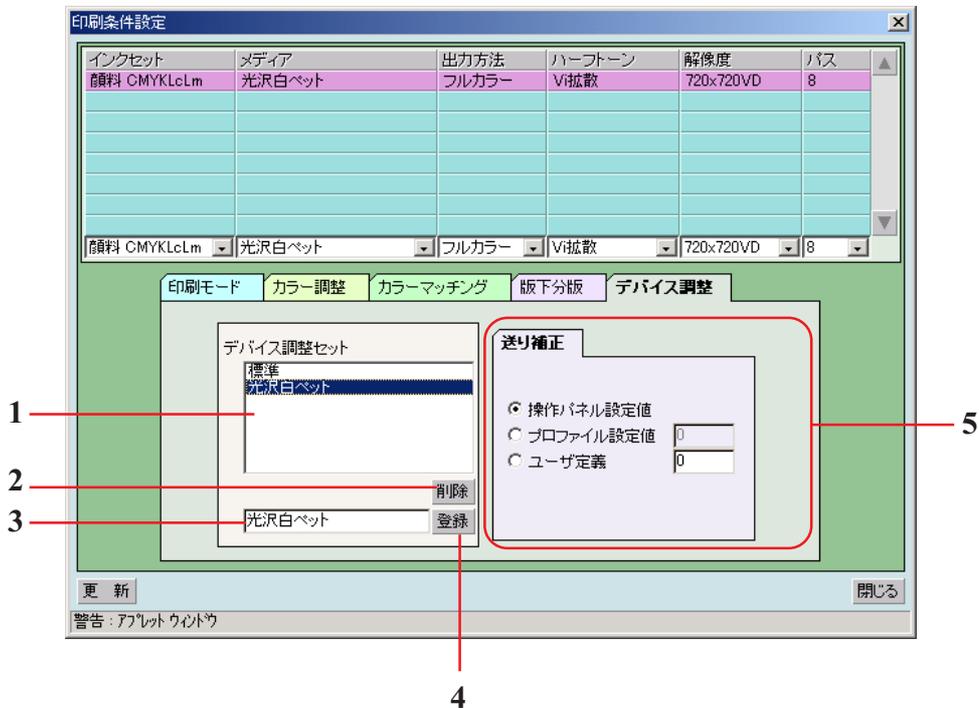
RGB データsRGB

CMYK データKIMOTO_TC2_0

[デバイス調整]メニュー

プリンタ特有の調整機能を設定します。

ここで設定する機能は、カラー調整セットのように出力プロファイルに依存しません。



1. デバイス調整セットリスト

デバイス調整セットを表示します。

デバイス調整セットとは、[デバイス調整]メニューで設定した条件を登録したものです。

2. 削除 ボタン

登録してあるデバイス調整セットを削除します。

3. 入力ボックス

登録するデバイス調整セット名を入力します。

名前は、メディア名を入力すると便利です。

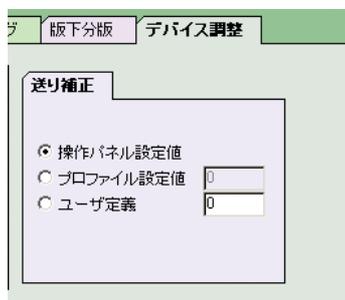
4. 登録 ボタン

デバイス調整セットを登録します。

5. サブメニュー

新たに登録したデバイス調整セットに対して設定できます。

各機能の設定値に対して、下記のいずれかの設定値を優先するか設定します。



操作パネル設定値： プリンタの操作パネルで設定した値を優先します。

プロフィール設定値： 選択したプロフィールに登録されている値を優先にします。

プロフィールに値が登録されていない場合は、“0”を表示します。

ユーザー定義： ボックスに入力した値でプリンタが動作します。

プリント編集ウィンドウの **印刷** ボタンをクリックしたときに、設定した値がプリンタに通知されます。

ヒーターの温度は、プリント編集ウィンドウの **印刷** ボタンをクリックしたときに、設定した値がプリンタに通知され温度が更新されます。作図は、ヒーターの温度が設定値に達してから始まります。

カラー調整について

画像の色味を調整します。調整した値は、カラー調整セットとして登録できます。
カラー調整セットは、以下の2通りの方法で登録が可能です。

- 1) “印刷条件設定” ウィンドウで、各プロファイル毎にカラー調整セットを登録します。
“プリント編集待ち”ジョブリストの印刷ファイルに対して、印刷しながらカラー調整を行い、カラー調整セットを登録することもできます。
- 2) プリンタの初期セットとして、device 画面でカラー調整セットを登録します。
プリント編集を行わずパソコンから直接印刷する場合に便利です。

“カラー調整” ウィンドウ

、または をクリックすると、5単位で数値が変わります。また、数値ボックスに直接数字を1単位で入力することができます。値は -50%から +50%までの範囲で設定できます。

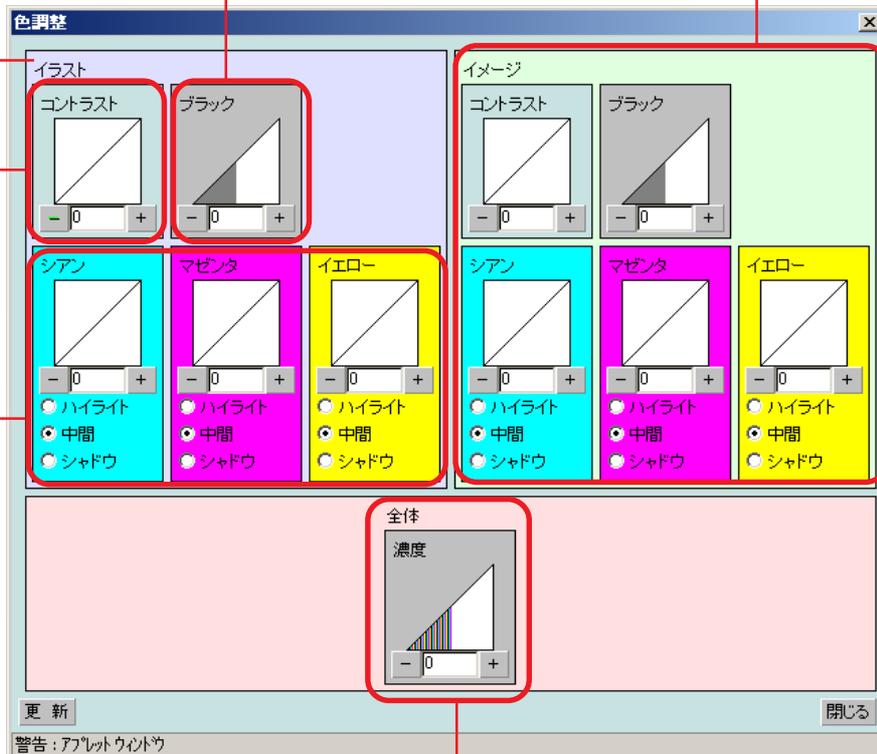
1ファイル内にあるイラスト部分のカラー調整を行います。

1ファイル内にある写真データのようなイメージ部分のカラー調整を行います。

ブラックインクの使用量を調整します。値を大きくするとブラックインクの使用量が増え、シアン、マゼンタ、そしてイエローインクの使用量が減ります。黒い部分が乾きにくいとき、値を大きくすると乾きやすくなります。

画像のコントラストを調整します。
値を大きくするとコントラストが強くなり、小さくすると弱くなります。

主に調整したい部分（ハイライト、中間、シャドウ）のインク量を調整します。より詳細に調整するには、インクカーブ調整を行ってください。（ P. 55）

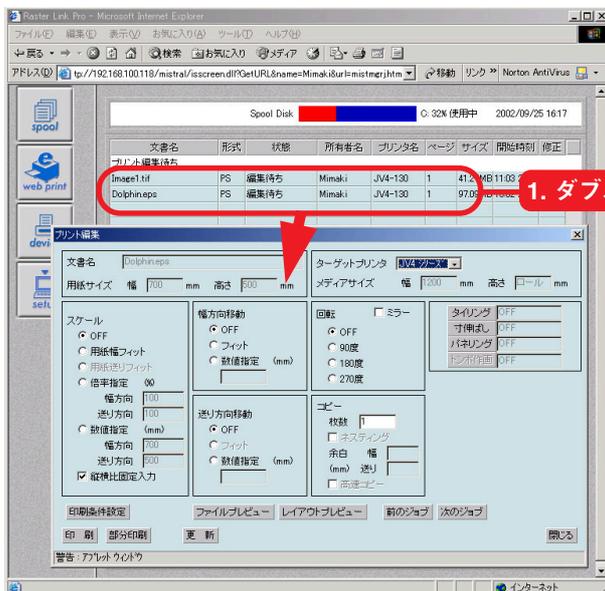


全てのインクの最大使用量を調整します。
この調整は、イラストとイメージの区別なく反映します。
全体の濃度をプラス値に設定すると、各色のインクリット値を越えて印刷できます。

カラー調整セットを作成する

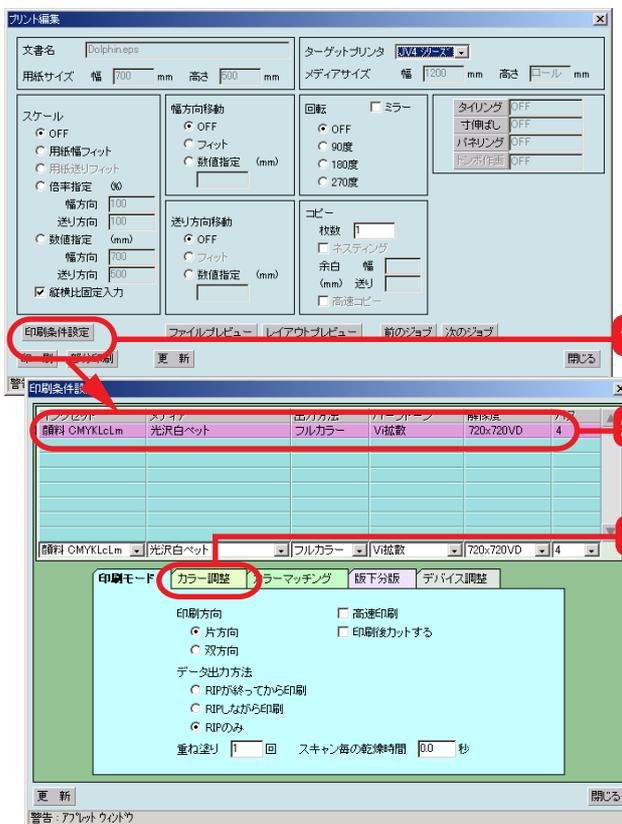
カラー調整セットは、プロファイル毎に作成します。
 しかし、カラー調整セットは、パス数別に作成する必要はありません。パス数が異なっても他の印刷条件（インクセット、メディア、出力方法、ハーフトーン、解像度）が同じならば、同じカラー調整セットが使用できます。

1



カラー調整セットを適用したい印刷ファイルをダブルクリックします。
 “プリント編集”ウィンドウが開きます。

2



印刷条件設定 ボタンをクリックします。
 “印刷条件設定”ウィンドウが開きます。

カラー調整セットを作成するプロファイルをクリックします。
 [カラー調整]メニューをクリックします。

3



1. 入力

2. クリック

カラー調整セット名を入力します。
 カラー調整セット名は、カラー調整したいプロファイルが解るような名称を付けてください。入力できる文字数は、半角文字で31文字までです。スペースは、使用しないでください。
 (例 . PigLcLmPET720vd)

登録 ボタンをクリックします。
 すでに同じ名前のカラー調整セットがある場合は、上書きします。



新規にカラー調整セットを作成する場合は、“標準”を選択します。その後、セット名を入力して **登録** ボタンをクリックします。

登録済みのカラー調整セットを編集して別名で登録する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に **登録** ボタンをクリックします。

4



1. クリック

2. クリック

登録したカラー調整セットをクリックします。

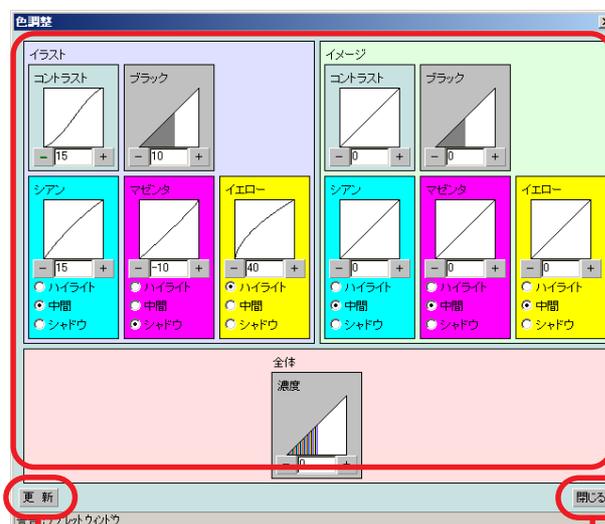
このとき、インクカーブボタン  がアクティブになります。詳細は、「より詳細にカラー調整するには」(P.55) をご覧ください。

編集 ボタンをクリックします。



削除 ボタンをクリックすると、選択したカラー調整セットを削除できます。

5



1. 設定

2. クリック

3. クリック

各種調整を行います。

更新 ボタンをクリックします。
 パラメータを保存します。

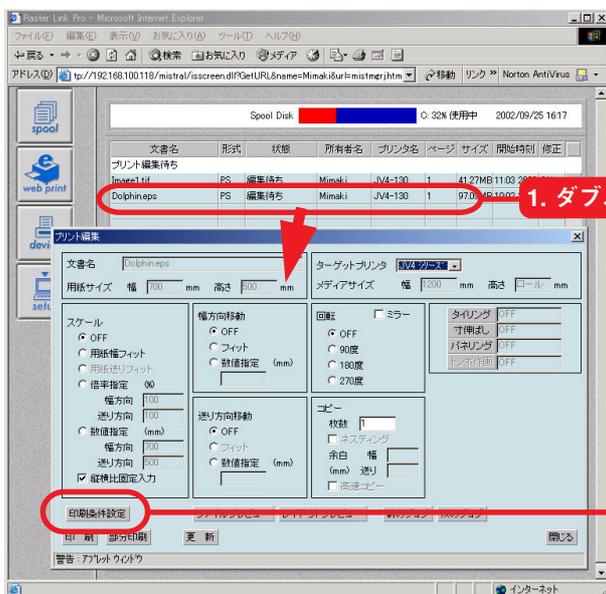
閉じる ボタンをクリックします。

カラー調整セットを使用して印刷する

登録したカラー調整セットを使用して印刷します。

注意 ● カラー調整セットは、プロファイル毎に作成します。
使用するプロファイルは、カラー調整セットを作成した時のプロファイルを選択してください。

1



Spool 画面で印刷したいファイルをクリックします。

“プリント編集” ウィンドウが開きます。

印刷条件設定 ボタンをクリックします。

“印刷条件設定” ウィンドウが開きます。

2



使用するプロファイルを選択します。

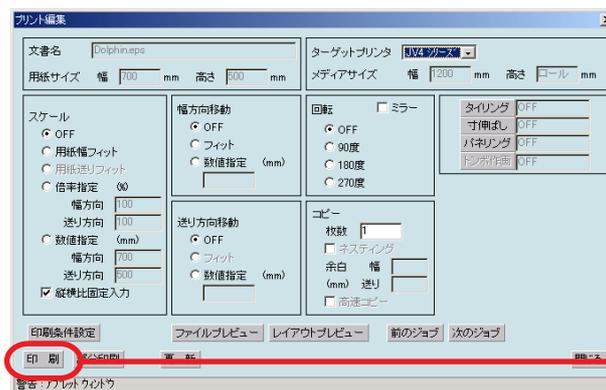
[カラー調整]メニューをクリックします。

選択したプロファイルで作成したカラー調整セットをクリックします。

更新 ボタンをクリックします。

閉じる ボタンをクリックします。

3



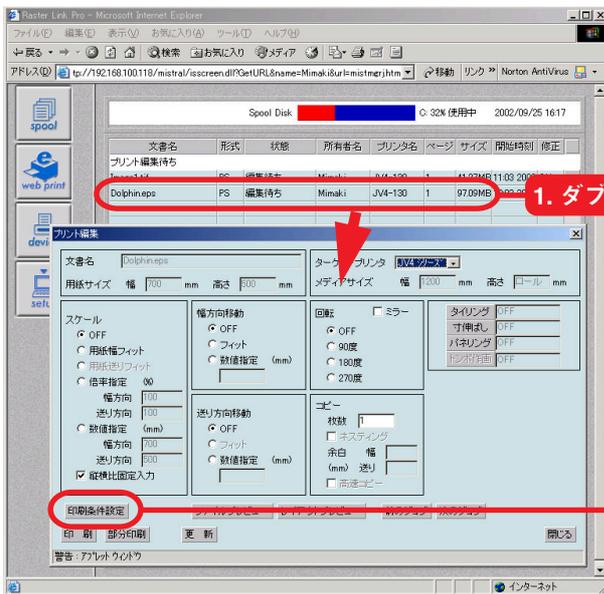
印刷 ボタンを押します。

選択したカラー調整セットを使用し、印刷を開始します。

印刷中にカラー調整を行うには

印刷しながら、登録してあるカラー調整セットを再調整することができます。
再調整したカラー調整値は、すでに登録してあるカラー調整セットに上書きができます。また、別名で登録することもできます。

1



カラー調整セットを適用したい印刷ファイルをダブルクリックします。
“プリント編集”ウィンドウが開きます。

印刷条件設定 ボタンをクリックします。

“印刷条件設定”ウィンドウが開きます。

1. ダブルクリック

2. クリック

2



使用するプロファイルを選択します。

“RIPしながら印刷”をクリックします。

“印刷しながらカラー調整”項目がアクティブになります。

1. クリック

2. クリック

3



選択したプロファイルで作成したカラー調整セット名をクリックします。
カラー調整セットは、“標準”を選択しても印刷しながらカラー調整ができます。

“印刷しながらカラー調整”をクリックします。

カラー調整を適用したい画像タイプを選択します。

1. クリック

2. クリック

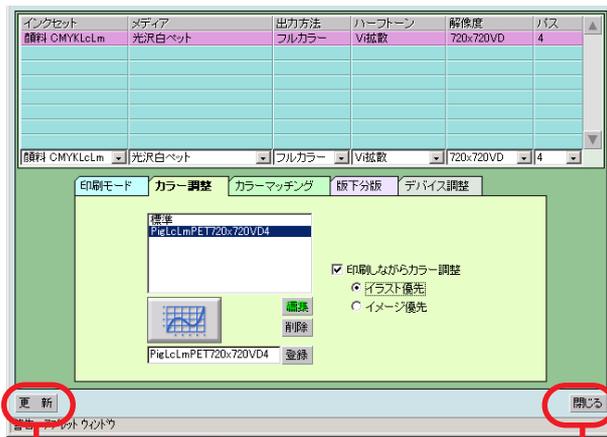
3. 選択



注意

印刷しながらのカラー調整では、どちらかの画像タイプのカラー調整が画像全体に適用されます。

4



更新

4. クリック

閉じる

5. クリック

更新 ボタンを押します。

閉じる ボタンを押します。

5



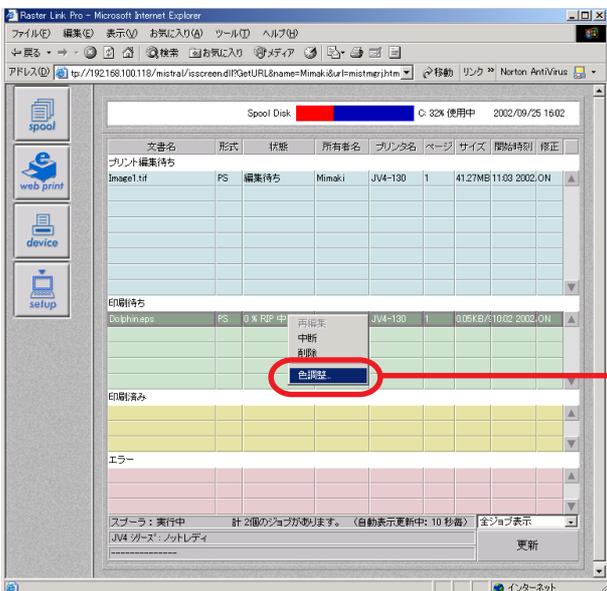
印刷

1. クリック

印刷 ボタンを押します。

印刷を開始します。

6



色調整

1. 右クリック

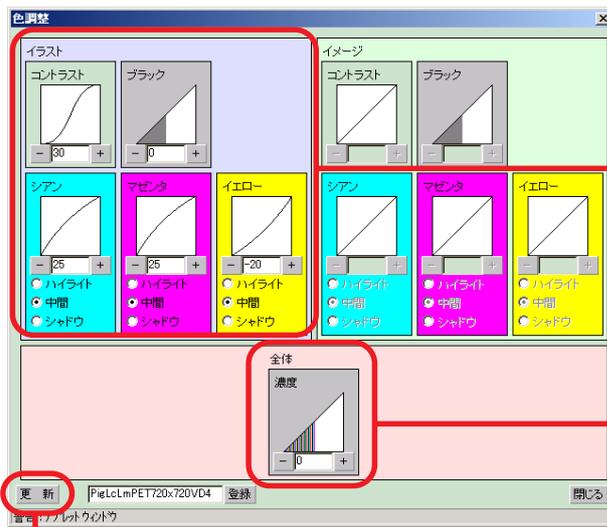
印刷中のファイルを選択し、右クリックします。

サブメニューから“色調整...”を選択します。

または、印刷ファイルをダブルクリックします。

“色調整”ウィンドウが開きます。

6



3. クリック

手順3) で選択した画像タイプの調整を行います。



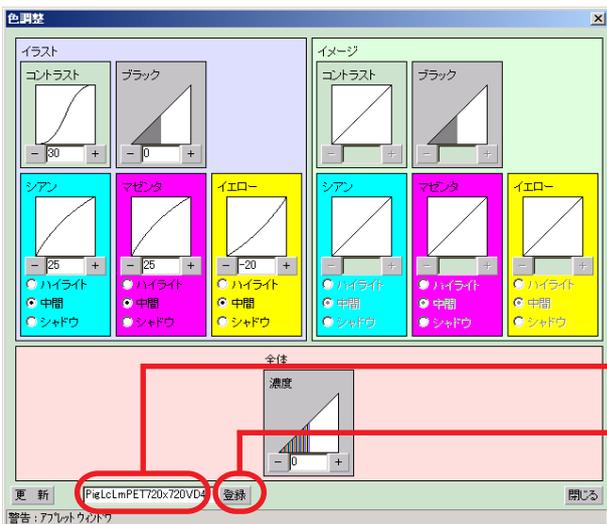
1. 調整 注意

ここで調整した内容は、画像全体に適用されます。
左図のようにイラストのカラー調整だけを行った場合でも、イメージにも同様に適用されます。

更新 ボタンを押すと、再調整した値が印刷に反映します。

手順6) を何度か繰り返し、適切なカラー調整を行います。

7



1. 入力

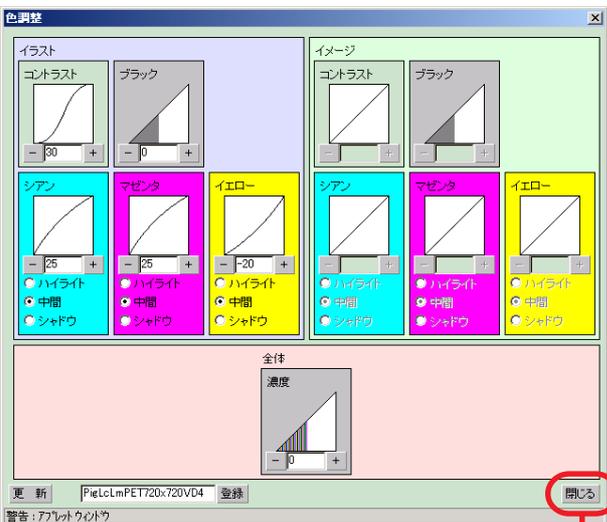
2. クリック

登録 ボタンをクリックします。
調整値を上書きします。



新規にカラー調整セットを登録する場合は、カラー調整セット名を入力します。

8



1. クリック

閉じる ボタンをクリックします。

より詳細にカラー調整するには

カラー調整セットを使用しても思い通りにカラーを調整できない場合は、各インクのインクカーブを調整します。

インクカーブは、カラー調整セットに登録した各色のインク濃度を変更します。

2種類のインクカーブ調整があります。

インクリミット：全色のインクに対してインク濃度を調整します。

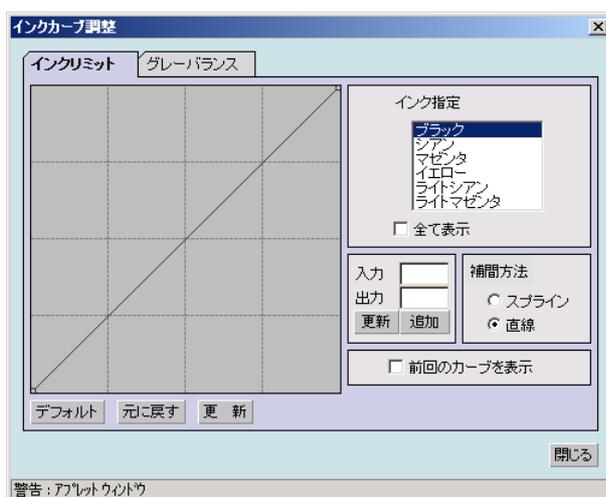
グレーバランス：ブラック、シアン、マゼンタ、そしてイエローの4色のみを使用してインク濃度を調整します。

メディア名に“v2”と付いたプロファイルを選択するとグレーバランスを調整することができます。

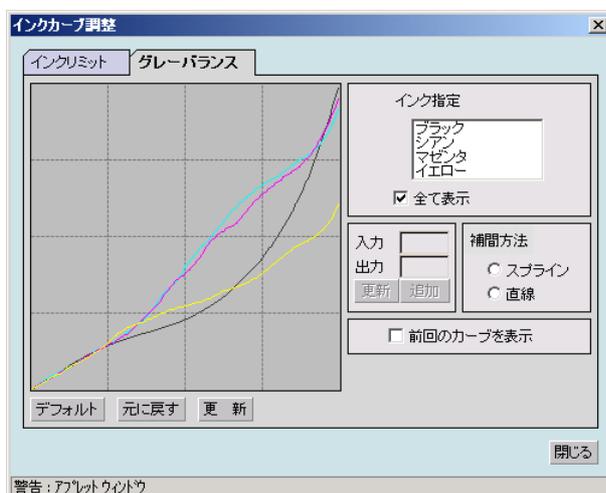


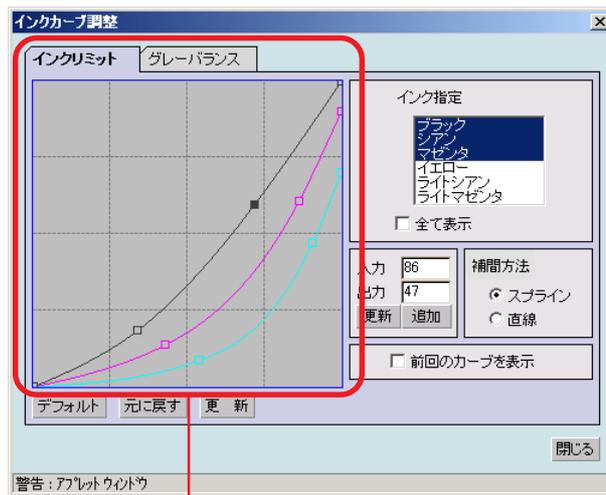
●カラー調整セットは、イメージとイラストを別々に調整します。しかし、インクカーブは、イメージとイラストの区別なく画像全体に反映します。

“インクリミット” カーブ



“グレーバランス” カーブ



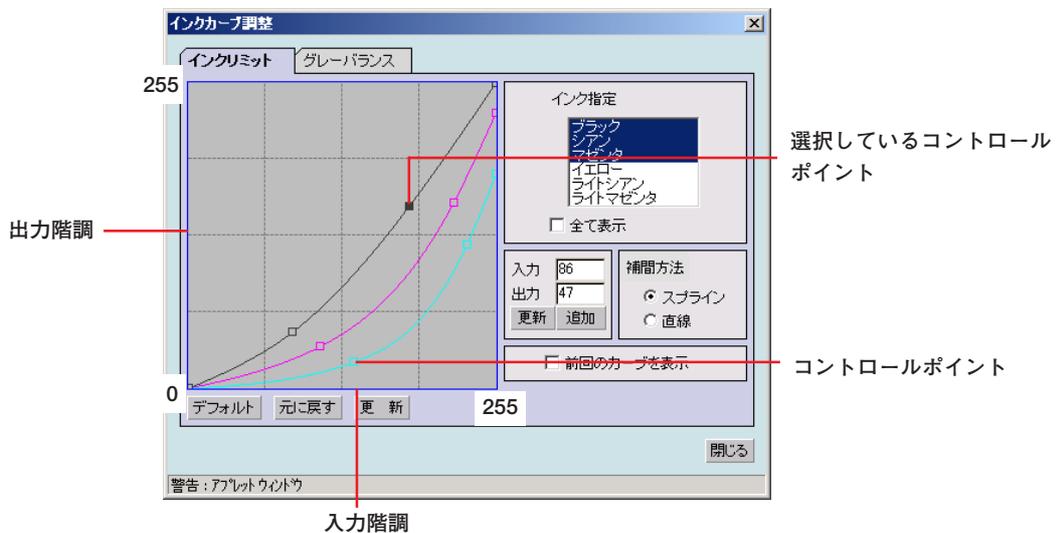


インクカーブ：

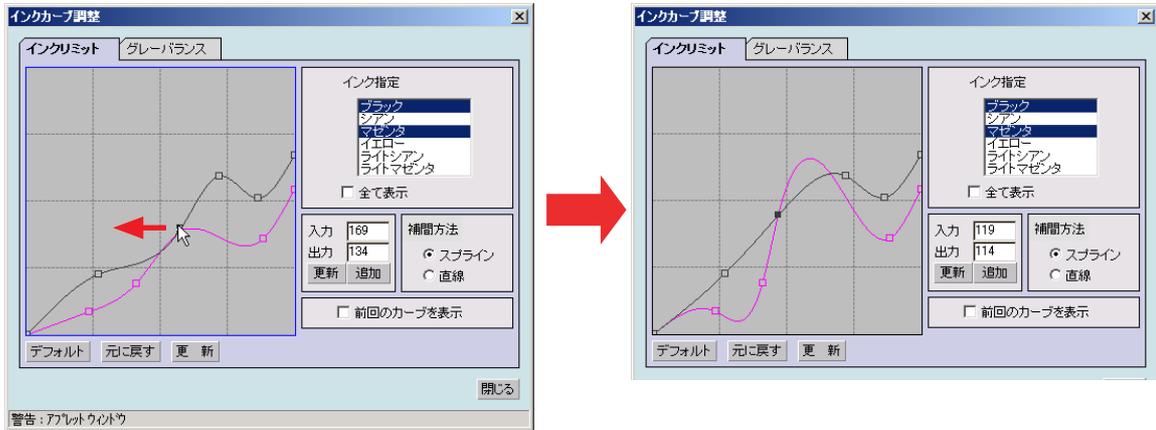
“インク指定”リストで選択したインクのインクカーブを表示します。

横軸に調整前のインク濃度（入力階調）、縦軸に調整後のインク濃度（出力階調）を示します。縦軸、横軸とも0から255の範囲を表示します。

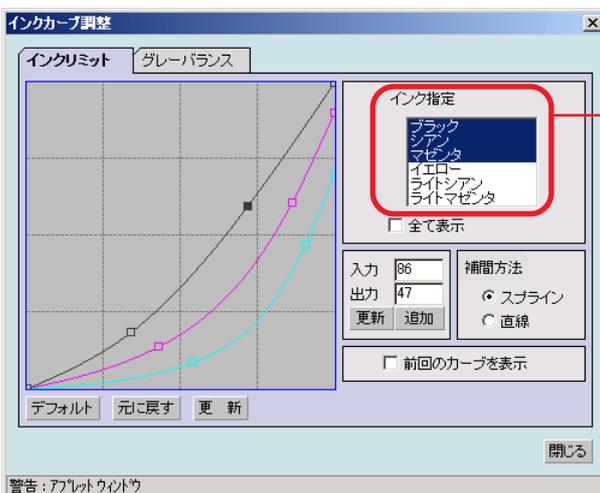
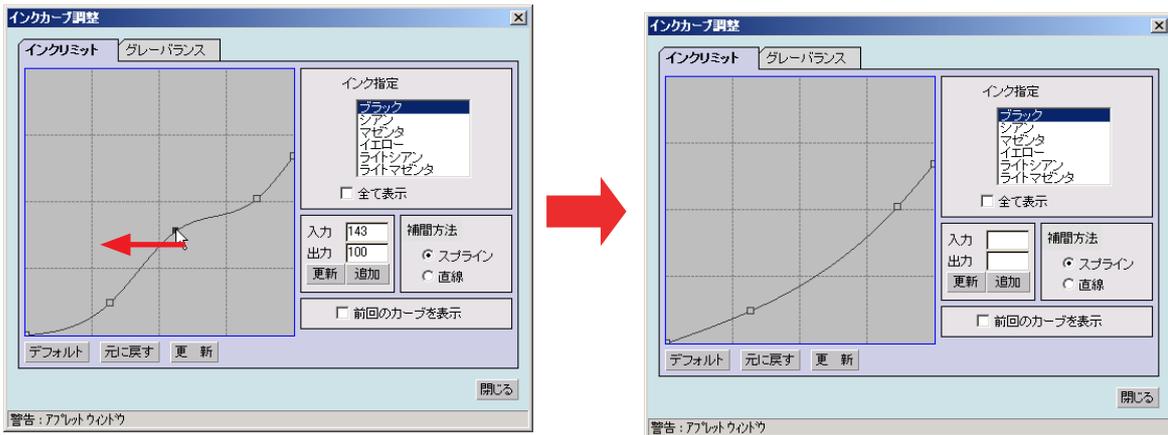
出力階調が0より下回る場合は、0に設定されます。また、255より上回る場合は、255に設定されます。インクカーブ上の調整したいポイントをクリックすると、コントロールポイントができます。最高30個まで追加できます。なお、選択しているコントロールポイントは、白抜き矩形からインクの色で塗られた矩形に変わります。



複数のインクカーブを一度に変更する場合は、各色のインクカーブが重なり合っている部分、または接近している部分をマウスでドラッグします。または、キーボードの矢印キーを押してコントロールポイントを移動します。



コントロールポイントの削除は、削除したいコントロールポイントを隣り合うコントロールポイントの外側にドラッグすると削除できます。または、キーボードの Delete キー (Back Space キー) を押します。



インク指定リスト：

印刷条件設定ウィンドウで選択したインクセットのインクを表示します。

複数のインクを選択する：

Windows 続けてクリック

Mac OS 8-9 Command キー + クリック

Mac OS X Shift キー + クリック

選択を解除する：

Windows クリック

Mac OS 8~9 Command キー + クリック

Mac OS X Command キー + クリック

全て表示：

全てのインクカーブを表示します。
調整するインクカーブを選択するには、
“インク指定” リストで変更するインク名
をクリックしてください。

補間方法：

補間方法をスプラインにするか直線にする
か選択します。

“インク指定” リストのインク名をクリッ
クすると、現在の補間方法を表示します。
複数のインクを選択し、各インクで補間方
法が異なる場合は、選択しているインク指
定リストの先頭のインクの補間方法を表示
します。

前回のカーブを表示：

変更前のインクカーブを波線で表示しま
す。

入力階調と出力階調の数値を入力してコン
トロールポイントを調整します。コント
ロールポイントを追加する場合は、数値を
入力して **追加** ボタンをクリックします。
コントロールポイントの位置を変更する場
合は、変更するコントロールポイントを選
択し、数値を入力した後に **更新** ボタンを
クリックします。

ただし、変更する入力コントロールポイント
は、隣り合うコントロールポイントを超
えて設定することはできません。

更新 ボタン：

変更したインクカーブを登録します。

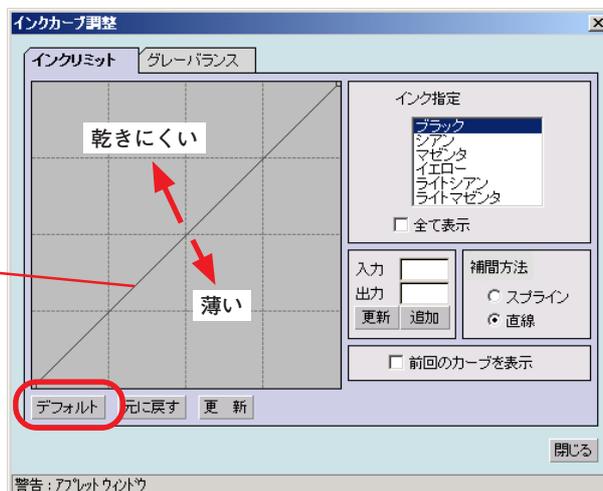
元に戻す ボタン：

“インク指定” リストで選択中のインクカーブを
更新する前のカーブに戻します。

デフォルト ボタン：

“インク指定” リストで選択しているインクのリミット値を読み込みます。
調整するインクは、“インク指定” リストで選択します。
インクリミット値より低い値を設定すると色が薄く印刷されます。
高い値を設定すると色が濃くなり、乾きにくくなります。

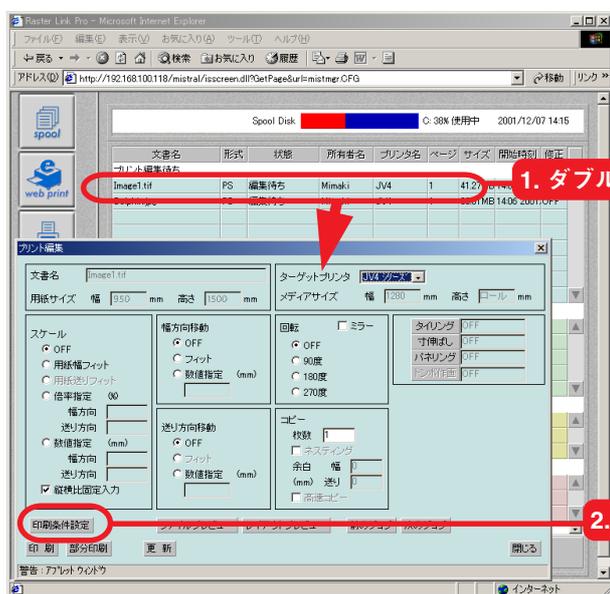
デフォルトカーブ



インクカーブを調整して印刷

インクカーブの調整は、カラー調整セットに対して行います。カラー調整セットを作成していない場合は、新たにカラー調整セットを作成してください。詳細は、「カラー調整セットを作成する」をご覧ください。(P. 49)

1



インクカーブを調整したい印刷ファイルをダブルクリックします。

“プリント編集”ウィンドウが開きます。

印刷条件設定 ボタンをクリックします。

“印刷条件設定”ウィンドウが開きます。

2

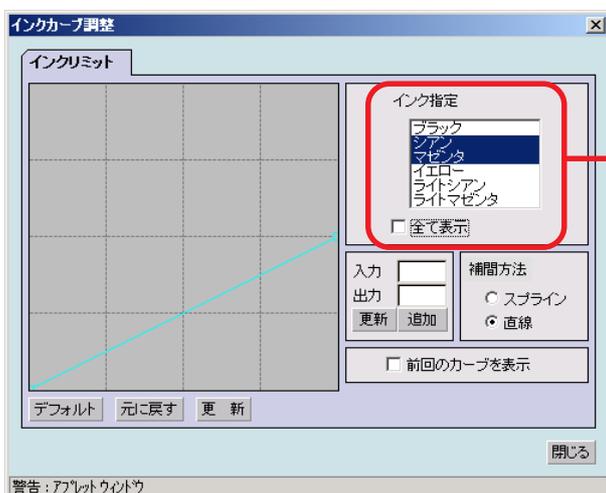


インクカーブを調整するプロファイルを選択します。

選択したプロファイルで作成したカラー調整セットをクリックします。

インクカーブボタン  をクリックします。

3



調整するインクをクリックして選択します。

複数のインクを選択：

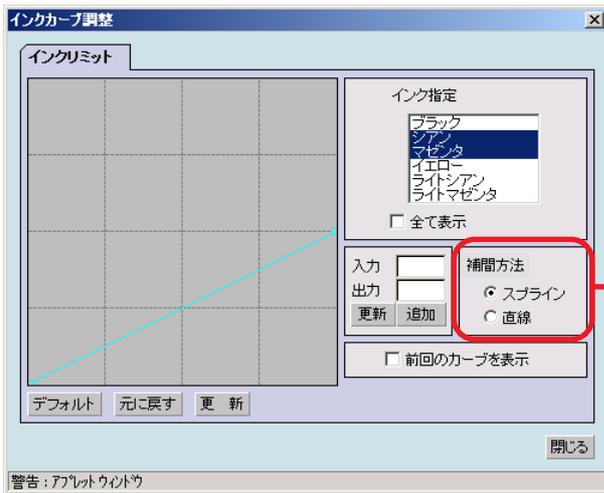
Windows 続けてクリック

Mac OS 8-9... Command キー+クリック

Mac OS X Shift キー+クリック

必要に応じて、“全て表示”を無効にしてください。

4



補間方法を選択します。

“インク指定”リストのインク名をクリックすると、現在の補間方法を表示します。

複数のインクを選択し、各インクで補間方法が異なる場合は、選択されているインクリストの先頭のインクの補間方法を表示します。左図の場合は、シアンの補間方法を表示しています。

5



インクカーブを調整します。

調整方法は、「より詳細にカラー調整するには」をご覧ください。(P. 55)

更新 ボタンをクリックします。

インクカーブを更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

6



更新 ボタンをクリックします。

カラー調整セットを更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

7



印刷 ボタンをクリックします。

印刷を開始します。

キーボードによるインクカーブの設定

インクカーブの調整は、コントロールポイントをマウスでドラッグする他に、キーボードで調整することができます。

以下のキーを使用します。

- ・ **Z** キー：左方向へコントロールポイントを選択していきます。
- ・ **X** キー：右方向へコントロールポイントを選択していきます。
- ・ **Delete** キー / **Back Space** キー：コントロールポイントを削除します。
- ・ **←**、**→**、**↑**、**↓**：矢印方向へコントロールポイントを移動します。

複数のインクカーブが重なっている（または接近している）コントロールポイントをまとめて調整する場合、キーボードで調整すると便利です。

ここでは、複数のインクカーブを調整する方法を説明します。



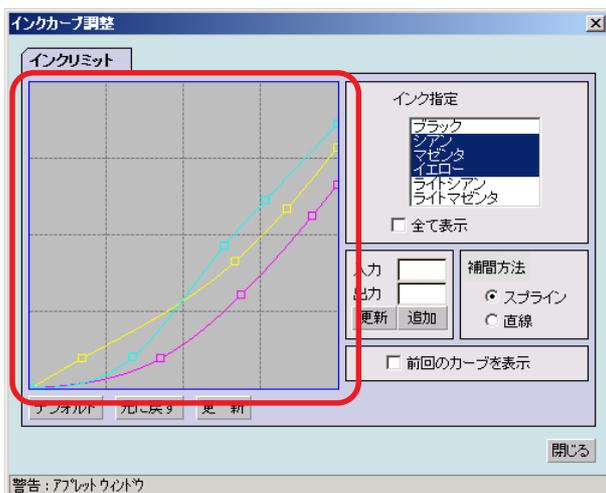
- 複数のインクカーブを同時に調整する場合、それぞれのインクカーブのコントロールポイント数が同じである必要があります。

1



“インク指定”リストで調整するインクを選択します。

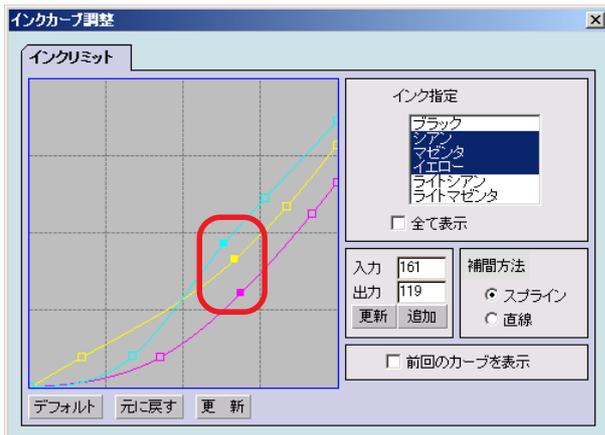
2



Tab キーを押して、インクカーブエリアを選択します。または、インクカーブエリアをマウスでクリックします。

インクカーブエリアが青い枠で囲まれているとインクカーブエリアが選択されています。

3



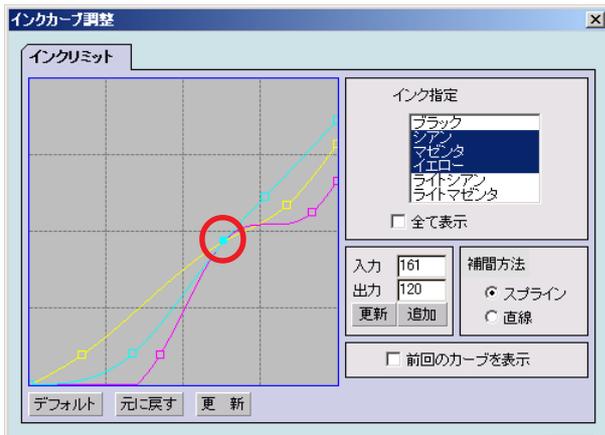
Z キーまたは **X** キーでコントロールポイントを選択します。



キーを押してもコントロールポイントが選択できない場合は、次の点を確認してください。

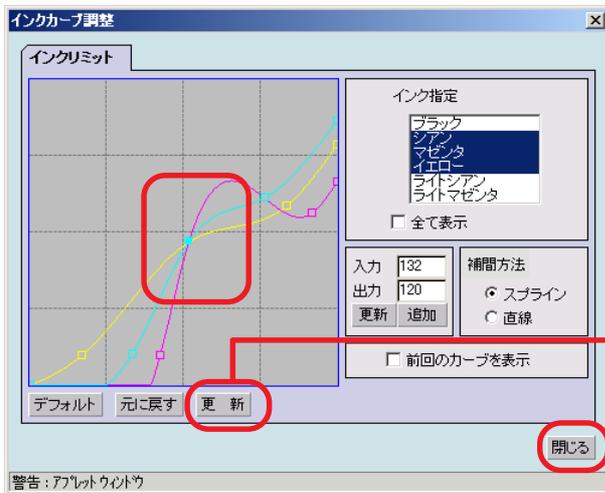
- ・ 各インクカーブのコントロールポイントの数は同じですか？
- ・ インクカーブエリアが選択されていますか？

4



いずれかの矢印キーを1回押します。
 選択しているコントロールポイントは、“インク指定”リストの一番上に表示しているインクのコントロールポイントに重なります。左図の場合、シアンのコントロールポイントに重なります。
 シアンのコントロールポイントの入力値および出力値を表示します。

5



矢印キーでコントロールポイントを調整します。

更新 ボタンをクリックします。
 インクカーブを更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

1. クリック

2. クリック

6



更新 ボタンをクリックします。
 カラー調整セットを更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

1. クリック

2. クリック

版下分版出力



● 版下分版は、使用するプリンタまたはインクセットによっては表示しません。

印刷イメージの色版（シアン、マゼンタ、イエロー、黒、特色）をブラックインクで印刷します。
分版出力の方法は、下記の2通りあります。

アプリケーションソフトが、出力するデータの形式によって選択してください。

アプリケーション分版 : アプリケーションソフトが、各色版（シアン、マゼンタ、イエロー、黒、特色）を分版して出力する場合に使用します。

RIP分版 : アプリケーションソフトから出力されたフルカラー画像を Raster Link Pro でシアン、マゼンタ、イエローおよびブラックに分版します。

RIP分版の設定は、“レイアウトプレビュー”ウィンドウでは確認できません。

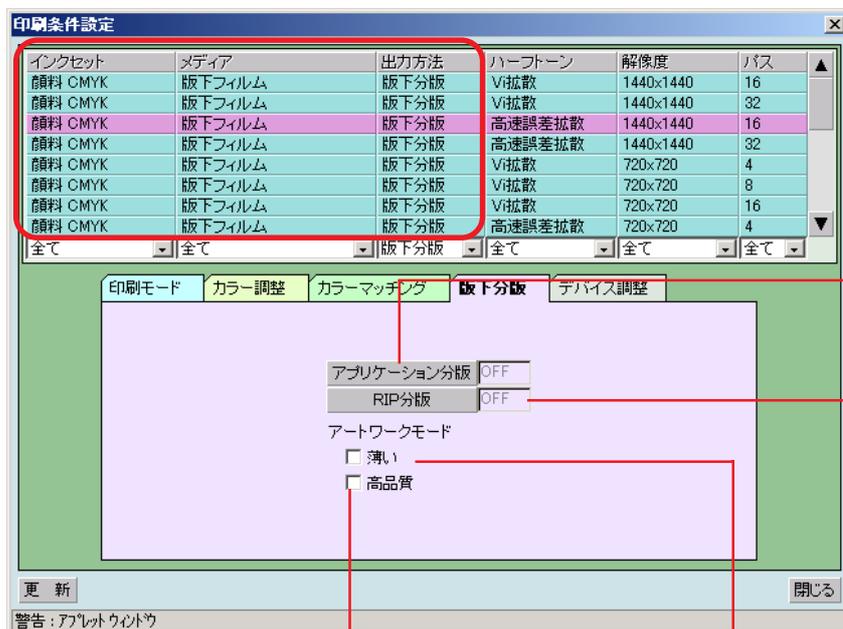
版下分版の設定項目

[版下分版] の設定項目は、下記の条件のプロファイルを選択したときアクティブになります。

インクセット：染料 CMYK または 顔料 CMYK

メディア：版下フィルム

出力方法：版下分版



アプリケーション分版を設定します。(P. 66)

RIP分版を設定します。(P. 69)

アートワークモードの作図品質を設定します。(P. 64)

プリンタ側のアートワークモードの「薄い」を有効にするか指定します。*1

*1: アートワークモードは、プリンタの設定に対応しています。アートワークの詳細は、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

アートワークモードの「高品質」設定について

版下出力の作図品質は、Raster Link Pro の「高品質」設定とプリンタ側のアートワークモードの作図品質との組み合わせで決まります。



注意

- プリンタ側で設定する優先順位機能は、「ホスト」に設定してください。
- Raster Link Proの印刷条件で設定したパス数は無効になります。印刷時のパス数は、下記に示す表をご覧ください。

プリンタ側のアートワークモード、および優先順位機能の設定は、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

プリンタ側の設定							
	OFF	STANDARD1	STANDARD2	STANDARD3	QUALITY1	QUALITY2	QUALITY3
Raster Link Pro側の設定							
<input type="checkbox"/> 薄い <input type="checkbox"/> 高品質	STANDARD1	STANDARD1	STANDARD2	STANDARD3	STANDARD1	STANDARD1	STANDARD1
<input type="checkbox"/> 薄い <input checked="" type="checkbox"/> 高品質	QUALITY1	QUALITY1	QUALITY1	QUALITY1	QUALITY1	QUALITY2	QUALITY3

作図品質別の作図方式について

作図方式は、データ解像度と作図品質の組み合わせで決まります。

データ解像度 (dpi)	作図品質	作図方式	
		パス数	印刷解像度 (dpi)
720x720	STANDARD1	4pass	1440 x 720 * 1
	STANDARD2	4pass	720x720
	STANDARD3	4pass	720x720
	QUALITY1	8pass	1440 x 720* 1
	QUALITY2	8pass	720x720
	QUALITY3	8pass	720x720
1440x1440	STANDARD1	16pass	1440x1440
	STANDARD2	16pass	1440x1440
	STANDARD3	16pass	1440x1440
	QUALITY1	32pass	1440x1440
	QUALITY2	32pass	1440x1440
	QUALITY3	32pass	1440x1440

*1: プリンタ側で自動的に1440 x 720 dpi に拡張して印刷します。

“アプリケーション分版設定” ウィンドウ

アプリケーション分版 ボタンをクリックすると“アプリケーション分版設定”ウィンドウが開きます。

“アプリケーション分版設定”ウィンドウについて説明します。

チェックを付けると、アプリケーション分版が有効になります。

画像の露出を反転します。ネガ出力された画像は、ポジで印刷します。ポジ出力された画像は、ネガで印刷します。

登録したインクカーブリストを表示します。
“標準”を設定すると印刷にインクカーブは適用しません。

全部の版を印刷します。

登録したインクカーブを削除します。

インクカーブを登録します。

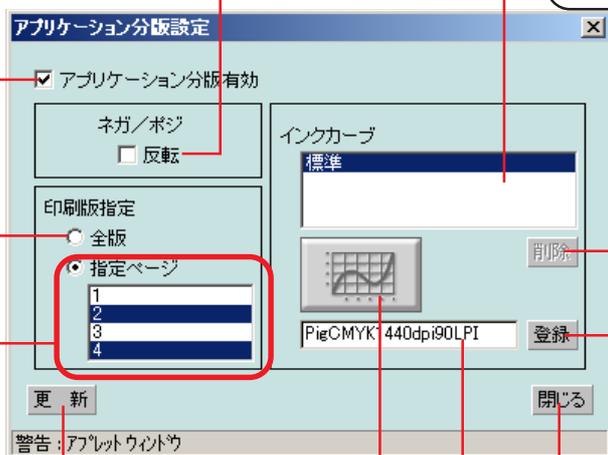
このウィンドウで設定した値を保存します。

“アプリケーション分版”設定ウィンドウを閉じます。

アプリケーションから出力されてくる色版の順番をページ番号で指定します。印刷したい版のページをクリックして選択します。印刷する版の順番を示すものではありません。

インクカーブの登録名を入力します。解像度と線数がわかるような名称を付けてください。半角文字で31文字まで入力できます。スペースは、使用しないでください。

使用するブラックインクのインクカーブを調整します。詳細は、「より詳細にカラー調整をするには」をご覧ください。(P. 55)



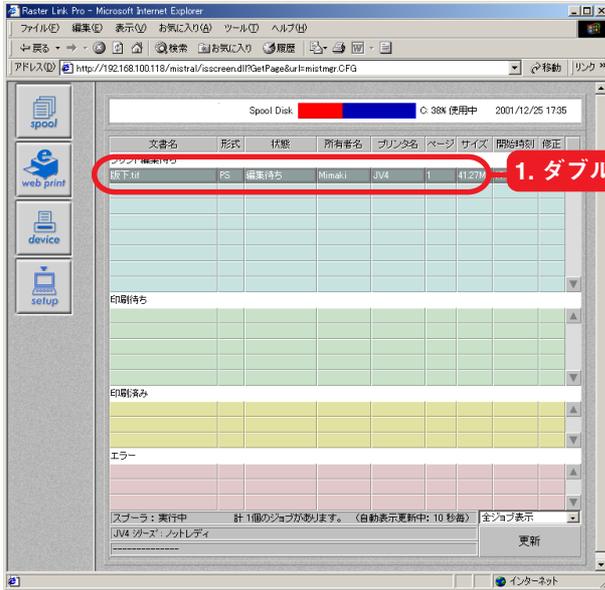
アプリケーション分版

アプリケーション分版では、黒インクで版を印刷します。

1

版下データをRaster Link Pro に送信します。

2



“プリント編集待ち”リストの版下データをダブルクリックします。

版下データのプリント編集ウィンドウが開きます。

3



印刷条件設定 ボタンをクリックします。

4



下記の条件のプロファイルを選択します。

インクセット： 染料 CMYK または 顔料 CMYK

メディア： 版下フィルム

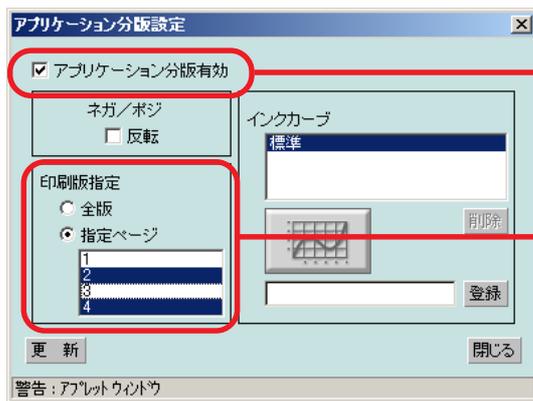
出力方法： 版下分版

版下分版の設定項目がアクティブになります。

[版下分版]をクリックします。

アプリケーション分版 ボタンをクリックします。

5



1. クリック

“アプリケーション分版有効”にチェックを付けて有効にします。

印刷する版を指定します。

選択する：

Windows クリック

Mac OS 8-9... Commandキー+クリック

Mac OS X Shift キー+クリック

2. 設定

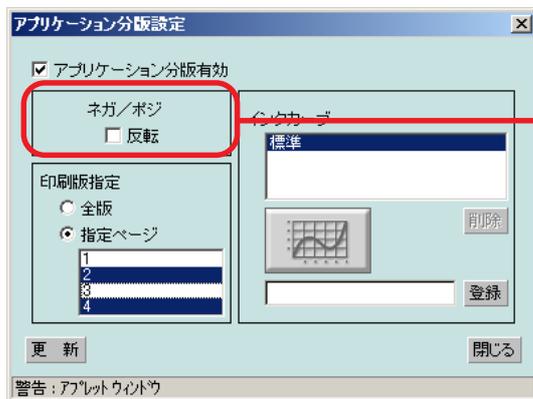
選択を解除する：

Windows クリック

Mac OS 8-9... Commandキー+クリック

Mac OS X Commandキー+クリック

6



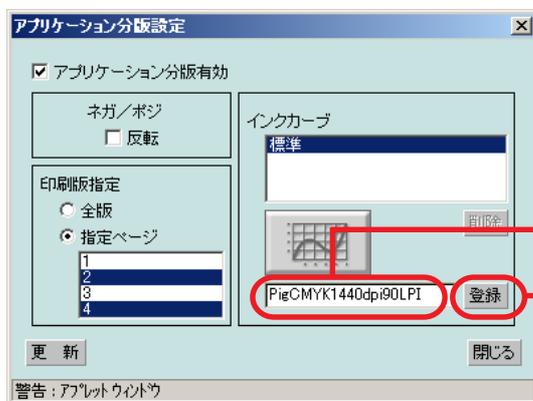
1. クリック

必要に応じて“ネガ/ポジ”の反転を設定します。

インクの濃度を調整する場合は、手順7)にお進みください。

アプリケーション分版の設定を終了する場合は、手順10)にお進みください。

7



1. 入力

2. クリック

インクカーブ名を入力します。

名称は、解像度および線数がわかるように付けると便利です。

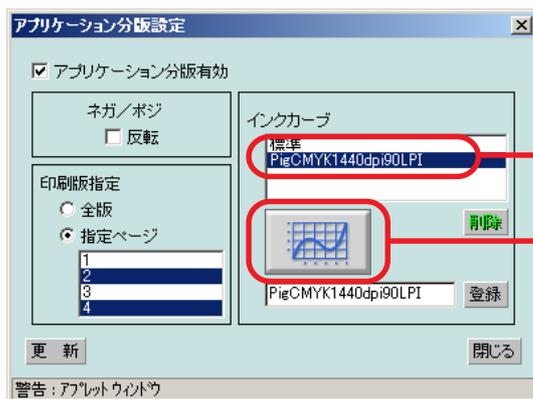
入力できる文字数は、半角文字で31文字です。スペースは、使用しないでください。

インクカーブは、アプリケーション分版とRIP分版共通です。

登録 ボタンをクリックします。

入力したインクカーブ名が、“インクカーブ”リストに表示されます。

8



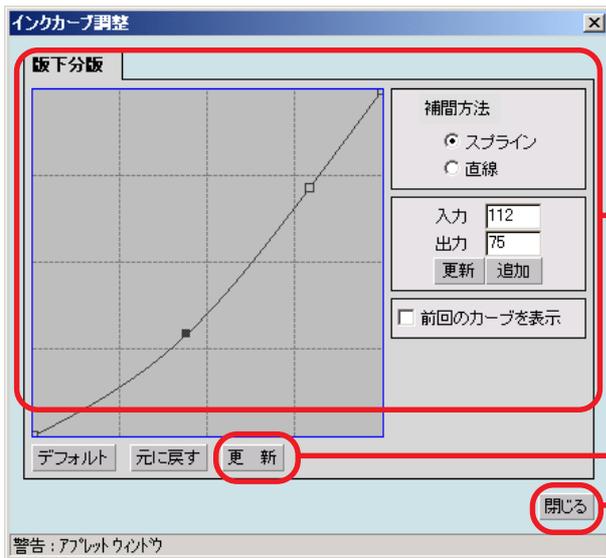
1. クリック

2. クリック

インクカーブ名をクリックします。

インクカーブボタン  をクリックします。

9

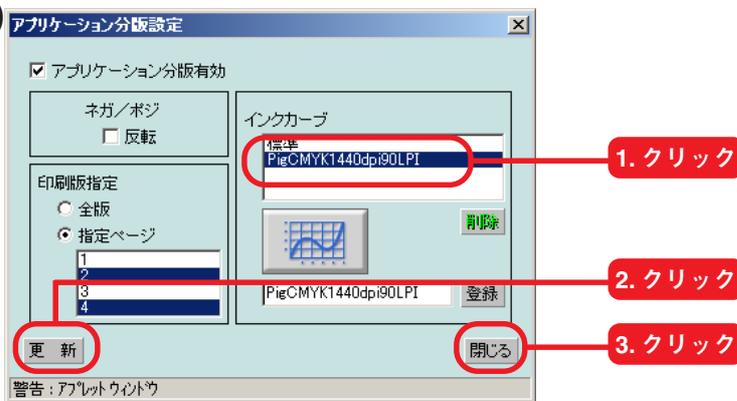


黒インクのインクカーブを調整します。
 インクカーブの調整方法は、「より詳細にカラー調整をするには」をご覧ください。(P.55)

更新 ボタンをクリックします。
 インクカーブを更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

10



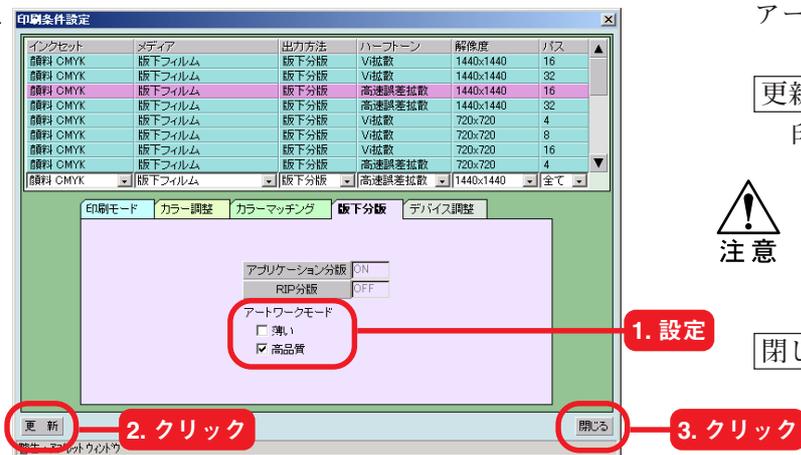
使用するインクカーブをクリックします。

インクカーブを使用しない場合は、“標準”を選択します。

更新 ボタンをクリックします。
 アプリケーション分版の設定を更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

11



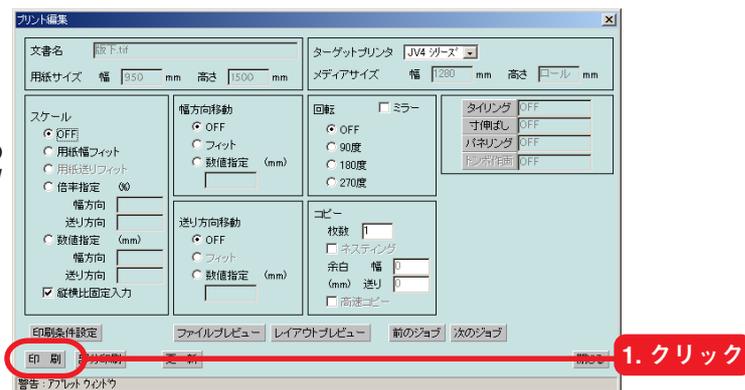
アートワークモードを設定します。

更新 ボタンをクリックします。
 印刷条件設定を更新します。

注意 アートワークモードを設定しない場合も **更新** ボタンをクリックします。

閉じる ボタンをクリックします。

12



印刷 ボタンをクリックします。
 印刷を開始します。

“RIP 分版設定” ウィンドウ

RIP 分版 ボタンをクリックすると“RIP 分版設定”ウィンドウが開きます。
“RIP 分版設定”ウィンドウについて説明します。

画像の露出を反転します。ネガ出力された画像は、ポジで印刷します。ポジ出力された画像は、ネガで印刷します。

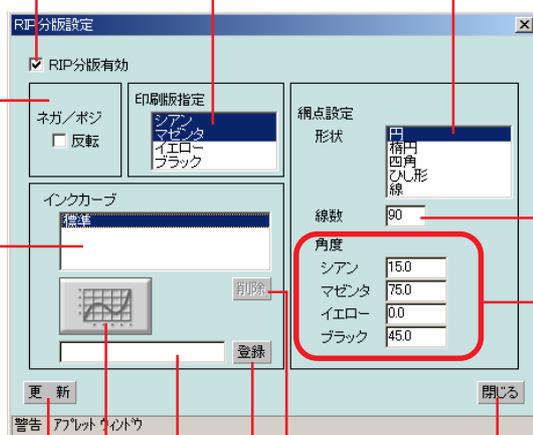
印刷する版の色を選択します。シアン、マゼンタ、イエロー、そしてブラックの4色全てを選択することができます。

チェックを付けると、RIP 分版が有効になります。

網点の形状を選択します。

登録したインクカーブリストを表示します。“標準”を設定すると印刷にインクカーブは適用しません。

線数を入力します。
入力値は、16～90 line/inch です。線数は、使用するメディアやプリンタによって異なります。1440dpi で印刷する場合は、90 line/inch を入力します。



各色版の角度を入力します。入力値は、0～360° です。

このウィンドウで設定した値を保存します。

“RIP 分版設定”ウィンドウを閉じます。

インクカーブを調整します。詳細は、「より詳細にカラー調整をするには」をご覧ください。(P. 55)

登録したインクカーブを削除します。

インクカーブを登録します。

インクカーブの登録名を入力します。
解像度、および線数がわかるような名称を付けてください。半角文字で31文字まで入力できます。スペースは、使用しないでください。

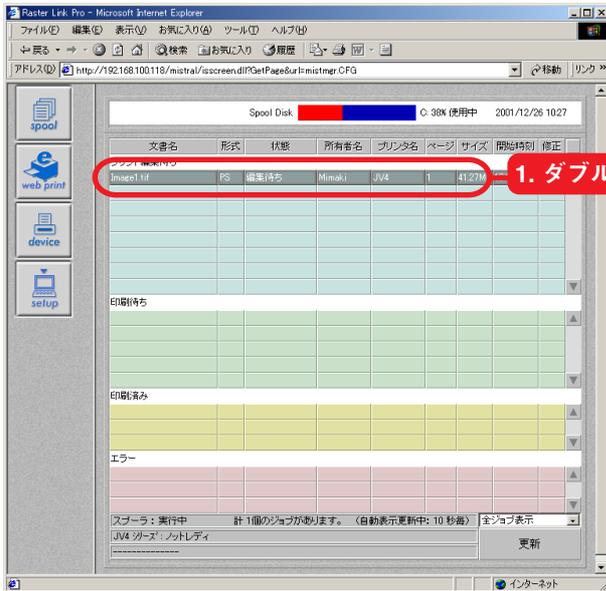
RIP分版

アプリケーションソフトから出力されたフルカラー画像を Raster Link Pro でシアン、マゼンタ、イエローおよびブラックに分版し、黒インクで版を印刷します。

1

カラー画像データを Raster Link Pro に送信します。

2



“プリント編集待ち”リストの印刷データをダブルクリックします。
データの“プリント編集”ウィンドウが開きます。

3



印刷条件設定 ボタンをクリックします。

4



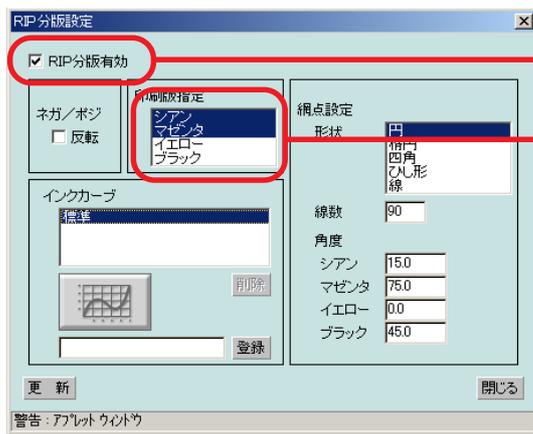
下記の条件のプロファイルを選択します。

- インクセット： 染料 CMYK または 顔料 CMYK
- メディア： 版下フィルム
- 出力方法： 版下分版
- 版下分版の設定項目がアクティブになります。

[版下分版]をクリックします。

[RIP分版] ボタンをクリックします。

5



1. クリック

“RIP分版有効”にチェックを付けて有効にします。

2. 選択

印刷する版を選択します。

選択する：

Windows クリック

Mac OS 8-9... Commandキー+クリック

Mac OS X Shift キー+クリック

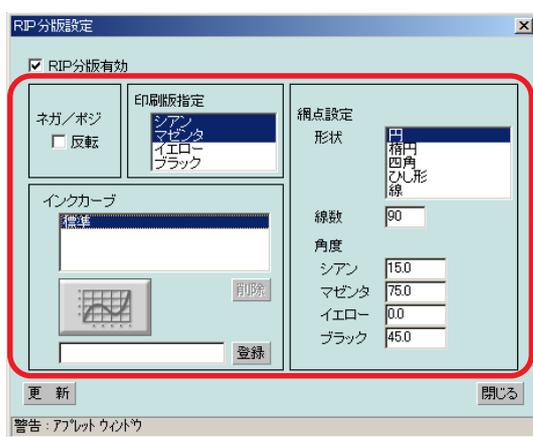
選択を解除する：

Windows クリック

Mac OS 8-9... Commandキー+クリック

Mac OS X Commandキー+クリック

6



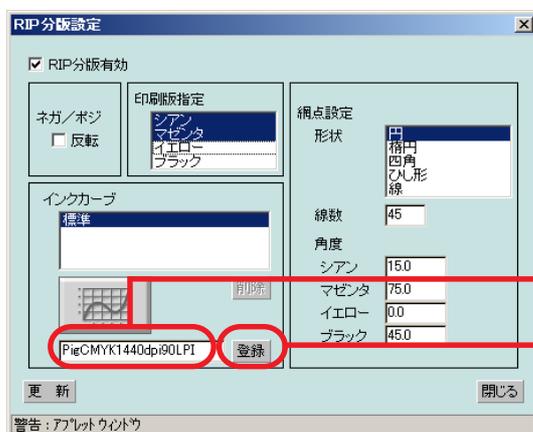
1. 設定

必要項目を設定します。

インクカーブを調整する場合は、手順7)にお進みください。

RIP分版の設定を終了する場合は、手順10)にお進みください。

7



1. 入力

インクカーブ名を入力します。

名称は、解像度および線数がわかるように付けると便利です。

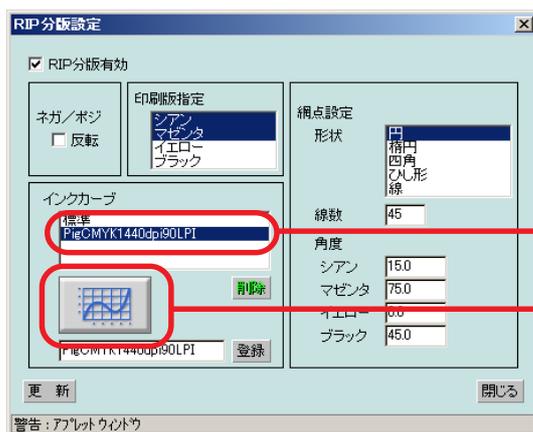
入力できる文字数は、半角文字で31文字です。

2. クリック

登録 ボタンをクリックします。

入力したインクカーブ名が、“インクカーブ”リストに表示されます。

8



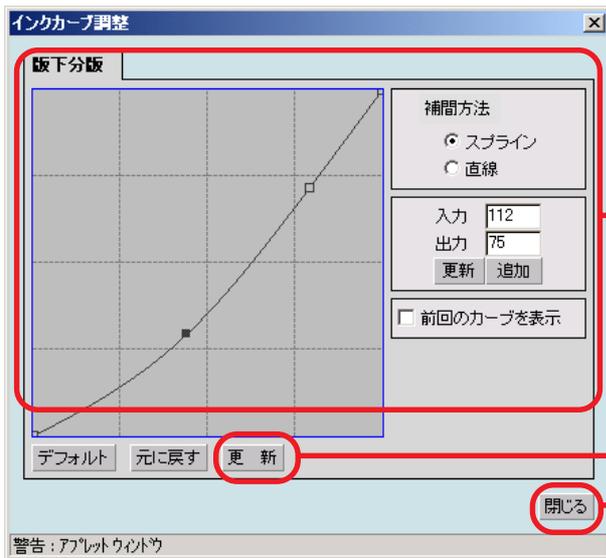
1. クリック

インクカーブ名をクリックします。

インクカーブボタン  をクリックします。

2. クリック

9



黒インクのインクカーブを調整します。
 インクカーブの調整方法は、「より詳細にカラー調整をするには」をご覧ください。(P.55)

1. 調整

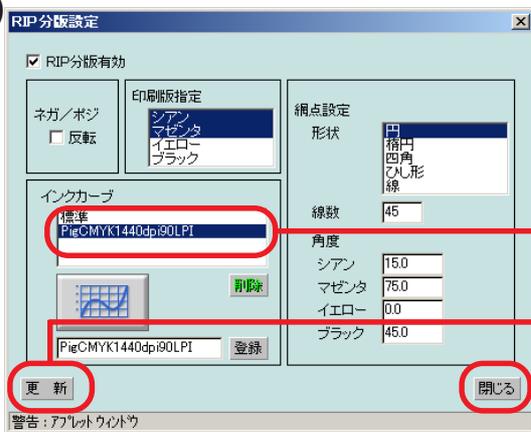
更新 ボタンをクリックします。
 インクカーブを更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

2. クリック

3. クリック

10



使用するインクカーブをクリックします。

インクカーブを使用しない場合は、「標準」を選択します。

1. クリック

更新 ボタンをクリックします。
 RIP分版の設定を更新します。

2. クリック

閉じる ボタンをクリックします。

3. クリック

11



アートワークモードを設定します。

更新 ボタンをクリックします。
 印刷条件設定を更新します。



注意 アートワークモードを設定しない場合も **更新** ボタンをクリックします。

1. 設定

閉じる ボタンをクリックします。

2. クリック

3. クリック

12



印刷 ボタンをクリックします。
 印刷を開始します。

1. クリック

“ジョブ情報” ウィンドウ

“ジョブ情報” ウィンドウは、“印刷済み” ジョブリストにあるファイルをダブルクリックすることにより表示することができます。

ジョブ情報

[結果]メニュー

印刷ファイルにRIP済みのデータがある場合、余白やコピー枚数、そして[デバイス調整]メニューで設定した条件で再印刷をすることができます。

RIP済みデータは、ハードディスクの空き容量に応じて、古い印刷ファイルのRIP済みデータから削除されます。

タイリング印刷したファイルの場合は、

RIP済みデータ再印刷 ボタンが、**タイリング再印刷** ボタンに変わります。

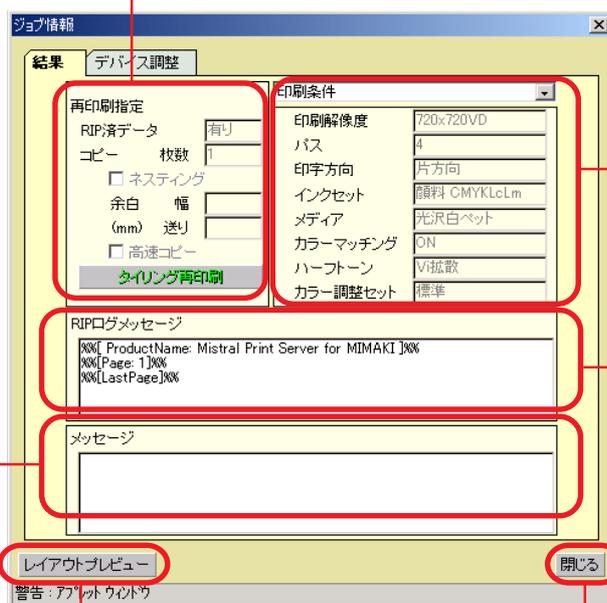
印刷条件、オリジナルデータ、そして印刷結果について表示します。

エラー情報を表示します。

PostScript データに関する情報を表示します。

メディアに印刷したときのレイアウトをプレビューします。

ジョブ情報ウィンドウを閉じます。



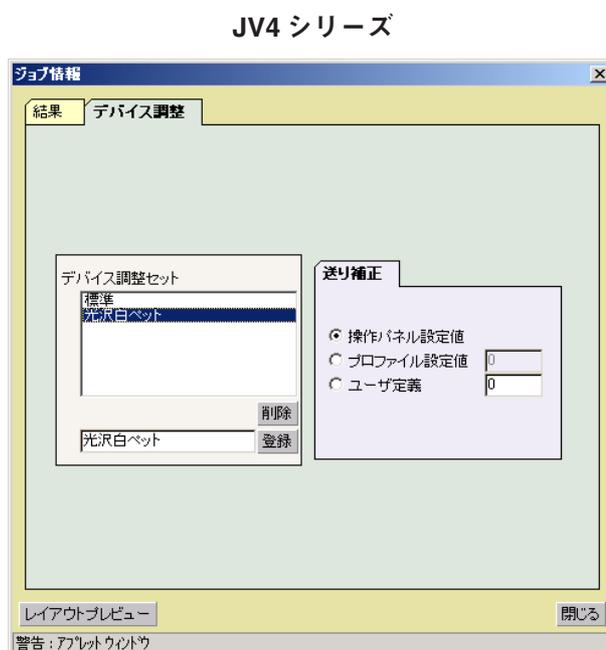
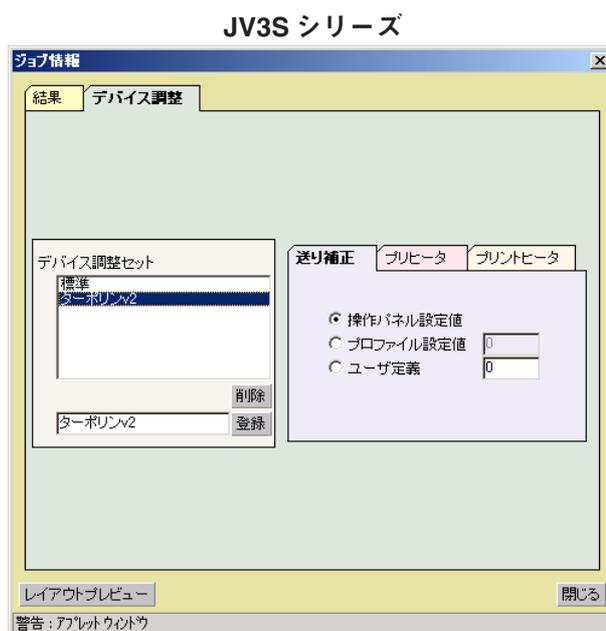
[デバイス調整]メニュー

一度印刷してRIP済みデータが残っている場合は、プリンタ特有の調整機能を変更して再印刷することができます。

例えば、JV4シリーズならメディアの送り補正を変更して再印刷ができ、JV3Sシリーズではメディアの送り補正の他にプリヒーターとプリントヒーターの温度を変えて再印刷することができます。

設定できる項目は、接続しているプリンタによって異なります。

調整値を変更して作図する場合は、デバイス調整セットとして登録してから[結果]メニューの[RIP済みデータ再印刷]ボタンを押す必要があります。



印刷したデータの再印刷

一度印刷したデータを再度印刷することができます。

再印刷できるデータは、RIP 済みのデータがある場合に限りです。

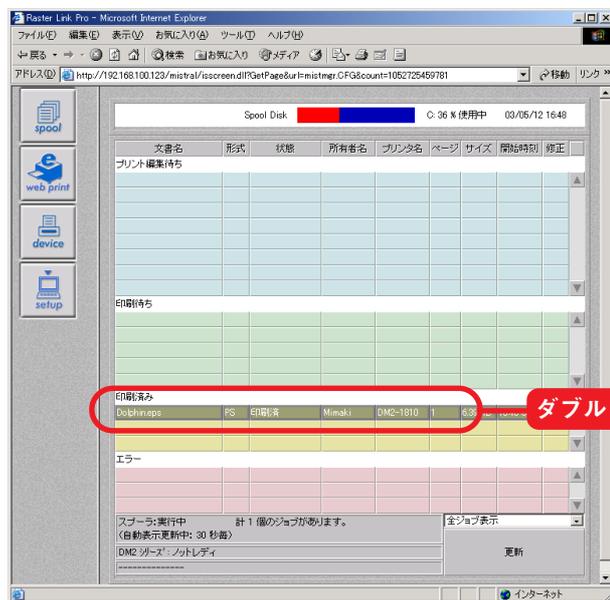
次の場合は、RIP 済みのデータが作成されません。よって、再印刷はできません。

- データ出力方法を“RIP しながら印刷”に設定した場合
- RIP 中に中断、またはエラーが発生し RIP を中断した場合



再印刷では、印刷条件等は変更できません。

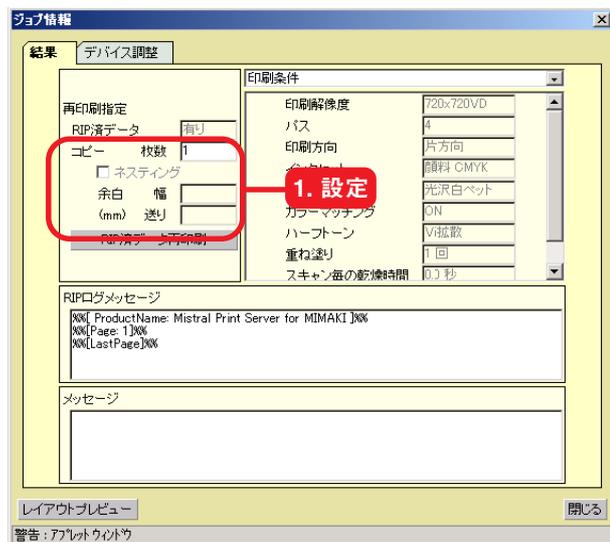
1



“印刷済み”ジョブリストにあるファイルをダブルクリックします。

“ジョブ情報”ウィンドウが開きます。

2

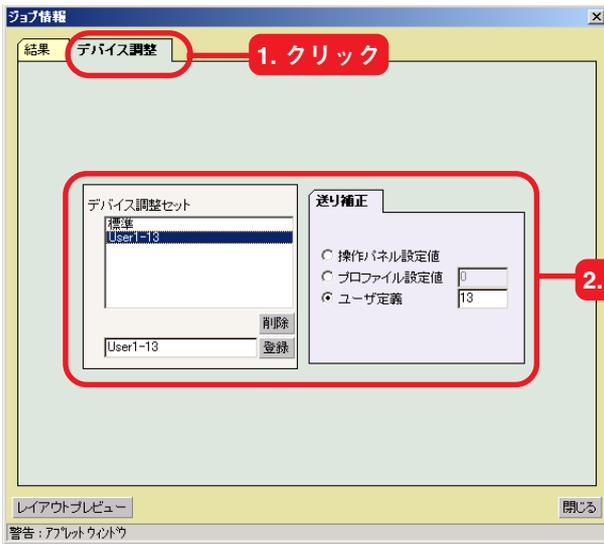


必要に応じてコピー枚数、ネスティング、余白を設定します。

コピー枚数を”2”以上に設定した場合、ネスティングが設定できます。

また、ネスティングを有効にすると、画像と画像の間の余白を設定することができます。

3



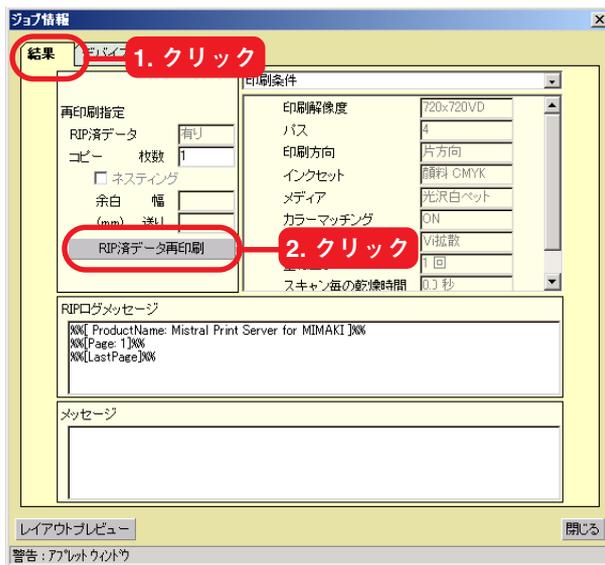
必要に応じて[デバイス調整]メニューを設定します。



注意

[デバイス調整]メニューで値を変更した場合は、必ずデバイス調整セットに新規に登録するか上書き保存してください。デバイス調整セットに登録しないで再印刷した場合、値は有効になりません。

4



[結果]メニューをクリックします。

RIPデータ再印刷 ボタンをクリックします。

印刷を開始します。

device 機能について

device 機能では、プリンタにセットしてあるインク残量の表示、メディアのサイズ、印刷条件の初期値等を設定します。

device 機能は、接続してあるプリンタによって表示内容が異なります。

JV2 シリーズ device 画面



注意

- メディアサイズの指定は、印刷条件毎には設定できません。
- デフォルト印刷条件設定では、アプリケーション分版の印刷版を指定できません。

Raster Link Pro は、JV2 シリーズにセットしたメディア幅を読み込むことはできません。
よって、メディアサイズの自動検出は選択できません。

プリンタドライバのプロパティで設定する
“詳細オプション”の印刷条件番号に対応
しています。

JV2 シリーズにセットするメ
ディアの幅を入力します。

印刷条件の初期値を設定します。
“印刷条件設定” ウィンドウでの設定方法と同じで
す。設定手順は、各機能をご覧ください。

印刷ファイルの終端に印刷する印刷条件情報
を設定します。(P. 86)

JV22 シリーズ device 画面



注意

- メディアサイズの指定は、印刷条件毎には設定できません。
- デフォルト印刷条件設定では、アプリケーション分版の印刷版を指定できません。

Raster Link Pro は IEEE1394 インターフェイスで接続すると、メディア幅やインク状態を正しく表示することができます。

IEEE1284 インターフェイスで接続すると正しく表示できません。

プリンタドライバのプロパティで設定する“詳細オプション”の印刷条件番号に対応しています。

Raster Link Pro に接続してあるプリンタ名と、プリンタの状態を表示します。

インク状態	色	残量 (%)
1	ブラック	98%
2	ブラック	45%
3	シアン	47%
4	シアン	48%
5	マゼンタ	43%
6	マゼンタ	45%
7	イエロー	49%
8	イエロー	96%

プリンタにセットしてあるメディア幅を表示します。メディア幅とは、プリンタで設定した原点からの有効作図幅を示します。有効作図幅を調整したい場合は、“手入力”で数値を入力します。

インクの残量を表示します。インク名は、プリンタが検出したインクセットのインク名を表示します。

JV3S シリーズ device 画面



注意

●メディアサイズの指定は、印刷条件毎には設定できません。

Raster Link Pro は IEEE1394 インターフェイスで接続すると、メディア幅やインク状態を正しく表示することができます。

IEEE1284 インターフェイスで接続すると正しく表示できません。

プリンタドライバのプロパティで設定する“詳細オプション”の印刷条件番号に対応しています。

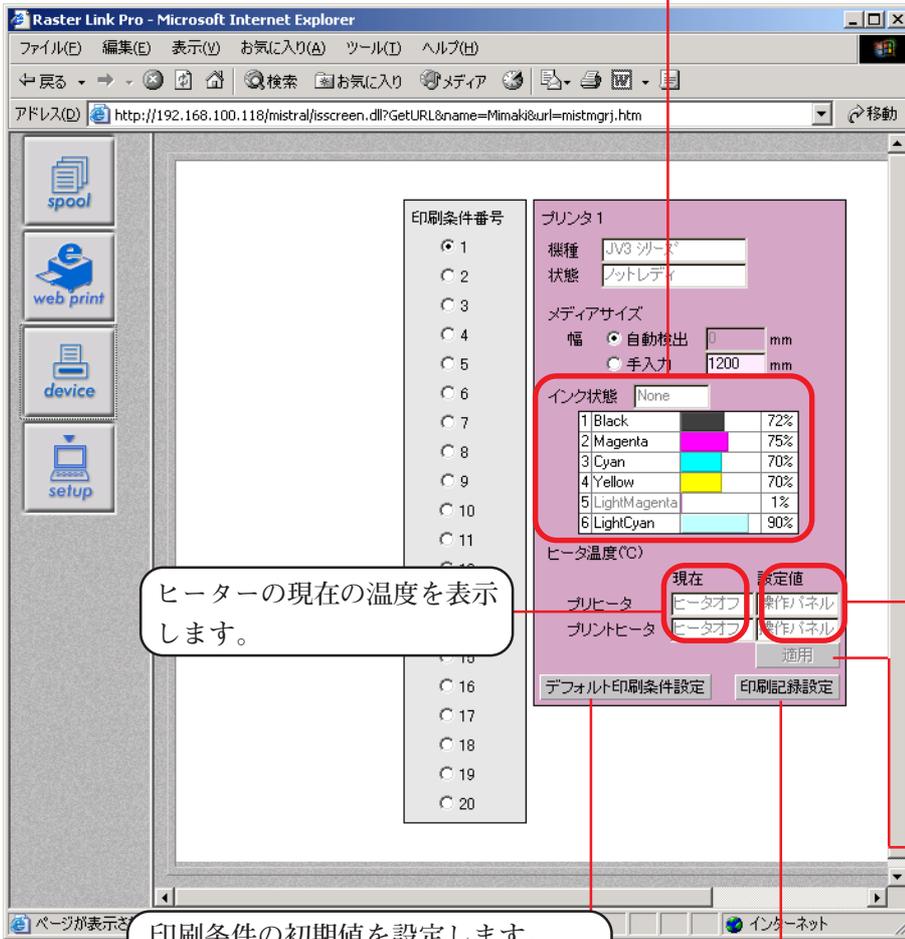
Raster Link Pro に接続してあるプリンタ名と、プリンタの状態を表示します。

印刷条件番号	選択
1	<input checked="" type="radio"/>
2	<input type="radio"/>
3	<input type="radio"/>
4	<input type="radio"/>
5	<input type="radio"/>
6	<input type="radio"/>
7	<input type="radio"/>
8	<input type="radio"/>
9	<input type="radio"/>
10	<input type="radio"/>
11	<input type="radio"/>
12	<input type="radio"/>
13	<input type="radio"/>
14	<input type="radio"/>
15	<input type="radio"/>
16	<input type="radio"/>
17	<input type="radio"/>
18	<input type="radio"/>
19	<input type="radio"/>
20	<input type="radio"/>

色	レベル (%)
1 Black	72%
2 Magenta	75%
3 Cyan	70%
4 Yellow	70%
5 LightMagenta	1%
6 LightCyan	90%

プリンタにセットしてあるメディア幅を表示します。メディア幅とは、プリンタで設定した原点からの有効作図幅を示します。有効作図幅を調整したい場合は、“手入力”で数値を入力します。

インクの残量を表示します。インク名は、プリンタが検出したインクセットのインク名を表示します。



ヒーターの現在の温度を表示します。

“デフォルト印刷条件設定”ウィンドウの[デバイス調整]メニューで設定したプリヒーターとプリントヒーターの温度を表示します。

印刷条件の初期値を設定します。
“印刷条件設定”ウィンドウでの設定方法と同じです。設定手順は、各機能をご覧ください。

印刷ファイルの終端に印刷する印刷条件情報を設定します。
(🖨️ P. 86)

“デフォルト印刷条件設定”ウィンドウの中の[デバイス調整]メニューで温度を設定した場合にボタンを押せます。ボタンを押すと、ヒーターの温度が変わります。プリンタを IEEE1284 に接続してある場合は、使用できません。
[デバイス調整]メニューのサブメニューでプリントヒーターとプリヒーターの設定が“操作パネル設定値”を指定してあるときも使用できません。

JV3SPシリーズ device画面



●メディアサイズの指定は、印刷条件毎には設定できません。

Raster Link Pro は、IEEE1394 インターフェイスで接続するとメディア幅やインク状態を正しく表示することができます。

IEEE1284 インターフェイスで接続すると正しく表示できません。

プリンタドライバのプロパティで設定する“詳細オプション”の印刷条件番号に対応しています。

Raster Link Proに接続してあるプリンタ名と、プリンタの状態を表示します。

印刷条件番号	プリンタ名	機種	状態
1	プリンタ 1	JV3SP4 シリーズ	待機中

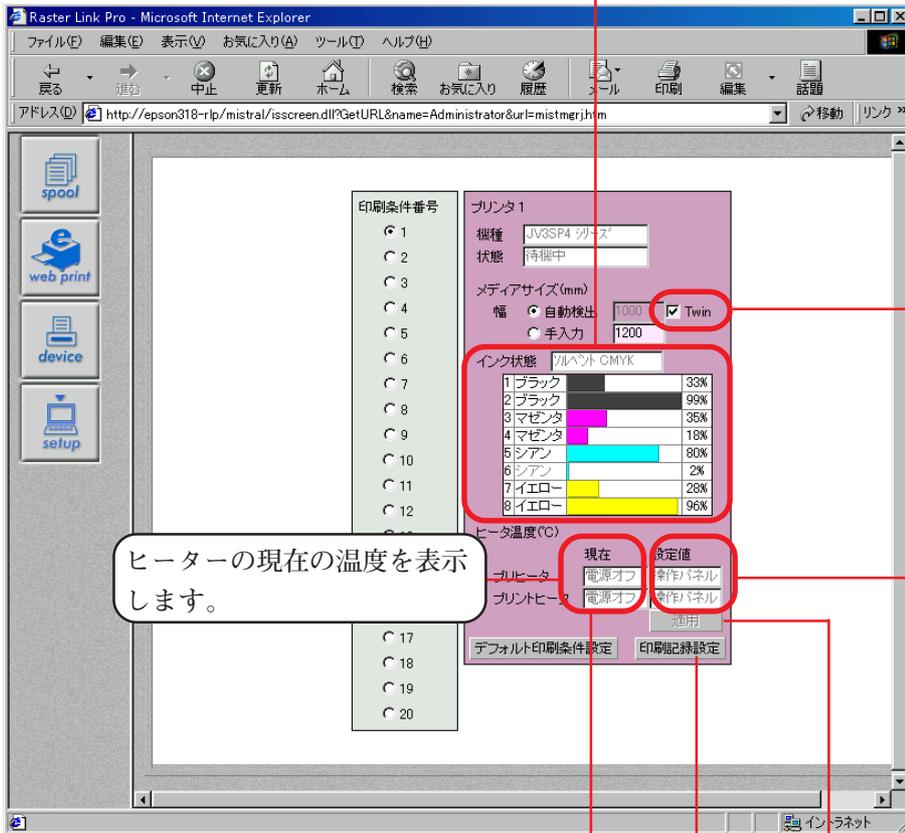
インク状態	フルヘント CMYK
1 ブラック	33%
2 ブラック	99%
3 マゼンタ	35%
4 マゼンタ	18%
5 シアン	80%
6 シアン	2%
7 イエロー	28%
8 イエロー	96%

プリンタにセットしてあるメディア幅を表示します。メディア幅とは、プリンタで設定した原点からの有効作図幅を示します。

Twin ロールモードの場合は、“自動検出”の値に右ロールの幅を表示します。

有効作図幅を調整したい場合は、“手入力”で数値を入力します。

インクの残量を表示します。インク名は、プリンタが検出したインクセットのインク名を表示します。



Twinロールモードの場合は、自動的にチェックがつきます。

“デフォルト印刷条件設定”ウィンドウの[デバイス調整]メニューで設定したプリヒーターとプリントヒーターの温度を表示します。

ヒーターの現在の温度を表示します。

“デフォルト印刷条件設定”ウィンドウの中の[デバイス調整]メニューで温度を設定した場合にボタンを押さず。ボタンを押すと、ヒーターの温度が変わります。プリンタを IEEE1284 に接続してある場合は、使用できません。
[デバイス調整]メニューのサブメニューでプリントヒーターとプリヒーターの設定が“操作パネル設定値”を指定してあるときも使用できません。

印刷条件の初期値を設定します。“印刷条件設定”ウィンドウでの設定方法と同じです。設定手順は、各機能をご覧ください。

印刷ファイルの終端に印刷する印刷条件情報を設定します。(P. 86)

JV4 シリーズ device 画面



●メディアサイズの指定およびインクセット検出指定は、印刷条件毎には設定できません。

●デフォルト印刷条件設定では、アプリケーション分版の印刷版を指定できません。

Raster Link Pro は、IEEE1394 インターフェイスで接続するとメディア幅やインク状態を正しく表示することができます。

IEEE1284 インターフェイスで接続すると正しく表示できません。

プリンタドライバのプロパティで設定する“詳細オプション”の印刷条件番号に対応しています。

Raster Link Proに接続してあるプリンタ名と、プリンタの状態を表示します。

印刷条件番号

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20

プリンタ 1

機種 JV4 シリーズ
状態 印刷中

メディアサイズ
幅 ● 自動検出 1286 mm
○ 手入力 0 mm

インクセット検出 ● 自動 ○ 指定

インク状態

リア 顔料 CMYKLoLm

1	ブラック	97%
2	シアン	34%
3	マゼンタ	58%
4	イエロー	95%
5	ライトシアン	97%
6	ライトマゼンタ	97%

フロント 顔料 CMYKLoLm

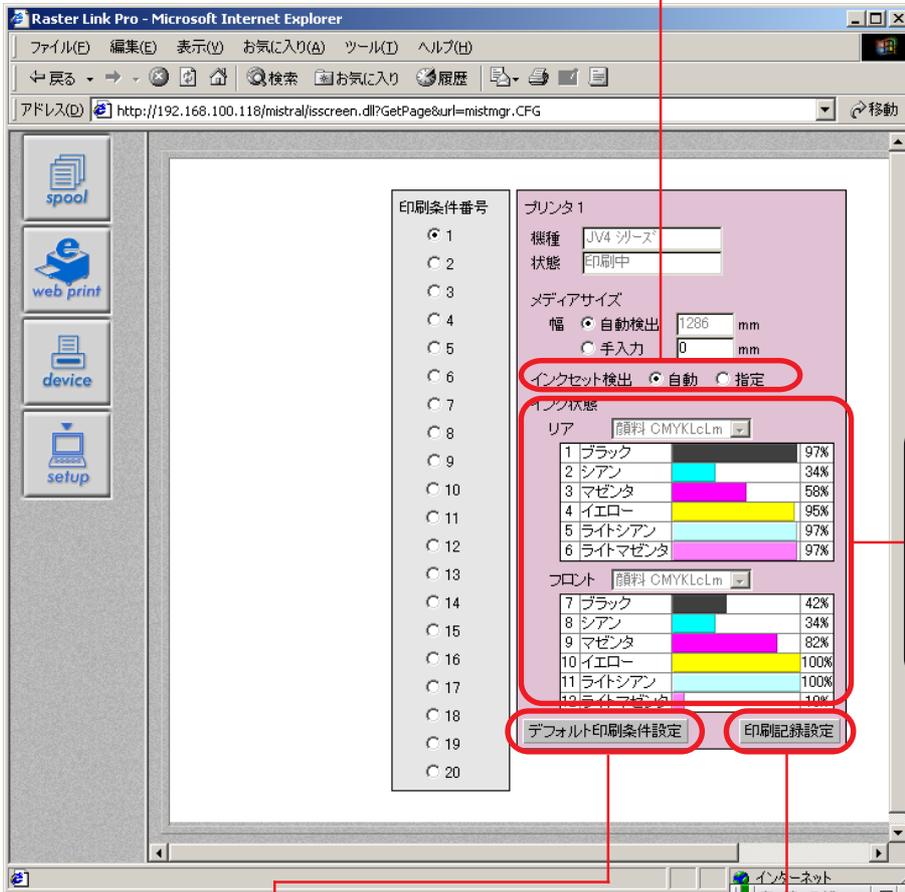
7	ブラック	42%
8	シアン	34%
9	マゼンタ	82%
10	イエロー	100%
11	ライトシアン	100%
12	ライトマゼンタ	10%

デフォルト印刷条件設定 印刷記録設定

プリンタにセットしてあるメディア幅を表示します。メディア幅とは、プリンタで設定した原点からの有効作図幅を示します。有効作図幅を調整したい場合は、“手入力”で数値を入力します。

プリンタにセットしてあるインクセットの検出方法を設定します。
 インクセットの検出を通知する機能のあるプリンタを接続してある場合は、“自動”を有効にします。

Raster Link Proにプリンタを接続していない場合は、“指定”を有効にします。また、プリンタにセットしてあるインクセットと違うインクセットを使用してRIPをする場合にも、“指定”を有効にします。“指定”を有効にするとリヤとフロントのインクセットを選択できます。



インクの残量を表示します。インク名は、インクセットの検出方法を“指定”に設定しても、プリンタが検出したインクセットのインク名を表示します。

印刷条件の初期値を設定します。
 “印刷条件設定” ウィンドウでの設定方法と同じです。設定手順は、各機能をご覧ください。

印刷ファイルの終端に印刷する印刷条件情報を設定します。
 (☞ P. 86)

印刷条件の初期値設定

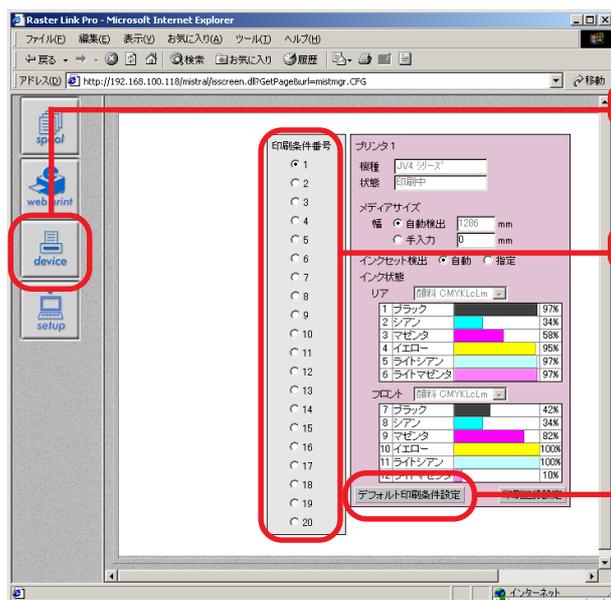
印刷条件の初期値を設定することができます。デフォルト印刷条件設定と印刷記録設定のセットを20種類定義できます。

ここで設定する印刷条件番号は、プリンタドライバのプロパティで設定する“詳細オプション”の印刷条件番号に対応しています。

プリンタドライバの印刷条件番号を“デフォルト”に設定している場合、ここで最後に選択した印刷条件番号の内容が使用されます。

また、web print機能、およびホットフォルダでの印刷ファイルコピーで印刷した場合も、ここで最後に設定した印刷条件番号の設定が使用されます。

1



device ボタンをクリックします。

1. クリック 登録したい印刷条件番号をクリックします。

デフォルト印刷条件設定 ボタンをクリックします。

“デフォルト印刷条件設定”ウィンドウが表示されます。

3. クリック

2



各種設定を行います。

設定内容および設定方法は、“印刷条件設定”ウィンドウと同じです。

1. 設定

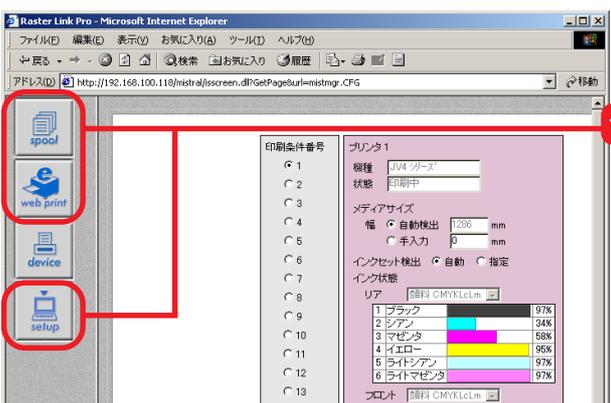
更新 ボタンをクリックします。

デフォルト印刷条件を更新します。

閉じる ボタンをクリックします。

3. クリック

3



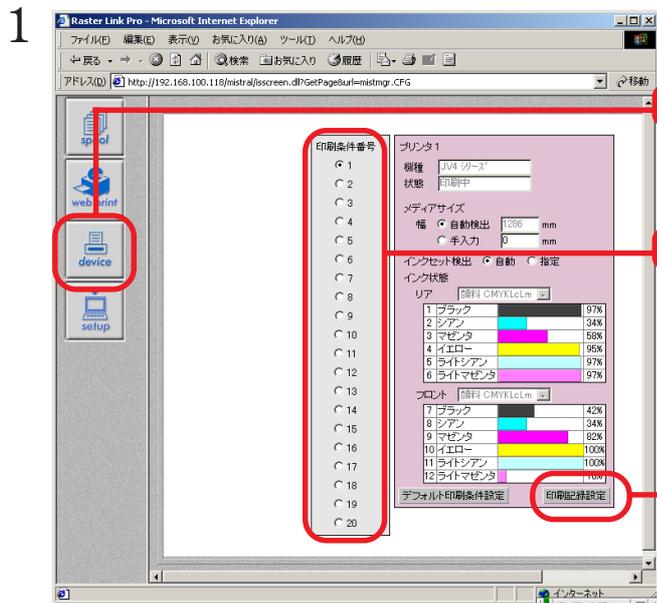
device ボタン以外のボタンをクリックします。

1. クリック

ここで選択した印刷条件番号が、プリンタドライバのデフォルト印刷条件番号に対応します。

印刷条件の印刷

印刷した画像の後端に印刷条件を印刷します。

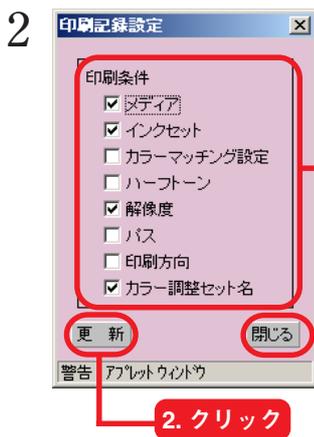


device ボタンをクリックします。

登録したい印刷条件番号をクリックします。

印刷記録設定 ボタンをクリックします。

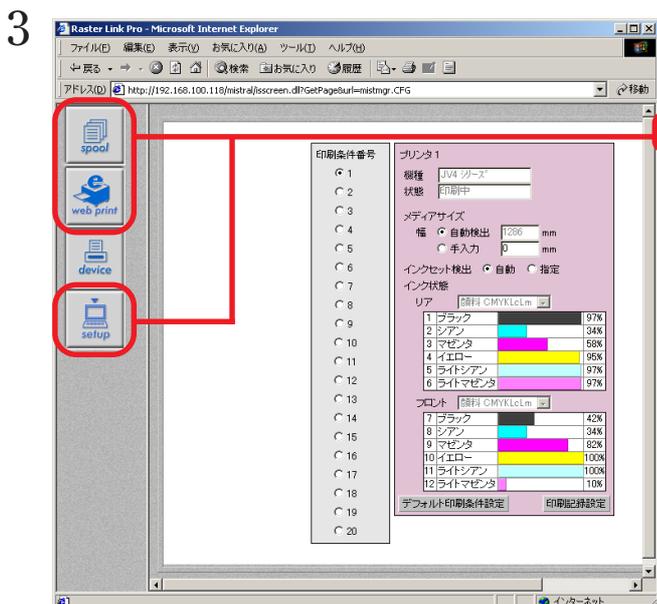
“印刷記録設定” ウィンドウが表示されます。



印刷したい条件を選択します。

更新 ボタンをクリックします。

閉じる ボタンをクリックします。



device ボタン以外のボタンをクリックします。

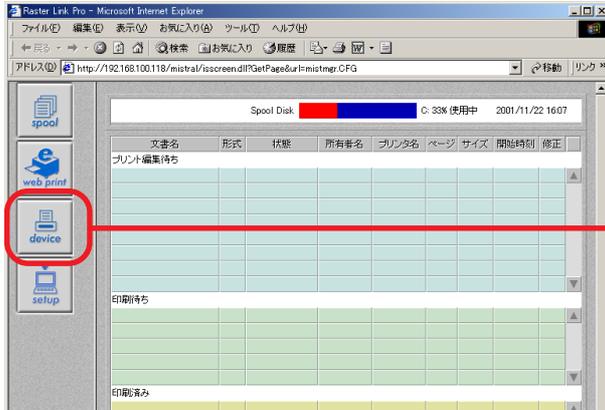
ここで選択した印刷条件番号が、プリンタドライバのデフォルト印刷条件番号に対応します。

カラー調整セットの初期値を作成する

特定のカラー調整セットを常時使うには、初期値として登録しておきます。
 プリントドライバやホットフォルダを使用して、すぐに印刷を実行したい場合に便利です。

1

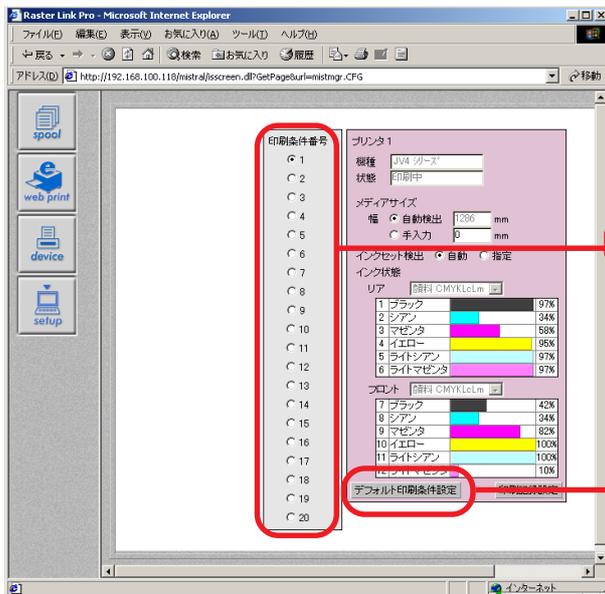
device ボタンをクリックします。



1. クリック

2

登録したい印刷条件番号をクリックします。



1. 選択

2. クリック

デフォルト印刷条件設定 ボタンをクリックします。

“デフォルト印刷条件設定”ウィンドウが表示されます。

3

カラー調整するプロファイルをクリックします。



1. クリック

4



1. 入力

2. クリック

登録 ボタンをクリックします。

すでに同じ名前のカラー調整セットがある場合は、上書きします。



新規にカラー調整セットを作成する場合は、セット名を入力して **登録** ボタンをクリックします。

登録済みのカラー調整セットを編集して別名で登録する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に **登録** ボタンをクリックします。

5



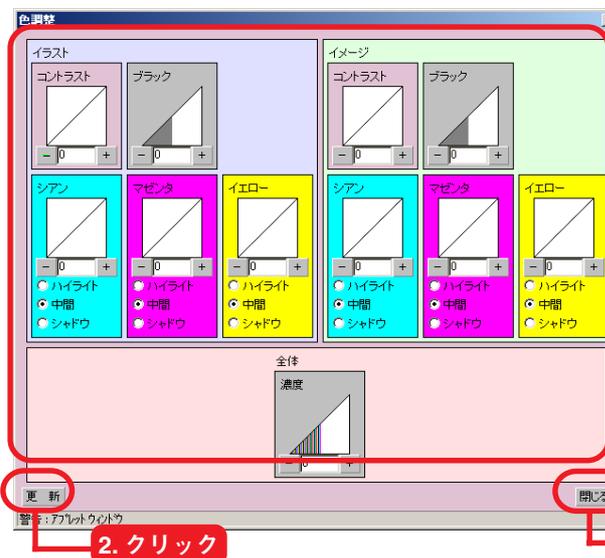
1. クリック

2. クリック

登録したカラー調整セット名をクリックします。

編集 ボタンをクリックします。

6



1. 設定

3. クリック

各種調整を行います。

更新 ボタンをクリックします。
パラメータを保存します。

閉じる ボタンをクリックします。

7



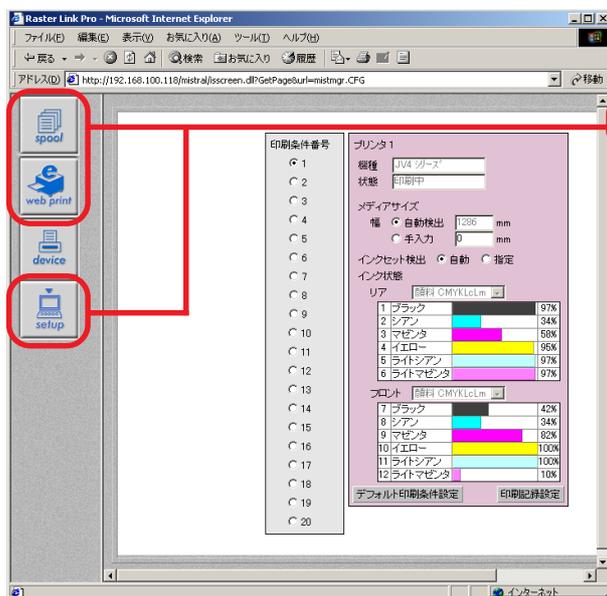
初期値として登録するカラー調整セットをクリックします。

更新 ボタンをクリックします。

選択していたカラー調整セットが初期値になります

閉じる ボタンをクリックします。

8



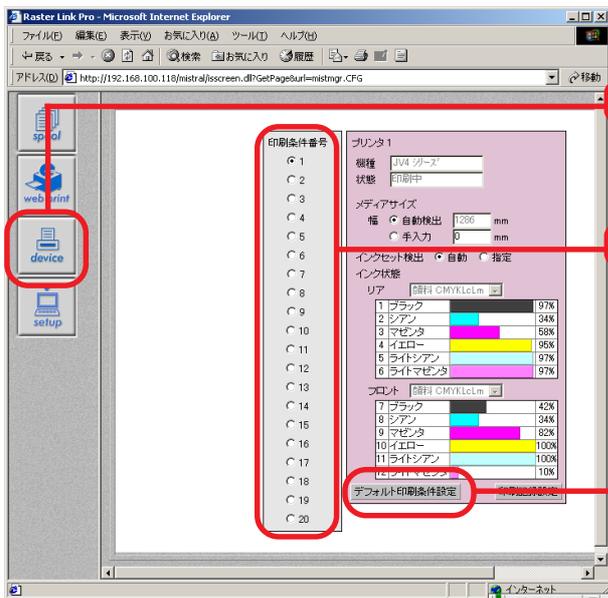
device ボタン以外のボタンをクリックします。

ここで選択した印刷条件番号が、プリンタドライバのデフォルト印刷条件番号に対応します。

印刷する度にメディアをカットするには

印刷ファイル毎にメディアをカットします。

1



device ボタンをクリックします。

1. クリック

登録したい印刷条件番号をクリックします。

2. 選択

デフォルト印刷条件設定 ボタンをクリックします。

3. クリック

“デフォルト印刷条件設定” ウィンドウが表示されます。

2



“印刷後カットする” をチェックして有効にします。

1. クリック

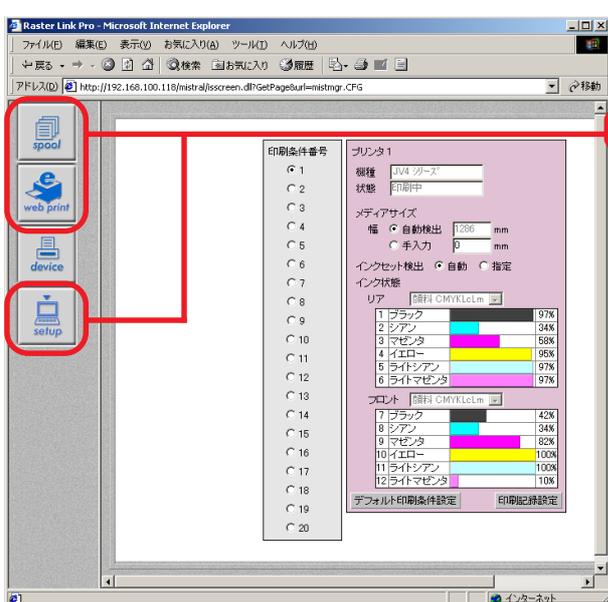
更新 ボタンをクリックします。

3. クリック

閉じる ボタンをクリックします。

“印刷条件設定” ウィンドウの”印刷後カットする” では、印刷データ毎にカットの設定が可能です。

3



device ボタン以外のボタンをクリックします。

1. クリック

ここで選択した印刷条件番号が、プリンタドライバのデフォルト印刷条件番号に対応します。

索引

B		
Back Space キー	57	
D		
Delete キー	57	
device	77	
-機能について	77	
-画面	77	
Q		
QUALITY	64	
R		
RIP しながら印刷	38	
Rip 済データ再印刷 ボタン	76	
RIP のみ	38	
RIP 分版	63, 70	
-設定ウィンドウ	69	
S		
STANDARD	64	
V		
VD	37	
ア		
アートワークモード	64	
アプリケーション分版	63, 65, 66	
-設定 ウィンドウ	65	
網点	69	
イ		
移動	14	
インクカーブ	56, 59, 61, 65	
インクセット	36, 66, 70	
インクリミット値	48	
印刷したデータの再印刷	75	
印刷しながらカラー調整	52	
“印刷条件設定” ウィンドウ		35
印刷条件の印刷		86
印刷条件の初期値設定		85
印刷条件の設定		34
印刷方向の設定		
双方向		38
データ出力方法		38
プロファイルの選択方法		36
印刷条件番号		77, 78, 79, 81, 83, 85
印刷中にカラー調整を行うには		52
印刷方向の設定		
双方向		38
オ		
オフセット送り		19
オフセット幅		19
カ		
解像度		36, 37
回転		8
拡大		12
重ね代		24
画像の一部を印刷		33
カラー調整		48
-ウィンドウ		48
-セット		48, 51, 59
-の初期値		87
カラー調整セット名		50
-を作成する		49
-について		48
キ		
キーボード		21, 57, 61
コ		
コーナーマーク		25
高速コピー		11
高品質		64
濃さを調節		25
コピー		10
コントラスト		48
コントロールポイント		56, 57, 61
サ		
彩度		44
作画タイル選択		20

シ

視覚的	44
出力階調	56, 58
出力方法	36, 37, 66, 70
“ジョブ設定” ウィンドウ	6

ス

全て表示	58
寸伸ばし	31
-有効	32

セ

絶対的な色域を維持	44
-----------------	----

ソ

相対的な色域を維持	44
双方向	38

タ

タイリング	16
-設定ウィンドウ	17
-の再印刷	27
-プレビュー	17
タイル数	17
タイル番号	26
-印刷	26
タイルを指定して印刷	23
縦横比固定入力	13

テ

データ出力方法	38
RIPしながら印刷	38
RIPのみ	38
デフォルト印刷条件設定	85

ニ

入力階調	56, 58
------------	--------

ネ

ネガ	65
ネスティング	10

ハ

ハーフトーン	36
パス	37
パネリング	29
-設定ウィンドウ	29
バリエブルドット	37
版下分版	63
-出力	63
-の設定項目	63

フ

ファイルプレビュー	7
複数印刷	10
“プリント編集” ウィンドウ	6
プレビューウィンドウ	7
プレビュー画面	
ファイルプレビュー	7
レイアウトプレビュー	8
プロファイル	
-の選択方法	36
分割位置の微調整	21
分割間隔を表示	19
分割線	17
分割マーク	17

ホ

補間方法	58, 60
ポジ	65
本文中の表記について	3
マークについて	3

マ

マークについて	3
マッチング方法	
彩度	44
視覚的	44
絶対的な色域を維持	44
相対的な色域を維持	44

ミ

ミラー	9
-----------	---

メ

メディア	36, 66, 70
-をカット	90

ヨ

用紙送りフィット	12
用紙幅フィット	12
余白	11

レ

レイアウトプレビュー	8, 17
------------------	-------

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、販売店または下記までお願い致します。

株式会社
ミマキエンジニアリング
<http://www.mimaki.co.jp>

東京支社

TEL 03-5420-8680

東京都品川区北品川5-9-41 TKB御殿山ビル
〒141-0001
FAX 03-5420-8686

大阪支店

TEL 06-6388-8258

大阪府吹田市江坂町1-13-41 明治生命江坂ビル
〒564-0063
FAX 06-6388-8265

札幌営業所

TEL 011-200-5500

札幌市中央区北2条東-1-5-2 サニープリンス1F
〒060-0032
FAX 011-200-5510

仙台営業所

TEL 022-213-7303

仙台市青葉区上杉1-6-22 サンビル1F
〒980-0011
FAX 022-213-7305

さいたま営業所

TEL 048-823-3080

埼玉県さいたま市浦和区常盤5-8-41 読売浦和ビル1F
〒330-0061
FAX 048-823-3090

長野営業所

TEL 0268-64-2377

長野県東御市加沢 1333-3
〒389-0514
FAX 0268-64-2399

金沢営業所

TEL 076-222-5380

金沢市駅西新町2-12-6
〒920-0027
FAX 076-222-5381

名古屋営業所

TEL 052-777-7245

名古屋市名東区上社1-119
〒465-0025
FAX 052-777-7309

広島営業所

TEL 082-876-3103

広島市安佐南区緑井6-10-14 メゾン高津屋1F
〒730-0103
FAX 082-876-3108

福岡営業所

TEL 092-612-1355

福岡市博多区吉塚5-11-15
〒812-0041
FAX 092-612-1356

熊本営業所

TEL 096-385-1633

熊本県熊本市新南部4-7-38 オーエムビル1F
〒862-0928
FAX 096-385-1639

お問い合わせ時間：午前10：00より午後5：00まで
営業日：月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）

